

東武会社要覧 2024

TOBU RAILWAY CO.,LTD.



適切に管理された森林からの材料を含むFSC®認証紙を用いて「森林資源の保全」に、水なし印刷と石油系溶剤の一部を植物油に置き換えたインキを用いて、光化学スモッグの原因となるVOC(揮発性有機化合物)を削減し、「大気保全」に配慮しています。この冊子の刷版から印刷・製本に使用した電力(1,335.61kwh)は、バイオマス発電によるグリーン電力により賄いました。また、印刷用の紙に再生できるように配慮しています。



■ 長期経営構想

経営計画の体系



“人にやさしく 人と地域が共に輝きつづける社会”の実現

長期経営ビジョン

「挑戦」と「協創」で進化させる社会と沿線

今後の事業環境は、インバウンド需要、外出需要などが回復傾向にある一方、働き方の変化や価値観の多様化、デジタル技術の進展などにより、変化が不透明に、かつ速くなることに加え、東京圏でも2030年頃から予測されている人口減少により、既存の延長線上での事業展開では、グループの成長は見込めないと想定されます。

従って、東武グループにおける中長期的な経営の方向性は、事業環境やニーズの変化を進取する『挑戦』と、グループ内外を問わず関係者との協力や連携で価値を創出する『協創』によって、基盤である沿線の持続的な発展によりグループ全体の収益・利益を維持・拡大させるとともに、非鉄道部門における成長事業の拡大により収益力を強化することで、グループの成長を実現していきます。

ついでには10年後（2033年度）における東武グループの目指す姿の実現に向け、新たに長期経営ビジョンを「挑戦と協創で進化させる社会と沿線」とし、当該ビジョンに基づき事業を推進していくことで、「東武グループの持続的な成長」と「人にやさしく 人と地域が共に輝きつづける社会」の実現を目指し、社会に不可欠な企業集団として存続していきます。

経営戦略方針

長期経営ビジョンのもと、10年後（2033年度）を見据えた経営戦略の方針は、以下の通りです。

- | | |
|------------------------|---|
| 1 営業利益段階における非鉄道事業割合の増加 | 「観光事業」「開発（まちづくり）」を成長領域と位置付け、集中的な投資をおこなうことで、非鉄道事業を強化し、中長期的な収益・利益拡大に資する事業の育成と領域の拡張を行います |
| 2 観光需要を捉えた収益力強化 | 東武グループ全体を挙げた「事業拠点強化・サービス構築・ブランディング・情報発信」により、インバウンドや多様化する国内旅行などの観光需要を取り込み、収益の最大化を図ります |
| 3 持続的な事業運営体制の確立 | 国内人口と労働力減少への対応・環境負荷の低減・人的資本の強化を図り、持続可能な運営体制を構築します |

重点戦略（成長戦略）

- ① 成長をけん引する事業の確立
今後の成長をけん引する事業として、インバウンドを中心として市場の成長が見込めるホテル業やスカイツリー業をはじめとする「観光事業」と、沿線での開発余地のある「開発事業（まちづくり）」を成長に資する中核事業と位置付け、経営資源を重点的に配分し、中長期的な収益力の強化を進めます。
- ② 事業基盤（沿線）の継続的な強化
東武グループの強みである首都圏の広域な事業エリアと、多種多様に展開する事業を活かし、事業にデジタル技術を積極的に活用することで、収益力と生産性を向上させるとともに、グループシナジーの創出と他社との差別化を図り、事業基盤である沿線を継続的に発展させます。
- ③ 事業領域拡張を見据えた新規事業の育成
中長期的には、沿線内の東京圏でも人口減少を迎えると予測されていることから、既存事業の領域を超えた新たな事業フィールドを探索し、10年後（2033年度）を見据えた収益源の確立を目指していきます。
- ④ 環境負荷の低減と人的資本の強化
事業の基盤となる環境負荷の低減と人的資本の強化を継続的に実施します。

10年後（2033年度）の目標

10年後(非財務目標は2030年度)は、以下の達成を目指します。

- ① 財務目標：営業利益800億円を目指します。
 - ・ 鉄道事業：営業利益300億円
 - ・ 非鉄道事業：営業利益500億円
- ② 非財務目標：2030年度 グループでの環境負荷低減
 - ・ CO₂排出量：2022年度比▲30%
 - ・ 奥日光エリア：カーボンニュートラル

○ 中期経営計画の計画期間と位置づけ

2024年度~2027年度までの4か年

2030年代に始まる東京圏での人口減少社会を見据え、営業利益段階における非鉄道事業の拡大および割合増加を実現すべく、中長期的な収益・利益拡大に資する事業育成を推進します。

また、インバウンド需要の回復を捉えた事業をグループ全体で展開し、収益基盤を確立するとともに、事業領域の拡張を見据えた新規事業を育成する種まきの期間とします。

なお、事業環境の変化や各種計画の変更等に合わせて、柔軟に計画を見直します。

○ 重点戦略に基づく期間中の主な実施計画

① 成長をけん引する事業の確立

(ア) インバウンド需要をはじめとする観光需要の取り込み最大化

- 新規ホテル開発推進（銀座、八重洲、大阪など）によるホテルのネットワーク化と既存ホテルのリニューアル検討推進
- 東京スカイツリー展望台の大規模リニューアル検討
- 東京ソラマチ増床計画の推進
- インバウンド向けデジタルチケットの自社サイトでの直接販売開始
- ターゲット国を意識したグループ一体となったプロモーションの強化

(イ) 沿線開発（まちづくり）の実現に向けた計画推進

- 池袋駅西口再開発事業の早期着工に向けた計画の推進
- 人流の創出を図る沿線中核拠点開発に向けた検討の推進（西新井・朝霞台など）
- 沿線各地の再開発事業への参画

(ウ) 国際エコリゾート日光の価値最大化

- スペース Xの増発と商品造成強化
- 日光金谷ホテルのリニューアル検討
- 明智平ロープウェイのリニューアルによる輸送力強化
- 日光市の条例と連動したNIKKO MaaS活用による鉄道・バス利用の拡大
- NIKKO MaaSの継続的な機能強化と蓄積データを活用したマーケティング強化
- グランピングをはじめとした体験型サービス提供の拡大

(エ) ソーシャルイノベーション事業の強化

- 行政と連携した地域観光振興に資する事業推進や運営業務受託の強化
- OPPP/PFI事業への参画の推進



池袋駅西口再開発 当社事業区域内建物イメージ

② 事業基盤（沿線）の継続的な強化

(ア) 人口流入拡大・定着を目指す住宅・商業開発・コミュニティ形成の推進

- 学生やDINKSを対象とした賃貸マンション開発推進（ときわ台・坂戸・草加など）
- 郊外部における分譲マンション・戸建て開発推進（草加松原・南栗橋など）
- 駅周辺商業開発・リニューアル推進（新越谷・越谷・竹ノ塚など）
- ライフスタイルの変化を意識したリノベーション事業推進（団地再生など）
- 沿線定着を促す施策の推進（TOBU POINT子育て応援プログラムなど）



獨協大学前（イメージ）

(イ) 輸送サービスのレベルアップ

- 新たな需要を創出する新駅の検討やまちづくりと連携した連続立体化や駅橋上化の推進
- ホーム柵の設置（37駅）や主要線区車両の防犯カメラ設置による安全性向上
- 地下鉄有楽町線延伸に伴う新たな輸送ネットワーク構築に合わせた検討推進
- スペース Xにおけるグループの総力を挙げたサービスによるブランド力の構築

(ウ) デジタル技術を活用した持続的な運行体制の確立

- 大師線の自動運転計画やバス路線におけるレベル4自動運行を目指した実証推進
- QR乗車券の導入による磁気乗車券の全廃
- ワンマン運転のさらなる拡大
- データ・デジタルツールを活用した各種省人化推進

(エ) グループの収益力強化を実現するマーケティングの推進

- 特急券チケットレスサービスのTOBU POINT統合など顧客データ11D化の推進
- スマートフォン対応をはじめとする『新 東武カード』の発行開始
- 蓄積データを活用したデジタルマーケティング推進やA1活用による販売力強化



スペース Xと東京スカイツリー®
©TOKYO-SKYTREETOWN

③ 事業領域拡張を見据えた新規事業の育成

- 生体認証を活用したデジタルアイデンティティプラットフォーム事業の育成
- スタートアップ企業などとの連携によるオープンイノベーションの推進

④ 環境負荷の低減

(ア) 環境ブランディング実現に向けた日光エリアの脱炭素推進

- 施設の省エネ化・再エネ利用推進によるエネルギーの地産地消サイクルの実現
- 環境優位性の高さを生かした環境意識の高い層の集客力強化

(イ) 計画的な設備・エネルギー代替による長期的なエネルギーコストの低減

- 東武アーバンパークラインの5両化の推進
- 電力回生インバータ装置の設置拡大
- LED照明化の推進

⑤ 人的資本の強化

- 即戦力となる退職者の再採用や専門職の中途採用実施
- 沿線を中心とした学校との連携による教育（出前授業）の実施
- 社員の意欲向上を図る賃金体系・評価制度見直しや新たな教育体系の整備
- 定年延長など、経験を有するシニア人材が意欲をもって働き続けられる制度の構築
- 健康で長く働き続けられる環境整備の継続

■意識する経営指標の想定値

経営指標	2027年度 想定
営業利益（億円）	740億円
有利子負債/EBITDA倍率（倍）	6倍台
経営指標	期間想定
株主還元（%）	総還元性向 30%以上
ROE（%）	8%程度

東武グループは、広域な鉄道ネットワークに広がる沿線地域が事業基盤であり、これまで以上に沿線を中心とした社会の持続的な発展を実現することは、最も重要な課題であると考えております。

東武グループを取り巻く事業環境は、働き方や価値観の多様化、デジタル技術の進展等による社会の変容とともに、少子高齢化の進展、地球温暖化や廃棄物処理をはじめとした環境問題など、様々な社会課題に直面しており、新たなビジネスモデルの構築とともに、課題の解決が必要であります。

東武グループは、1897年の設立以来、事業を通じて社会課題の解決に取り組むことで、社会の持続的な発展の一端を担いつつ、発展してまいりました。

これからも、沿線の特長や経営資源を活かしながら、社会課題の解決を通じて、「人にやさしく 人と地域が共に輝きつづける社会」を実現することで、社会に不可欠な企業集団となることを目指してまいります。

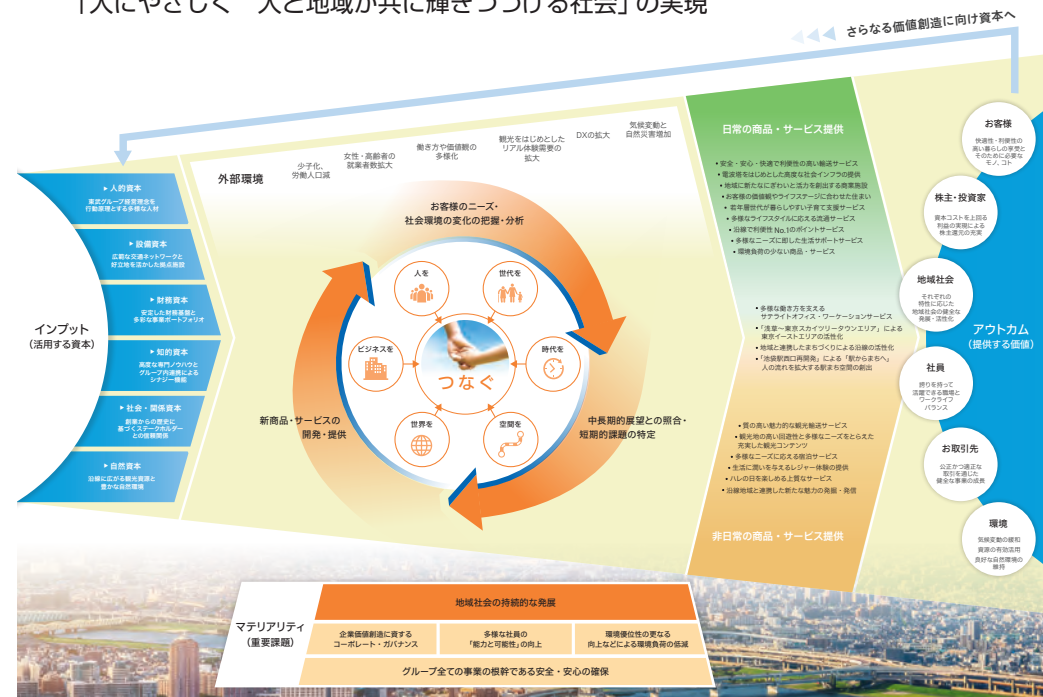
この考え方のもと、当社が特定したマテリアリティ（重要課題）と、課題解決により社会の発展と企業価値の向上を持続的に創出するプロセス（価値創造プロセス）については、以下の通りです。

【特定したマテリアリティ】

- 地域社会の持続的な発展
- 企業価値創造に資する コーポレート・ガバナンス
- 多様な社員の「能力と可能性」向上
- 環境優位性の更なる向上などによる環境負荷の低減
- グループ全ての事業の根幹である安全・安心の確保

【価値創造プロセス】

「人にやさしく 人と地域が共に輝きつづける社会」の実現



- 長期経営構想
- TOPICS
- サステナビリティ経営に向けて

1 会社概要

- 東武グループ経営理念・経営方針・
コンプライアンス基本方針 7
- 会社概要 8
- 役員 9
- 業務組織 10
- 会社のおいたち 12
- 資本金 14
- 収入と支出 15
- 会社業績 16
- 従業員構成 20
- ダイバーシティ&インクルージョン
の推進・人材育成 21
- CSへの取り組み 24
- コミュニケーション 25
- 福利厚生 26
- 株主優待制度 27
- 社会・文化活動 28
- 情報セキュリティ対策の推進 30
- 環境保全への取り組み 31

2 鉄道事業

- 鉄道事業の概要 32
- 民鉄各社との比較 34
- 運輸成績 35
- 鉄道旅客運賃・料金 36
- 投資計画と実績 40
- 通勤輸送 41
- 優等列車による観光・
ビジネス旅客輸送 43

- 旅客サービスの向上 44
- 安全対策 49
- 電車の設備概要 54
- 車両の点検・整備 59
- 線路の強化と保守の効率化 60
- 電気設備と保守の効率化 62
- SL事業 64
- 駅一覧 66

3 開発事業

- 開発事業の概要 72
- 東京スカイツリータウン® 事業 73
- 賃貸事業 76
- 広告事業 79
- 分譲・賃貸住宅事業 80
- 生活サービス支援事業 82
- まちづくり事業 83

4 グループ事業

- 東武グループの概要 84
- グループ経営基盤の強化 91
- 観光事業の取り組み 92
- 主な事業所案内 93

5 年表

- 東武鉄道 96
- グループ会社 106

- 東武鉄道路線図
- 列車種別と停車駅案内
- 東武グループ グループロゴ

東武グループ経営理念

東武グループでは、「奉仕」「進取」「和親」を経営の拠り所としています。

「奉仕」 東武グループは、東武グループの全ての事業が社会に支えられていることを深く自覚し、豊かな社会の実現に貢献します。

「進取」 東武グループは、現状に甘んじることなく、常に研鑽に励み、時代を切り開く開拓者精神をもって新たな挑戦を続けます。

「和親」 東武グループは、人の和や環境との調和をもとに事業の発展と従業員の幸福を図り、社会の進展に寄与します。

東武グループ経営方針

お客様の暮らしに密着した事業を通じて沿線地域の発展に貢献する企業グループとして、安全・安心を根幹に「運輸」「レジャー」「不動産」「流通」等の事業を多角的、複合的に展開します。

お客様の視点に立ち、質の高い先進性や独創性あふれるサービスを提供し、活力に富んだ暮らしやすく訪れたい東武沿線の実現を目指します。

事業を通じて安定的に利益を創出しながら、環境にも配慮した経営を進め、お客様の生活を担う企業グループとして地域社会とともに持続的に発展することにより、企業の社会的責任を果たします。

東武グループコンプライアンス基本方針

私たちは、一人ひとりが信頼される東武グループの推進者として誠実かつ適切な行動を心がけます。

お客様に対して

私たちは、安全・安心を第一に考え、お客様のニーズに合わせた高品質なサービス・商品を提供しつづけることによって、お客様からの期待にこたえます。

投資家に対して

私たちは、適時・適切な情報開示による投資家の皆様からの信頼をベースに、経営環境の変化に対応した事業展開によって企業価値増大を目指し、誠実な企業行動を推進します。

お取引先に対して

私たちは、お取引先と相互に信頼を築くために、法令に基づき、公平・公正かつ透明な取引を行います。

社会に対して

私たちは、事業を通じて地域社会の魅力創造に努め、社会とのコミュニケーションや地球環境に配慮したよき企業市民として活動します。

東武グループの一員として

私たちは、法令と規律を守り、礼節を重んじ、誇りと責任をもって自らの役割を果たすことにより、健全な職場を創出・維持します。

- 社名** 東武鉄道株式会社 TOBU RAILWAY CO.,LTD.
設立 1897(明治30)年11月1日
本社 〒131-8522 東京都墨田区押上二丁目18番12号
 ☎ 03-5962-2263(広報部)
- 資本金** 1,021億3,597万1,747円
- 代表者** 取締役社長 都筑 豊
- 事業内容** ①鉄道、軌道および索道による一般運輸事業
 ②自動車運送事業
 ③不動産の売買、賃貸借ならびにその仲介、鑑定および管理の事業
 ④情報提供・処理サービス業、電気通信事業および有線放送事業
 ⑤娯楽、スポーツおよび教育機関の経営ならびに旅館業、飲食業、
 物品販売業、旅行業および広告業その他のサービス事業
 ⑥土木・建築・造園・電気工事の設計・施工請負事業
 ⑦発電および電気の供給事業
 ⑧前各号に附帯または関連する事業

鉄道営業キロ 463.3km

鉄道車両数 1,775両 ※2024年3月31日現在

従業員数 3,280人 ※2024年3月31日現在

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで



社紋

社紋 車輪に東武鉄道の東の字を配して図案化したもので、創立当初に制定され、鉄道による奉仕の意志を表わしています。

社是 奉仕 進取 和親

信条 企業の使命を自覚し 誇りと自信をもって職責を完遂しよう
 輸送の安全 正確 迅速を期し 社会の信頼にこたえよう
 伝統をいかし 創造と開発につとめ 社業の発展をはかりよう
 礼節を重んじ 規律を守り 協力して明るい職場をつくらう
 技能をみがき 知性を深め 品位の向上につとめよう



取締役会長

根津 嘉澄



取締役社長

都筑 豊

【取締役】

代表取締役会長

代表取締役社長

取締役

取締役

取締役

取締役

取締役

取締役

取締役

取締役

取締役

【監査役】

常勤監査役

常勤監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

根津 嘉澄
 都筑 豊
 横田 芳美
 重田 敦史
 鈴木 孝郎
 柴田 光義
 安藤 隆春
 矢ヶ崎 紀子
 柳 正憲

杉山 知也
 吉田 辰雄
 茂木 友三
 福田 修二
 林 信秀

【執行役員】

社長執行役員

専務執行役員

常務執行役員

常務執行役員

常務執行役員

常務執行役員

常務執行役員

常務執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

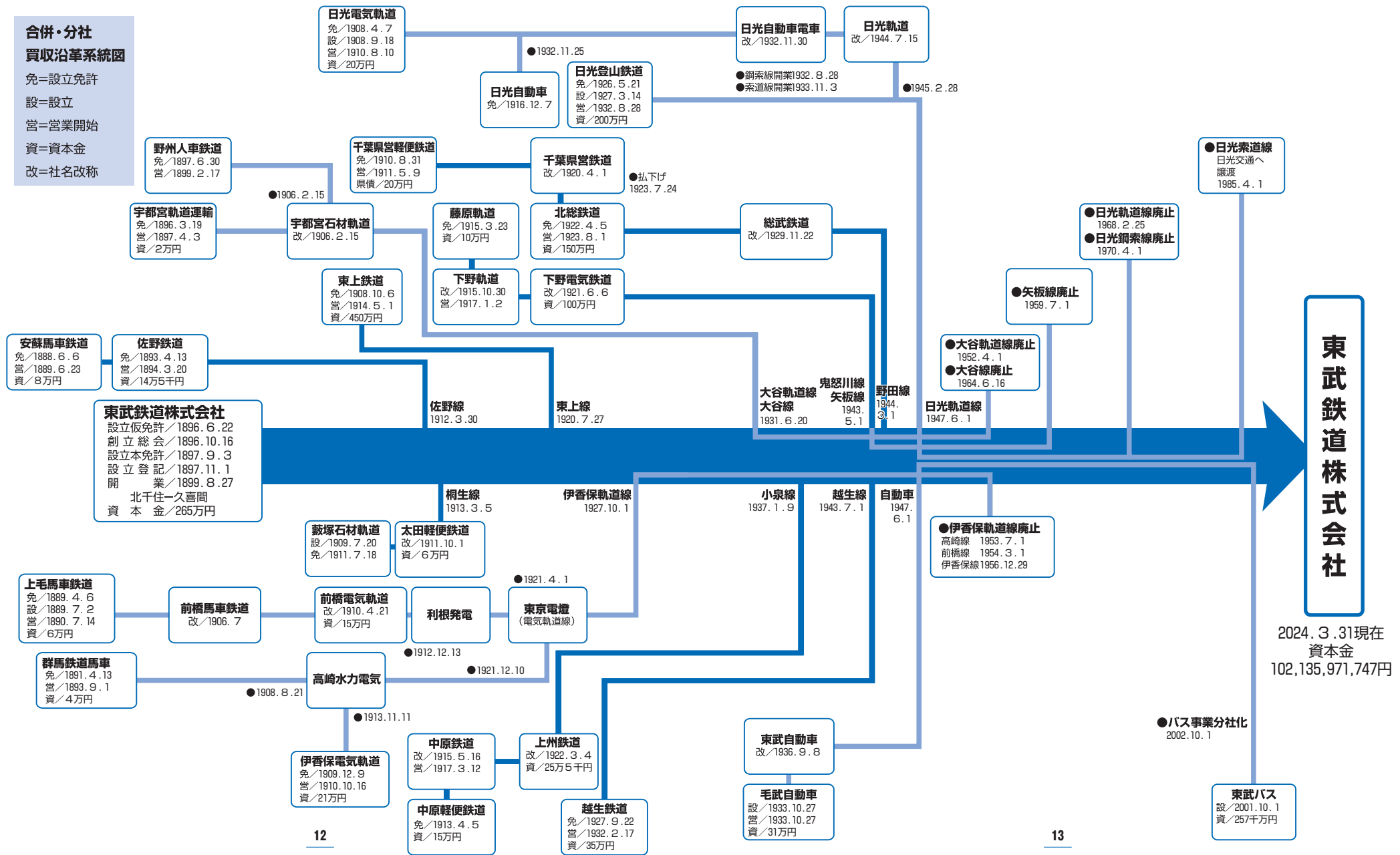
執行役員

都筑 豊
 横田 芳美
 山本 勉
 重田 敦史
 鈴木 孝郎
 岩澤 貞裕
 福原 秀之
 岩瀬 豊也
 田邊 哲也
 高山 京子
 中村 健二
 志村 柳健
 青柳 隆司
 前田 倉平
 柏倉 則典
 岩田 廣行
 渡辺 隆史
 竜江 義玄

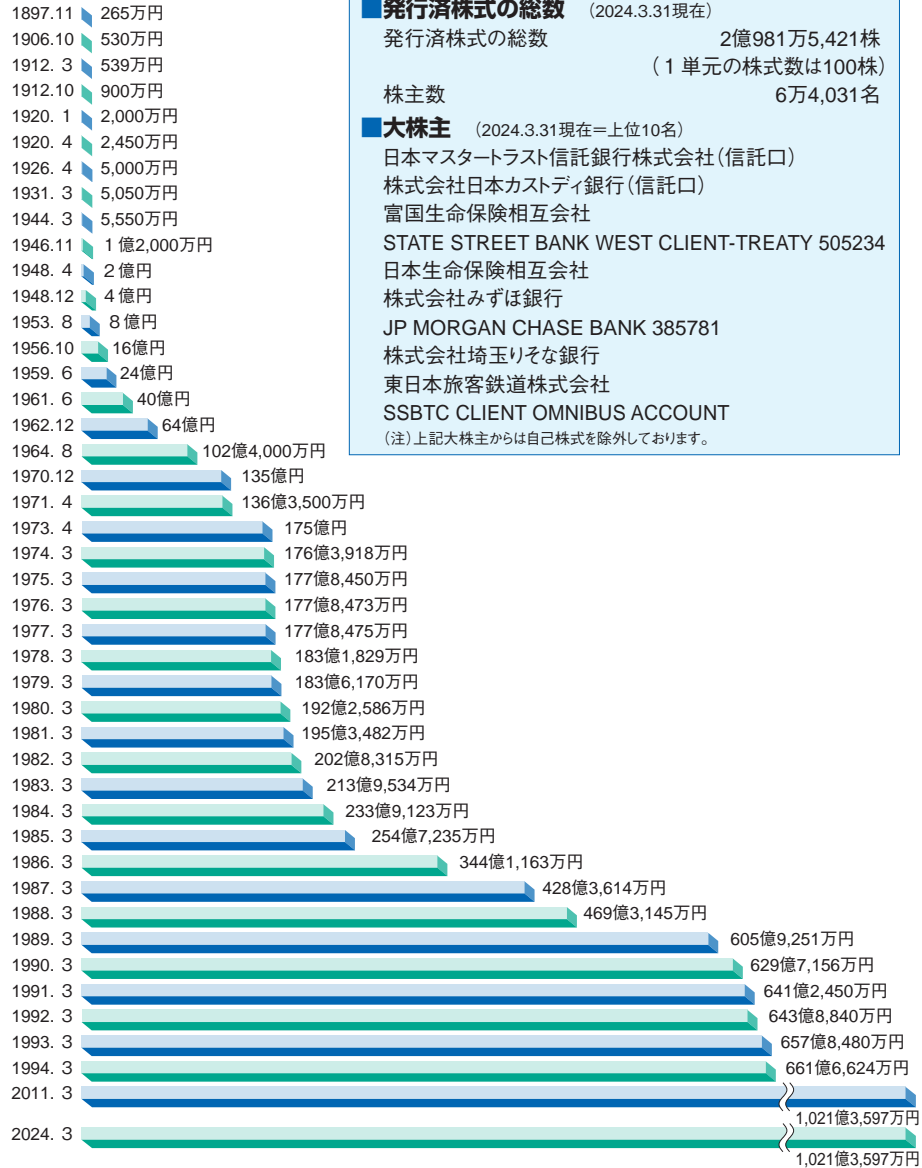
2024年6月21日現在

**合併・分社
買収沿革系統図**

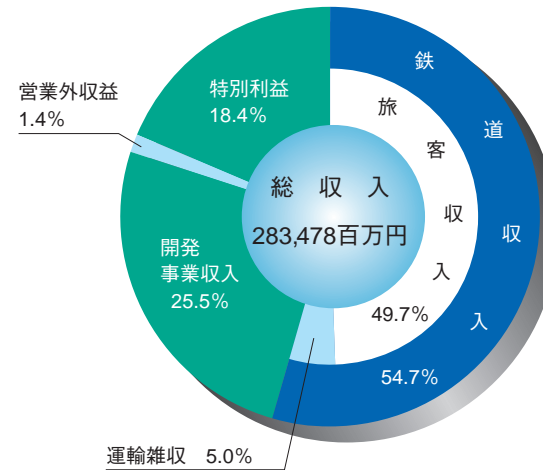
免=設立免許
設=設立
営=営業開始
資=資本金
改=社名改称



■ 資本金のうつつりかわり



■ 総収入に対する事業別営業収入等の比率 (2023年度)

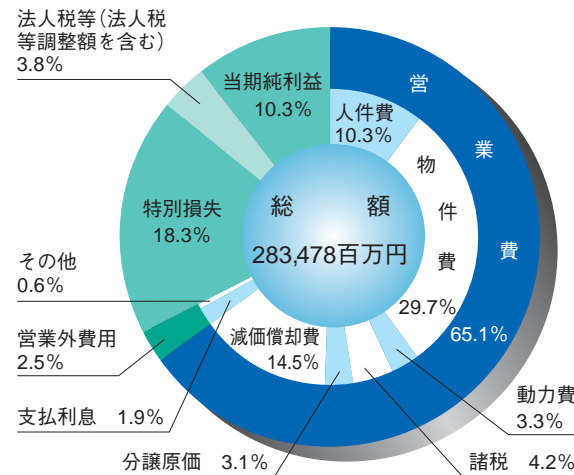


収入内訳 (百万円)

● 営業収入	227,462
鉄道事業	155,103
旅客収入	140,897
運輸雑収	14,206
開発事業	72,358
● 営業外収益	3,900
● 特別利益	52,115

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 総収入に対する経費等比率 (2023年度)



経費内訳 (百万円)

● 営業費用	184,595
人件費	29,100
物件費	84,157
動力費	9,416
諸税	11,875
分譲原価	8,858
減価償却費	41,186
● 営業外費用	7,196
支払利息	5,316
その他	1,879
● 特別損失	51,820
● 法人税等(法人税等調整額含む)	10,830

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(2024年3月31日現在)
(単位：百万円)

資産の部		負債純資産の部	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	58,837	流動負債	429,903
現金及び預金	5,682	短期借入金	204,152
未収運賃	10,133	1年内返済予定の長期借入金	59,057
未収金	12,219	1年内償還予定の社債	20,000
分譲土地建物	20,631	未払金	53,256
貯蔵品	4,667	未払費用	3,189
前払費用	969	未払法人税等	8,526
その他	4,591	預り連絡運賃	2,166
貸倒引当金	△58	預り	9,585
固定資産	1,528,876	前受運賃	8,352
鉄道事業固定資産	754,303	前受	59,569
開発事業固定資産	380,832	前受	1,996
各事業関連固定資産	13,818	資産除去債	19
建設仮勘定	99,030	その他	30
投資その他の資産	280,892	固定負債	735,245
関係会社株式	179,950	社債	138,500
投資有価証券	85,756	長期借入金	472,499
前払年金費用	5,225	長期未払金	1,635
その他の	9,973	繰延税金負債	12,876
貸倒引当金	△14	再評価に係る繰延税金負債	48,555
		退職給付引当金	23,413
		関係会社事業損失引当金	9,733
		株式給付引当金	1,741
		受入保証金	22,844
		資産除去債務	3,127
		その他	318
		負債合計	1,165,148
		(純資産の部)	
		株主資本	336,517
		資本金	102,135
		資本剰余金	52,735
		資本準備金	52,511
		その他資本剰余金	224
		利益剰余金	192,191
		その他利益剰余金	192,191
		繰越利益剰余金	192,191
		自己株式	△10,545
		評価・換算差額等	86,048
		その他有価証券評価差額金	38,538
		土地再評価差額金	47,509
		純資産合計	422,565
資産合計	1,587,714	負債純資産合計	1,587,714

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(2023年4月1日～2024年3月31日)
(単位：百万円)

科目	金額	
鉄道事業		
営業収益	155,103	
営業費用	128,536	
営業利益		26,567
開発事業		
営業収益	72,358	
営業費用	56,058	
営業利益		16,299
全事業営業利益		42,867
営業外収益		
受取配当金	2,463	
保険配当	407	
その他	1,029	3,900
営業外費用		
支払利息	5,316	
社債利息	1,005	
その他	874	7,196
経常利益		39,571
特別利益		
工事負担金等受入額	49,820	
関係会社事業損失引当金戻入額	1,568	
その他	726	52,115
特別損失		
固定資産圧縮損	49,820	
減損損失	496	
その他	1,503	51,820
税引前当期純利益		39,866
法人税、住民税及び事業税	10,677	
法人税等調整額	152	10,830
当期純利益		29,036

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結貸借対照表

(2024年3月31日現在)
(単位：百万円)

資産の部		負債純資産の部	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	168,953	流動負債	386,322
現金及び預金	31,448	支払手形及び買掛金	48,653
受取手形及び売掛金	69,796	短期借入金	40,282
契約資産	5,343	1年内返済予定の長期借入金	65,208
短期貸付金	1,824	1年内償還予定の社債	20,060
分譲土地建物	24,238	未払費用	7,262
前払費用	2,659	未払消費税等	3,155
その他	33,808	未払法人税等	13,918
貸倒引当金	△165	前受金	59,404
固定資産	1,535,110	契約負債	40,733
有形固定資産	1,367,269	賞与引当金	2,719
建物及び構築物(純額)	536,825	商品券等回収損失引当金	4,414
機械装置及び運搬具(純額)	78,715	資産除去債務	61
土地	636,462	その他	80,447
建設仮勘定	101,868	固定負債	776,027
その他(純額)	13,396	社債	138,100
無形固定資産	18,606	長期借入金	484,091
公共施設負担金	1,635	鉄道・運輸機構長期未払金	1,540
その他	16,971	繰延税金負債	19,339
投資その他の資産	149,234	再評価に係る繰延税金負債	49,588
投資有価証券	101,459	役員退職慰労引当金	1,043
長期貸付金	361	株式給付引当金	2,157
破産更生債権等	358	退職給付に係る負債	42,720
退職給付に係る資産	9,400	資産除去債務	3,519
繰延税金資産	13,063	その他	33,928
その他	25,422	負債合計	1,162,350
貸倒引当金	△832	(純資産の部)	
資産合計	1,704,063	株主資本	441,843
		資本金	102,135
		資本剰余金	52,214
		利益剰余金	298,039
		自己株式	△10,545
		その他の包括利益累計額	93,850
		その他有価証券評価差額金	45,372
		土地再評価差額金	47,474
		為替換算調整勘定	180
		退職給付に係る調整累計額	822
		非支配株主持分	6,019
		純資産合計	541,713
		負債純資産合計	1,704,063

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書

(2023年4月1日～2024年3月31日)
(単位：百万円)

科目	金額	
営業収益		635,964
営業費用		
運輸業等営業費及び売上原価	441,499	
販売費及び一般管理費	120,581	562,081
営業利益		73,883
営業外収益		
受取利息	22	
受取配当金	2,161	
保険配当金	412	
持分法による投資利益	181	
その他	2,453	5,231
営業外費用		
支払利息	5,645	
その他	1,436	7,081
経常利益		72,033
特別利益		
固定資産売却益	249	
工事負担金等受入	50,606	
その他	1,155	52,010
特別損失		
固定資産除却損	1,647	
固定資産圧縮損	50,584	
減損損失	3,483	
その他	480	56,195
税金等調整前当期純利益		67,848
法人税、住民税及び事業税	19,804	
法人税等調整額	△353	19,450
当期純利益		48,398
非支配株主に帰属する当期純利益		234
親会社株主に帰属する当期純利益		48,164

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フローの状況

(2023年4月1日～2024年3月31日)
(単位：百万円)

営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
91,690	△61,625	△67,918	31,258

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

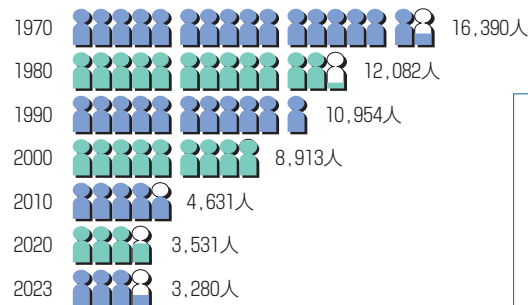
従業員構成

従業員

2023年度末における従業員数は3,280人（稼働）で平均年齢は48.1歳、平均勤続は27.1年です。経営の近代化・業務の機械化により、人員は減少傾向にあります。

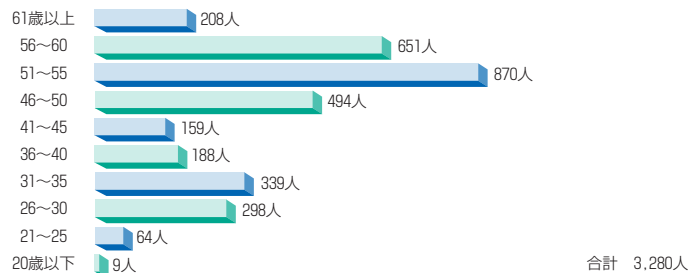
従業員数の移り変わり、年齢別人員構成、勤続別人員構成はそれぞれ次表のとおりです。

従業員の移り変わり（各年度3月末現在）

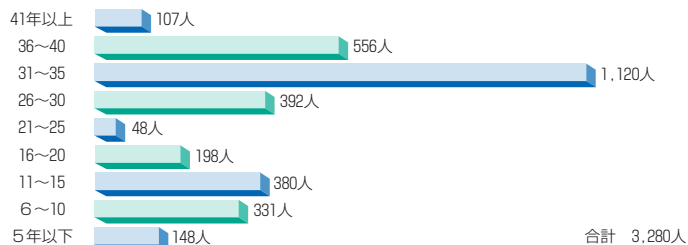


別途、鉄道事業等において車両メンテナンス業務等を委託している東武インターテック㈱（従業員数 162人）
線路・電気保全業務等を委託している東武エンジニアリング㈱（従業員数 455人）
駅業務等を委託している東武ステーションサービス㈱（従業員数 1,554人）
経理・給与計算業務等を委託している東武シェアードサービス㈱（従業員数 49人）
の従業員がいます。（2023年度末現在）

年齢別人員構成（2024.3末現在）



勤続別人員構成（2024.3末現在）



ダイバーシティ&インクルージョンの推進・人材育成

東武グループ ダイバーシティ&インクルージョン宣言 ～咲きほこれ！～

- 1 わたしたちは、一人ひとりの性別・年齢・国籍・障がい・性的指向・性自認・価値観・働き方等の多様性をお互いに認め合い、自分らしく誇りをもっていきいきと活躍できる風土を創ります
- 2 わたしたちは、一人ひとりが能力を最大限に発揮し、コミュニケーションを図りながら共に高め合い、協働することで、新たな価値を創出します
- 3 わたしたちは、沿線地域やお客さまとともに未来を育み、自己の成長を企業価値の最大化につなげ、ひいては持続的な発展を目指します

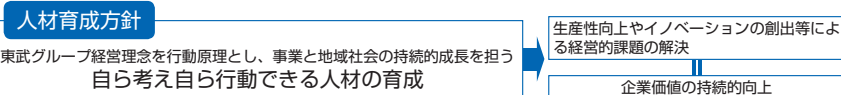
人材育成方針

当社グループは、広域な鉄道ネットワークに広がる沿線地域を事業基盤として、「人にやさしく人と地域が共に輝きつづける社会」の実現を目指しています。

そのために必要な人材とは、当社グループ経営理念「奉仕」「進取」「和親」を行動原理として、長期経営ビジョンである『「挑戦」と「協創」で進化させる社会と沿線』のもと、自ら考え自ら行動し、新たな分野にも挑み、街と街、人と街など、さまざまな「つなぐ」ビジネスモデルを実現できる人材と捉えています。

また、このような人材が活躍していくためには、安全技術のように、長期にわたって継続的に磨き込んでいく能力と、刻々と変化する事業環境の下で新たな商品・サービス提供によって価値を創造することのできる能力の両面を育てていく必要があります。

この基本的な考え方に基づいた当社の人材育成方針及び社内環境整備方針は次のとおりです。



～求める人材～

既存事業をさらに磨き上げることによる「信頼」と、変革を恐れない新たな発想による「価値創造」により、ビジネスチャンスの開拓を地域社会の持続的成長につなげていく人材
社内環境整備方針（求める人材の育成に必要な社員支援の考え方）

- 方針-1 時代に即した変化を促す人材育成への支援
- 方針-2 安心して働き、能力を発揮し続けられる働き方整備

教育

教育は、人事部能力開発センターが統轄し、それぞれの部門に必要な専門教育は各部門での教育により相互に補充しあうシステムとなっています。

同センターでは、各種階層別研修や、社外派遣研修、各種セミナー、通信教育など多岐にわたる教育メニューを活用し、主体的積極的に学ぼうとする社員の支援を通じて、教育風土の醸成を図り、顧客満足度を創造し、沿線の発展に貢献できる社員の育成を目指しています。



施設全景



事故から学ぶ展示室

● 総合教育訓練センター（人事部能力開発センター・鉄道乗務員養成所）の施設概要

敷地 17,063.57㎡
 設備 教室数14（うち鉄道乗務員養成所 養成教室2）・ホール・事故から学ぶ展示室・模擬駅
 室・運転シミュレータ室・教材室・信号連動教材室・食堂・競技館・訓練線など
 設立 2016年4月

● 人事部能力開発センターで行う教育

養成課程 新入社員教育など基礎的知識と技能の修得を図ります。
 基本課程 入社2・3年目の社員の成長の確認と知識と技能の定着を図ります。
 普通課程 2.75年毎に鉄道関係社員の知識と技能のブラッシュアップを図ります。
 研究課程 管理監督者としての知識と技能の習得を図ります。
 研修課程 管理監督能力の向上を図ります。
 ミドルマネジメント層からトップマネジメント層まで更に細分化し、それぞれに必要な能力の習得を図ります。
 特設講座 手挙げ式研修として、公募型研修のほか、オンライン英会話やサブスク型動画教育、通信教育といった自己啓発支援をグループ全社員を対象に行い、幅広い知識の修得促進を図ります。その他必要に応じて、専門的知識、技能の付与を目的とした講座を設けます。

● 鉄道乗務員養成所

2007年4月、鉄道乗務員養成所を新設し、鉄道乗務員養成の一元管理体制をとりました。
 2024年4月1日現在、東武鉄道では933名の運転士と682名の車掌が乗務しており、安全の確保を最大の使命として業務を遂行しています。
 鉄道乗務員養成所では乗務員の資質の向上をめざし、お客様の信頼に応える運転士、車掌の養成に努めています。

1 鉄道運転士養成

鉄道乗務員養成所は「動力車操縦者運転免許に関する省令」に基づき、教科書の概要・動力車の部品・その他の教材や設備・教師陣・学科及び技能講習科目と時間・合格基準等を申請し、国土交通大臣の指定を受けた指定養成所として鉄道運転士の養成を行っています。

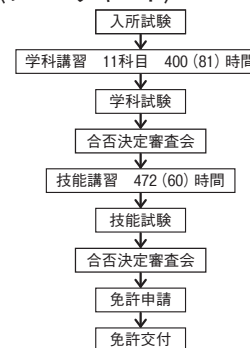
養成所では鉄道輸送の安全の確保を図ることを第一に、社内の専任教師及び各専門分野担当の兼任教師並びに外部講師の講義等により

- (1) 動力車の操縦に必要な知識及び技能の修得
- (2) 鉄道輸送の安全の確保に専念する精神の高揚
- (3) 社会人に必要な教養の修得

を養成目標として鉄道運転士の養成に努めています。

現在、当社における電車の運転に必要な「第一類甲種電気車運転講習課程」を定期的に関講していますが、これは入所試験で選抜された者が受講することができ、学科講習・技能講習を経て修了試験に合格することで国土交通省から「動力車操縦者運転免許証」が交付されます。

〈フローチャート〉



※()は、区域を定めて行う入換運転に限定される者



CIS（コンピュータによる教育システム）による講習

2 鉄道車掌養成

鉄道乗務員養成所では、鉄道輸送の安全の確保を図ることを第一に社内専門分野担当講師並びに外部講師の講義等により

- (1) 車掌業務全般に必要な知識及び技能の修得
- (2) 鉄道輸送の安全の確保に専念する精神の高揚
- (3) 車掌業務におけるCS意識の高揚

を養成目標として鉄道車掌の養成に努めています。

現在、当社における車掌の養成は、20日間の学科講習と28日間の技能講習を経て、修了試験に合格した者が車掌として営業線で乗務しています。

3 運転シミュレータ教育

総合教育訓練センターに運転シミュレータを設置し、保安装置（ATS、ATC）をはじめとした様々な運転条件に合わせた機器操作訓練や実際の営業線では設定することができない事故、車両故障等に遭遇したときの対応訓練を実施しています。

新任乗務員への基本動作の教育のみならず、既成乗務員への異常時対応能力向上並びに係員相互間の連携向上を図ることを目的とした実効性の高い教育の実施に注力しています。



連携のとれた適切で迅速な対応の訓練

■ 東武鉄道お客さまセンター

当社ではお客様のお問い合わせにお答えするとともに、ご要望を真摯に受け止め、今後の経営に反映させ、より一層皆様に選んでいただける東武鉄道を目指すため、「東武鉄道お客さまセンター」を設けています。お寄せいただいた声を参考に改善した主な事例を東武鉄道公式ホームページに掲載しています。

【営業時間】 9：00～18：00（年中無休 ただし年末年始を除く）

【電話番号】 03-5962-0102

- 【受付内容】
- ①特急券のご予約
 - ②お忘れ物のお問い合わせ
 - ③時刻や運賃等、その他のお問い合わせ
 - ④ご意見・ご要望

■ マナー啓発活動

お客様からお寄せいただいたマナー改善に関する声を参考に当社のメッセージをお伝えするため、駅や列車内のマナーポスターやデジタルサイネージによる周知など、マナー啓発活動を行っています。今後も安全・安心・快適にご利用いただける環境づくりをお客様とともに目指してまいります。



マナーポスター



デジタルサイネージ

■ 「人のために、ひとつひとつ。東武鉄道」ポスター活動

「人のために、ひとつひとつ。東武鉄道」ポスターシリーズは2013年秋に「東武鉄道をもっとお客様に知っていただきたい」という思いから生まれたポスターです。さまざまな職場で働く東武社員の「仕事への想い」や「家族への想い」をお客様に知っていただくため、シリーズ化して、駅・列車内にポスターを掲出しています。

（ポスターギャラリー：https://www.tobu.co.jp/corporation/rail/poster_gallery/）



車両（検修）篇



変電篇

■ 東武鉄道公式ホームページ

● 東武鉄道公式サイト
(https://www.tobu.co.jp/)

東武鉄道の公式サイトとして、情報を発信しています。時刻表・路線図・各種サービスなどの鉄道情報、沿線観光地のおでかけ情報のほか、東武鉄道の事業やグループ事業などの企業情報、IR情報・採用情報などをお伝えしています。



トップページ

● スペース X特設サイト (https://www.tobu.co.jp/spaciox/)

スペース Xの多様な座席やカフェのご紹介、旅のみどころなど、スペース Xに関する情報を発信しています。

● SL大樹公式サイト (https://www.tobu.co.jp/sl/)

SL大樹のニュース&イベント情報を発信するとともに、SL事業に関する社会的意義や、同事業への興味関心の醸成を目的とした情報もお伝えしています。

● 訪日外国人向け鉄道情報サイト (https://www.tobu.co.jp/en/)

外国人観光客向けの情報案内サイトとして、東武鉄道の利用案内や二次交通をはじめ、東武グループ事業エリアのグループ施設や観光情報を英語、中国語、韓国語、タイ語で発信しています。

■ SNSによる情報発信

全世界で広く利用されているFacebookやInstagram、X、YouTube、中華圏で普及しているSNSである微信（WeChat/ウィーチャット）の東武グループ公式アカウントを開発するなど、SNSを活用した情報発信に取り組んでいます。

■ 東武グループキッズサイト “TOBU Kids（と〜ぶキッズ）”
(https://www.tobu-kids.com/)

小学生をメインターゲットとし、参加・体験型のサイトを目指しています。サイトでは、親子でお楽しみいただける様々なコンテンツを展開しているほか、参加者を募集しての体験型イベントを開催するなど、東武グループ各社と連携した“東武グループのキッズサイト”として、多くのお客様にお楽しみいただいています。



トップページ



「スペース X新編成に会える車両工場見学会」

■ SolaieNavi～東武沿線 暮らしと住まいの情報～サイト
(https://www.solaie.jp/navi/)

東武沿線での生活を応援するサイトとして、東武沿線を中心とした日々の生活に役立つサービス等の暮らしの情報のほか、東武鉄道の新築分譲住宅や住み替え支援等の住まいの情報を発信しています。

■ 健康管理

従業員及び家族の健康保持増進と疾病予防をはかるため、本社診療所をはじめ、分院2か所（杉戸・川越）で一般診療、各種健康診断のほか、産業医が中心となり健康相談、生活指導を行っています。さらに、禁煙支援のための禁煙外来、精神科医によるメンタルヘルスケアも行っていきます。また、社内における各種取り組みにより、健康経営優良法人2024の認定を受けております。

■ 各種施設

住宅施設として、沿線各地区に単身者共同住宅、従業員住宅を設けています。東武動物公園駅付近にある従業員住宅では、保育施設を併設した子育てサポート付き社宅を開設しています。また、食堂施設は全線に6か所、体育施設として春日部運動場、総合教育訓練センター内に競技館を設け、従業員の福利厚生の充実をはかっています。

■ 健康保険組合

被保険者やその被扶養者のみなさんの医療給付を中心とした保険給付のほか、事業主との共催による生活習慣病予防健診等各種検診の実施、人間ドック、脳ドック、健康電話相談、保養施設等、健康の保持増進をはかる各種保健事業を行っています。

■ 共済会

従業員の福利と相互扶助をはかることを目的として設立された機関で、出産見舞、看護休職見舞、休業・傷病見舞のほか育児復職支援、旅行・グループ利用補助、検診補助などを行っています。

■ 学業貸付

従業員の子が大学（短期大学を含む）に入学又は在学にあたり、会社が従業員の経済的負担の軽減をはかることを目的とし、学業資金の貸し付けを行っています。

■ 財産形成制度

従業員の財産形成と老後の生活安定・向上をはかることを目的に、会社が従業員の給与から一定額を控除して、金融機関に積み立てる制度を行っています。

■ 各種保険関係

従業員の福利の一環として会社が団体契約を行い、給与から控除ができ、低額な保険料で大きな保障が可能となる保険制度です。東武希望グループ（団体定期保険）、医療保険、団体傷害保険、がん保険等があります。

当社では、株主の皆様に対し、株主優待乗車証、株主ご優待券を発行し、株主優待を実施しています。

■ 株主優待乗車証の発行

所有株式数	乗車証の種類	発行枚数（半期）
100株以上 600株未満	1枚1乗車有効の電車全線優待乗車証（回数券式）	2枚※3
600株以上 1,000株未満		6枚
1,000株以上 2,000株未満		10枚
2,000株以上 3,000株未満		20枚
3,000株以上 4,000株未満		30枚
4,000株以上 5,000株未満		40枚
5,000株以上 5,800株未満	50枚	+長期保有優待※1
5,800株以上 11,600株未満	電車全線優待乗車証（定期券式）	1枚 +長期保有優待※1又は※2
	電車全線優待乗車証（定期券式）+ 1枚1乗車有効の電車全線優待乗車証（回数券式）	1枚 +長期保有優待※1又は※2
11,600株以上		50枚

※1 1,000株以上5,800株未満を3年間に上継ぎして保有した場合、1枚1乗車有効の電車全線優待乗車証（回数券式）4枚を追加

※2 5,800株以上を3年間に上継ぎして保有した場合、1枚1乗車有効の電車全線優待乗車証（回数券式）10枚を追加
長期保有優待につきましては、当社の株主名簿において過去3年間の全ての基準日（当該基準日を含む直近7回の基準日（3月31日、9月30日））に1,000株以上の株式を継続して保有し、株主番号が継続して同一である株主様に対し、過去3年間の基準日に保有していた最小株式数に応じて追加発行します。

※3 100株以上200株未満で所有の株主様に対しては、年に1回、3月末基準日分のみお送りします。

■ 株主ご優待券の発行

優待施設等	優待の内容	枚数(半期)
東京スカイツリー®	天望デッキ（350m）・セット券（天望デッキ・天望回廊） 当日券の割引	30%割引 5枚
東武動物公園	入園料無料 アトラクションパス	500円割引 3枚
東武ワールドスクウェア	入園ご優待券（お買物券付き） 大人（中学生以上） 小人（4歳以上）	1,000円割引 500円割引 5枚
東武スポーツクラブ	施設利用料 1回1,320円で利用可能	5枚
東武藤が丘カントリー倶楽部 星の宮カントリー倶楽部 宮の森カントリー倶楽部 朝霞パブリックゴルフ場	プレー料金の割引 1名様につき	土・日・祝2,000円割引 平日1,000円割引 2枚
東武トップツアーズ	ツアー料金の割引 東武トップツアーズ企画・実施商品FEEL・東武旅倶楽部	5%割引 2枚
東武ホテルグループ	宿泊料金の割引（一部対象外） 飲食料金の割引（一部対象外）	公式料金の30%割引 10%割引 5枚
日光アストリアホテル 「龍頭乃湯・瀧乃湯・森乃精」	入浴料大人（中学生以上） 入浴料小人（6歳以上）	500円割引 200円割引 4枚
東武博物館	入館料無料	5枚
東武百貨店	お買物代金の割引（一部対象外）	1品単価1,000円（税抜）以上の商品を5%割引 8枚
東武ストア	お買物代金の割引（一部対象外）	1,000円（税込）毎に100円 10枚
東武商事	お買物代金の割引（一部対象外）	500円（税込）毎に50円 10枚

株主優待乗車証及び株主ご優待券は、100株以上200株未満で所有の株主様には年1回（6月）、200株以上ご所有の株主様には年2回（6月、12月）お送りします。

なお、有効期限は、6月郵送分は12月末まで、12月郵送分は翌年6月末までです。

■ 東武博物館

当社創立90周年記念事業の一環として、1989年5月20日、東武スカイツリーライン（伊勢崎線）東向島駅の高架下に開館しました。以降、実物車両の導入や電車運転シミュレータなど体験型展示物の更新をはかりながら今年開館35周年を迎えました。

東武鉄道で最初の蒸気機関車・電車・電気機関車をはじめとする実物車両12両を展示し、東武鉄道の歴史を紹介しています。また、人気の高い電車のシミュレーションではフルハイビジョンの迫力ある映像で運転体験ができます。パノラマショーでは1都4県を配した横14m奥行7mのジオラマ上をスペースX、リパティ、SL大樹など約130両の模型電車が走ります。

さらに、東武鉄道の主力車両として、一時代を築いた8000型車両の中で、鉄道ファンから“丸目”の愛称で親しまれている編成（8111編成）を2023年秋からデビュー当時のツートンカラーに塗装のうえ、東武アーバンパークラインで通常運用しています。

また、復活運転を開始したSL大樹については、SLの借受・譲受及び車掌車、客車の譲受により、計15両の動態保存を行うなど鉄道文化遺産の保存と活用に努めています。

なお、当館をより楽しんでいただくための「東武博物館友の会」も組織しています。

※ 英文名：Tobu Museum of Transport & Culture



8000型（8111編成）



SL大樹（C11形123号機）



電車のシミュレーション



大パノラマ（ジオラマ）

■ スポーツ振興・文化事業・東武沿線の安全福祉の増進事業

東武博物館では、スポーツ振興・交通マナー向上などをおして次世代を担う健全な青少年の育成活動を行っています。

スポーツ振興としては、沿線で開催される少年野球大会・少年サッカー大会を、関係諸団体・自治体と連携し、東武鉄道社員のボランティア協力を得ながら主催しており、少年野球大会では参加チームに小児用PASMOを贈呈するなど、公共交通機関利用の知識やマナーの啓発にも努めています。

今後も、鉄道が町と町をつないでいるように、子どもたちを育む輪を沿線の輪として広げていき、健やかな少年少女を育む一助になるよう、活動の充実を図っていきます。



少年野球大会



少年サッカー大会



また、東武博物館では文化事業として、文学・歴史・美術・演劇などに関する無料講座を「向島文化サロン」と称して定期的で開催しています。このほか、当社の駅などに車椅子やベンチを寄贈しているほか、沿線に植樹して緑化を図るなど、沿線の安全・福祉の増進に寄与する事業を行っています。

〈所在地〉

〒131-0032 東京都墨田区東向島4-28-16（最寄駅：東武スカイツリーライン東向島駅）
TEL 03-3614-8811

当社では、お客様やお取引先を含めた、会社保有の電子情報資産を適切に取り扱い、保護管理に努めることが、社会の期待と信頼に応える企業としての責務であると考え、情報セキュリティに取り組んでいます。

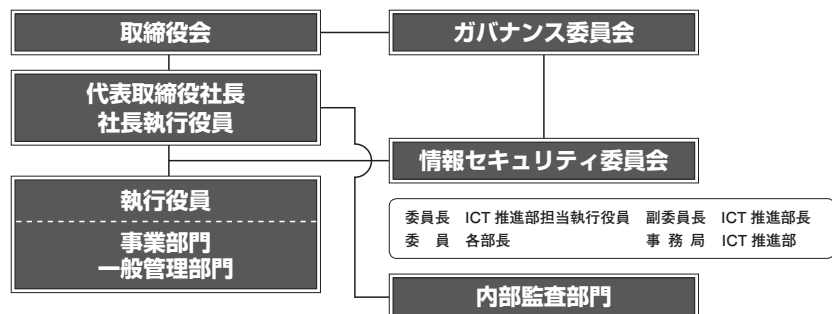
東武鉄道情報セキュリティ基本方針

私たちは、信頼こそが企業の重要な使命であると認識し、より確実な企業経営を推進するにあたり、事業を通して収集した全ての電子情報資産を経営に欠かせない重要な資産と位置づけ、厳格な管理と運用に努めることにより、社会の信頼に応えるよう行動します。

- 1 (基本主旨)
全ての事業活動に関わる電子情報資産に対し、適切な管理対策を講じ、不正な侵入、漏洩、改ざん、破壊、不正な使用、利用妨害から確実に保護するよう努めます。また、是正に対しては速やかに適切な処置を講じます。
- 2 (運営体制)
この方針を適正かつ円滑に推進するために、組織と責任の範囲を明確化した運営体制を確立させ、組織としての情報セキュリティ保護対策に努めます。
- 3 (教育)
電子情報資産に接する全ての者に対し、この方針を教育し、情報セキュリティの重要性を認識させ、電子情報資産の適正な利用を行うよう周知徹底を図ります。
- 4 (法令遵守)
この方針を理解認識し、電子情報資産に関する法令およびその他規範の内容を遵守し、情報セキュリティ対策を有効運営させ、社会に対しての責務を果たします。
- 5 (維持改善)
この方針を達成するために、「東武鉄道情報セキュリティ対策基準規程」および「情報セキュリティ実施手順」を理解・認識し、情報セキュリティの確保に努めるとともに、遵守状況を定期的に監査し、必要に応じた改善を行います。

2004年4月1日制定

運営体制



■ 主な取り組み内容

情報セキュリティポリシー（「東武鉄道情報セキュリティ基本方針」（上記参照）及び「東武鉄道情報セキュリティ対策基準規程」）に基づき、全社的な運営体制を確立するとともに、外部からのサイバー攻撃や社内での不正利用を防ぐべく、情報セキュリティ対策や社内教育を実施しています。また、当社内での情報セキュリティインシデント発生に備え、「TOBU-CSIRT」による迅速・適切な対応等を図る体制を明確化し運用しています。さらに、交通事業者間の連携・協力によりサイバー攻撃等に対する集団防衛力向上を目的とした「交通ISAC」に参画し、当事業の「安全・安心」の向上を図っています。

地球環境問題を企業の使命として自覚し、「環境保全」と「企業の成長」の両立を図り、組織的、継続的に環境問題に取り組むとの決意のもと、環境保全活動を推進しています。

環境理念

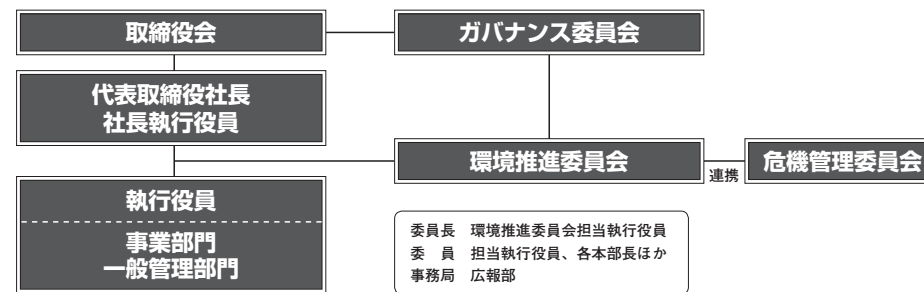
私たちは、地球環境保全を企業の使命の一つと自覚し、地域社会の皆様と共に健やかに暮らしつづけられるよう、事業活動を通じて創造と開発につとめ、地球にやさしい社会づくりに向け、行動します。

環境方針

- 1 鉄道事業がエネルギー効率の高い交通機関として、安全で快適な輸送を常に提供するとともに、すべての事業分野において環境活動を推進しながら、持続可能な社会の構築に貢献するよう努めます。
- 2 法規制等を遵守し、環境負荷の低減と汚染の予防に努めます。
- 3 この方針の達成のため、環境目的および環境目標を設定し、環境マネジメントシステムを運用することで、継続的に改善・見直しを図りながら行動します。
- 4 全社員一人ひとりにこの方針を伝達して環境意識向上を図ります。また、お客様とのコミュニケーションを大切にし、地域社会への貢献に努めます。

2003年1月1日制定
2014年11月20日方針改定

推進体制



■ 社会環境報告書の公開

環境保全に関する当社の姿勢や活動状況、事業活動に伴い発生する環境負荷に加え、ESG（環境・社会・ガバナンス）、SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みについて、当社に関わる多くの方々にお知らせすることを目的として社会環境報告書を公開しています。なお、2021年版より英語版も公開しています。

当社のホームページからご覧いただけます。
(<https://www.tobu.co.jp/corporation/report>)



社会環境報告書

当社の鉄道路線網は東京、千葉、埼玉、栃木、群馬の1都4県にわたっています。浅草を起点として埼玉県東部、栃木県、群馬県、千葉県に広がる本線は東武スカイツリーライン・伊勢崎線、日光線、及び東武アーバンパークライン（野田線）の3つの幹線とその支線から成り、通勤・通学輸送を主とする東武スカイツリーライン（伊勢崎線南部）と東武アーバンパークライン（野田線）、また、観光、ビジネス輸送を主とする日光線と伊勢崎線北部に大別されます。池袋を起点として埼玉県西部に伸びている東上線は、沿線の開発が進み、主に通勤・通学輸送の使命を担っています。

- 凡例**
- エスカレーター
 - エレベーター
 - バリアフリートイレ
 - 冷暖房付待合室
 - ハンドル形電動車イス利用可能駅
- (2023年3月現在)

東京メトロ副都心線・東急東横線・横浜高速みなとみらい線
和光市～渋谷～横浜～元町・中華街
直通区間／小川町～元町・中華街
営業キロ／48.5
駅数／41

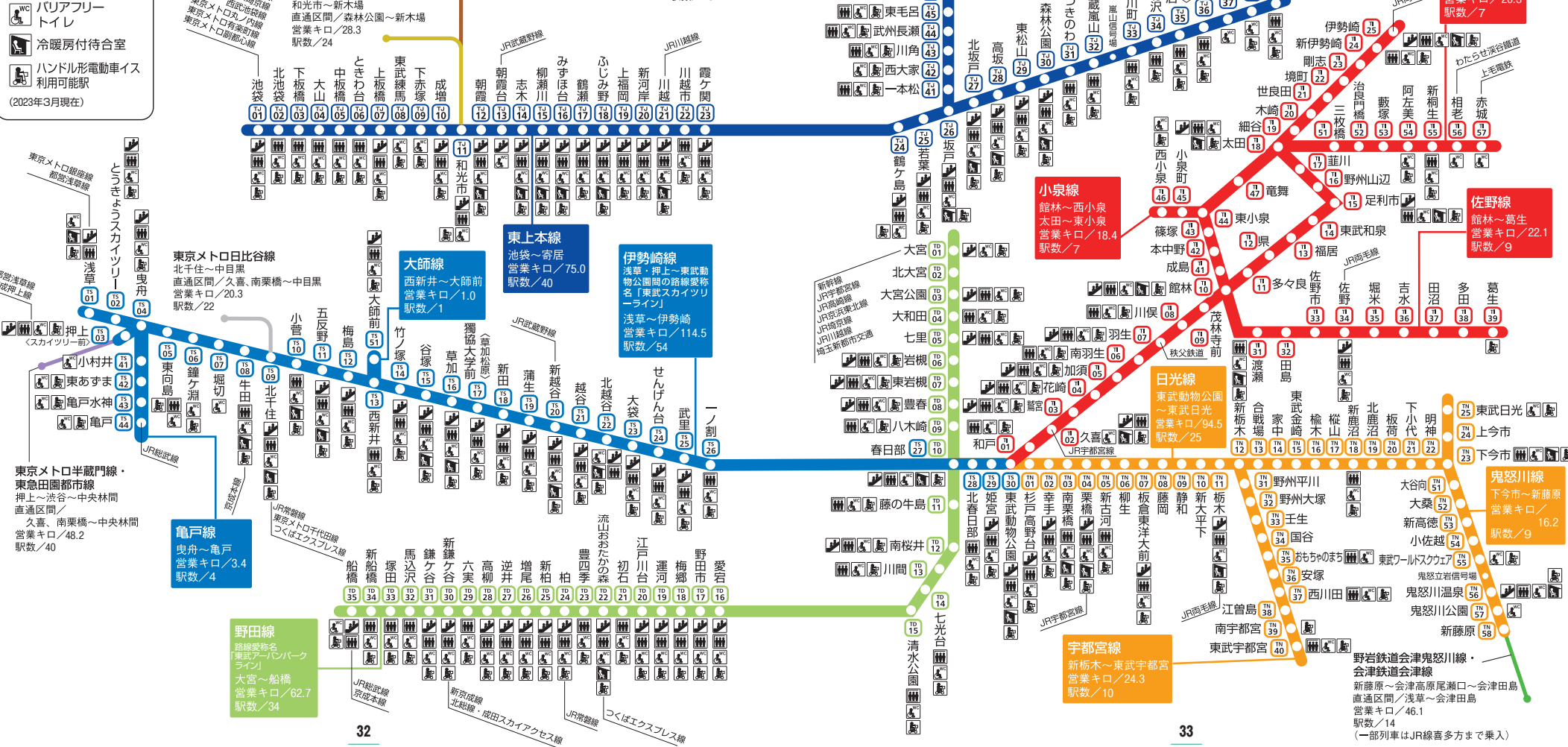
東京メトロ有楽町線
和光市～新木場
直通区間／森林公園～新木場
営業キロ／28.3
駅数／24

東京メトロ日比谷線
北千住～中目黒
直通区間／久喜・南栗橋～中目黒
営業キロ／20.3
駅数／22

東上本線
池袋～寄居
営業キロ／75.0
駅数／40

伊勢崎線
浅草・押上～東武動物公園
沿線の路線愛称名「東武スカイツリーライン」
浅草～伊勢崎
営業キロ／114.5
駅数／54

野田線
路線愛称名「東武アーバンパークライン」
大宮～船橋
営業キロ／62.7
駅数／34



2023年度鉄道運輸実績

●営業キロ	463.3キロ	◆旅客収入	384,966千円／1日平均
●駅数	207駅(旅客駅205)	◆運輸雑収入	38,815千円／1日平均
●走行キロ	客車715千キロ／1日平均	●運輸総収入	423,781千円／1日平均
●旅客人員	2,287千人／1日平均	●営業費	351,192千円／1日平均

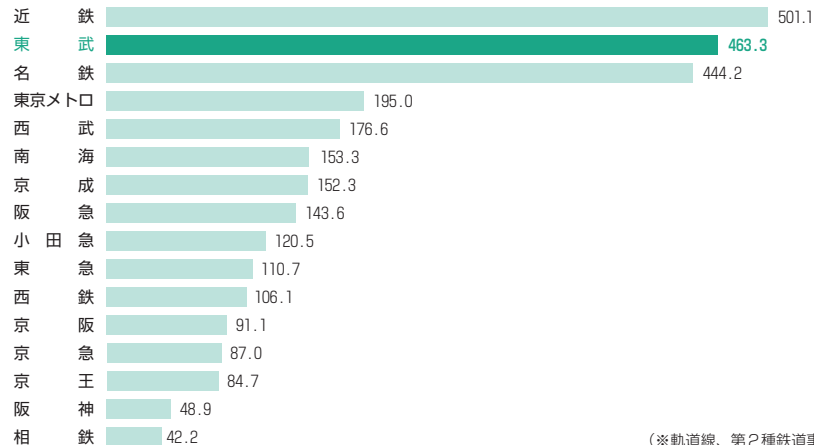
- 1 会社概要
- 2 鉄道事業
- 3 開発事業
- 4 グループ事業
- 5 年表

■ 民鉄16社比較

(2024年3月末)

社名	資本金 (百万円)	旅客 営業キロ (キロ)	駅数 (駅)	在籍客 車数 (両)	輸送人員 (千人)	旅客人 キロ (百万人キロ)	客車走行 キロ (千キロ)	従業員数		創立記念日
								単体(人)	鉄軌道 部門(人)	
東武	102,135	463.3	205	1,773	836,924	10,955	261,637	3,280	2,940	1897(明治30).11.1
西武	21,665	176.6	92	1,221	587,716	7,689	169,850	3,556	3,204	1912(明治45).5.7
京成	36,803	152.3	69	606	274,526	3,952	102,408	1,851	1,741	1909(明治42).6.30
京王	59,023	84.7	69	871	583,685	6,753	129,298	2,434	1,972	1910(明治43).9.21
小田急	60,359	120.5	70	1,038	683,710	10,374	174,078	3,682	2,992	1923(大正12).5.1
東急	100	110.7	99	1,303	1,052,143	9,771	156,173	3,577	3,455	1922(大正11).9.2
京急	43,738	87	73	790	433,254	5,713	108,993	2,906	2,455	1898(明治31).2.25
東京メトロ	58,100	195.0	180	2,724	2,384,731	19,305	289,825	9,551	9,459	2004(平成16).4.1
相鉄	100	42.2	27	442	214,819	2,298	53,157	1,036	994	1917(大正6).12.18
名鉄	101,158	444.2	276	1,064	360,692	6,566	175,195	4,987	3,970	1894(明治27).6.25
近鉄	100	501.1	286	1,877	521,835	9,476	271,875	6,700	6,560	1910(明治43).9.16
南海	72,983	153.3	98	698	217,267	3,539	97,929	2,642	2,148	1885(明治18).12.27
京阪	100	91.1	89	671	260,144	3,674	75,706	1,286	1,257	1906(明治39).11.19
阪急	100	143.6	90	1,249	597,920	8,326	166,445	3,062	2,925	1907(明治40).10.19
阪神	29,384	48.9	51	356	235,090	2,208	44,879	1,361	1,164	1899(明治32).6.12
西鉄	26,157	106.1	73	298	99,042	1,438	38,089	4,502	591	1908(明治41).12.17

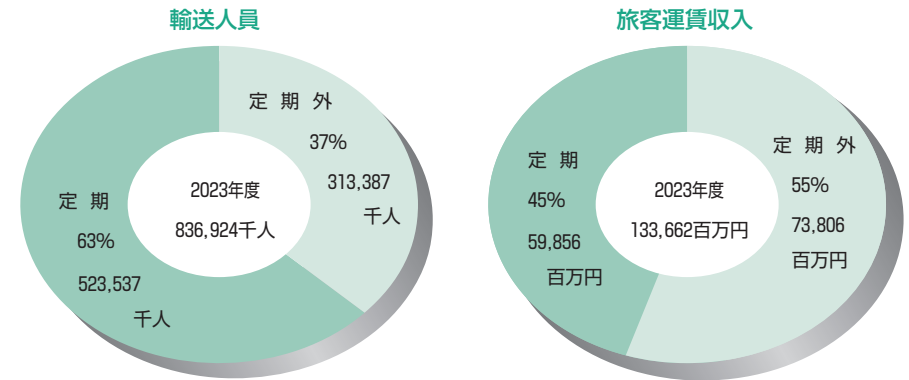
大手民鉄の鉄道営業キロ (2024年3月末) (単位: km)



(※軌道線、第2種鉄道事業を含む。)

■ 定期旅客と定期外旅客

定期輸送人員の割合は全体の63%である一方、定期収入の割合は全体の45%です。これは、定期運賃には大幅な割引率が適用されていることによるものです。



輸送人員と旅客運賃収入の推移

年度	輸送人員 (百万人)				1人平均乗車キロ		旅客運賃収入 (百万円)				営業キロ
	定期	定期外	計	定期の割合(%)	定期	定期外	定期	定期外	計	定期の割合(%)	
1970	420	161	581	72.3	14.1	15.2	7,593	10,491	18,084	42.0	483.4
1980	528	219	747	70.7	14.7	15.0	25,691	30,717	56,408	45.5	480.2
1985	557	232	789	70.6	15.2	14.9	38,466	42,525	80,991	47.5	469.7
1990	651	264	915	71.1	15.1	15.3	50,406	54,439	104,845	48.1	464.1
1995	669	278	947	70.6	15.3	14.8	65,262	65,626	130,888	49.9	464.1
2000	599	278	877	68.3	15.2	14.2	68,784	69,132	137,916	49.9	463.3
2005	559	292	851	65.7	15.3	13.8	65,410	71,946	137,356	47.6	463.3
2010	566	297	863	65.6	14.6	13.5	64,780	69,445	134,225	48.3	463.3
2015	588	316	904	65.1	14.2	13.5	65,754	73,514	139,268	47.2	463.3
2020	459	218	677	67.8	13.2	11.5	51,893	46,922	98,815	52.5	463.3
2021	483	252	735	65.7	13.4	11.9	53,209	55,338	108,547	49.0	463.3
2022	508	290	798	63.7	13.4	12.3	55,325	65,289	120,614	45.9	463.3
2023	524	313	837	62.6	13.4	12.6	59,856	73,806	133,662	44.8	463.3

※旅客運賃収入には特急料金・座席指定料金・運輸雑収を含まない。

当社の現行鉄道旅客運賃は、消費税率改定に伴い2019年10月1日に改定を実施し、その普通旅客運賃は対キロ区間制を採用しています。

普通旅客運賃につきましては、ICカードでご乗車いただく場合の運賃は1円単位、きっぷの運賃は10円単位となっています。

なお、定期旅客運賃に関しては、通勤定期・通学定期ともに、10円単位を採用しています。

2019.10.1改定 キロ別運賃表(大人) (単位:キロ、円)

キロ程	ICカードで ご乗車 (1円単位運賃)	きっぷを購入して ご乗車 (10円単位運賃)
1~4	147	150
5~7	168	170
8~10	199	200
11~15	251	260
16~20	314	320
21~25	367	370
26~30	419	420
31~35	471	480
36~40	524	530
41~45	597	600
46~50	660	660
51~60	733	740
61~70	817	820
71~80	902	910
81~90	985	990
91~100	1,079	1,080
101~120	1,215	1,220
121~140	1,383	1,390
141~178	1,571	1,580

入場料金 大人 160円

普通旅客運賃率の推移

改定年月日	キロ当たり基礎賃率	最低運賃(大人)
1942.4.1	2銭	5銭
1944.4.1	1~20km 2銭5厘 21km~ 2銭7厘5毛	東京近郊10銭 その他 5銭
1945.4.1	1~20km 3銭 21km~ 3銭5厘	10銭
1946.3.1	1~20km 7銭5厘 21~150km 8銭 151km~ 5銭5厘	20銭
1947.3.1	1~20km 9銭5厘 21~150km 10銭 151km~ 7銭5厘	50銭
1947.7.7	1~20km 35銭 21~150km 35銭5厘 151km~ 25銭5厘	1円
1948.7.18	30kmまで 1円20銭 60 // 1円5銭 100 // 85銭 101km以上 76銭	3円
1950.5.12	50kmまで 1円45銭 100 // 1円30銭 101km以上 1円20銭	5円 (1949.5.5から)
1951.11.1	1~30km 2円 31km~ 1円70銭	10円
1953.1.15	1~40km 2円30銭 41km~ 1円90銭	//
1959.1.4	1~40km 2円75銭 41km~ 2円30銭	//
1962.11.1	1~40km 3円10銭 41km~ 2円45銭	//
1966.1.20	1~50km 3円65銭 51km以上 2円90銭	20円
1970.10.5	1~50km 4円20銭 51km以上 3円10銭	30円
1974.7.20	5円10銭	40円
1975.12.13	6円55銭	60円
1979.1.8	対キロ区間制(19区界)	70円
1981.5.6	対キロ区間制(18区界)	80円
1984.1.25	対キロ区間制(19区界)	90円
1988.5.18	//	100円
1989.4.1	//	//
1991.11.20	//	110円
1995.9.1	//	130円
1997.4.1	//	//
1997.12.28	//	140円
2005.3.20	//	//
2014.4.1	対キロ区間制(19区界)	(1円単位) 144円 (10円単位) 150円
2019.10.1	//	(1円単位) 147円 (10円単位) 150円

■ 鉄道駅バリアフリー料金

駅設備のバリアフリー化を促進することを目的に、2023年3月18日以降、普通旅客運賃及び通勤定期旅客運賃に鉄道駅バリアフリー料金を加算して収受しています。

料金設定額(大人)

券種	定期外		通勤定期			通学定期
	ICカード (1円単位運賃)	きっぷ (10円単位運賃)	1か月	3か月	6か月	
設定料金額	10円	10円	600円	1,710円	3,240円	料金なし

小児については、鉄道駅バリアフリー料金加算後の大人の半額です。

■ 乗継割引運賃

経営主体の異なる鉄道を乗り継いで利用するお客様に対して、運賃の割高感を緩和するため1984年1月以降、乗継割引運賃制度を実施しています。

乗継割引運賃対象区間・割引額

(2008.6.14.現在)

当社駅名	接続駅	連絡鉄道線区	割引額	当社駅名	接続駅	連絡鉄道線区	割引額	
とうきょうスカイツリー ~東向島 小村井	浅草	東京メトロ線 田原町・稲荷町	大人 20円 小児 10円	新船橋・塚田 船橋	JR線 西船橋・東船橋	大人 10円 小児 10円	豊四季~初石 新柏・増尾 柏	大人 10円 小児 10円
		都営線 本所吾妻橋・押上 蔵前・浅草橋 新御徒町・両国	大人 20円 小児 10円			北大宮~大和田 大宮		JR線 南柏・北柏
曳舟~鐘ヶ淵 小村井~亀戸水神	押上 (スカイツリー副)	東京メトロ線 錦糸町 住吉	大人 20円 小児 10円	北池袋~中板橋 池袋	JR線 新大塚・茗荷谷 要町・千川 東池袋・護国寺 雑司が谷・西早稲田	大人 20円 小児 10円	東京メトロ線 大塚・巣鴨 目白・高田馬場 板橋	大人 10円 小児 10円
曳舟~堀切 北千住~五反野	牛田 (京成製菓)	京成線 千住大橋・町屋 堀切菖蒲園 お花茶屋	大人 20円 小児 10円			西武線 椎名町・東長崎		大人 20円 小児 10円
東向島~牛田 小菅~梅島	北千住	東京メトロ線 綾瀬・北綾瀬 町屋・西日暮里 三ノ輪・南千住	大人 20円 小児 10円	朝霞・朝霞台 和光市	東京メトロ線 地下鉄成増・地下鉄赤塚	大人 20円 小児 10円		
曳舟~亀戸水神	亀戸	JR線 錦糸町・両国 平井	大人 10円 小児 10円					

■ 二区間定期券

東上線では、2011年3月12日から、定期券1枚で池袋~和光市間の東武東上線と東京メトロ有楽町・副都心線の3路線を自由に選択してご乗車いただける二区間定期券を発売、2015年2月28日から、「二東流」という愛称をつけています。

東上線発駅から東武池袋までと東京メトロ線と和光市~東京メトロ線着駅までの通勤定期旅客運賃を合算した金額で、「モバイルPASMO・Apple PayのPASMO・PASMO」で発売します。

鉄道旅客運賃・料金

■ 団体乗車券

当社では、8人以上でお出かけになるお客様への団体割引を行っています。また、グループのお客様が25人（学生団体は26人）以上から人数に応じて無料運賃のお取り扱いをします。

	構成人員	割引率			無料運賃となる人員
		8人以上(学生団体は9人以上)	100人以上	300人以上	
普通団体	8人以上	1割引	2割引	3割引	25人以上100人までうち1人とし、100人を超える時は、100人までごとにうち1人
学生団体	学生・生徒等8人以上と教職員	大人5割引 小児3割引 付添人、教職員及び旅行者3割引			26人以上100人までうち1人とし、100人を超える時は、100人までごとにうち1人
訪日観光団体	訪日観光客8人以上又はこれと同行する旅行者	2割引			25人以上100人までうち1人とし、100人を超える時は、100人までごとにうち1人

■ 特急料金

特急列車にご乗車の際には乗車券のほかに特急券が必要です。

(単位：円)

料金種別	スペース X				けごん・きぬ リパティけごん・リパティきぬ リパティ会津・リパティりょうもう		りょうもう	
	スタンダードシート		プレミアムシート					
	大人	小児	大人	小児	大人	小児	大人	小児
特定区間	610	310	840	420	550	280	550	280
40kmまで	870	440	1,080	540	700	350	600	300
60kmまで	1,120	560	1,460	730	950	480	850	430
90kmまで	1,470	740	1,910	960	1,250	630	1,050	530
120kmまで	1,710	860	2,220	1,110	1,450	730	1,250	630
121km以上	1,940	970	2,520	1,260	1,650	830	—	—

※浅草～久喜間、浅草～南栗橋間、下今市～東武日光間及び下今市～鬼怒川温泉間の停車駅相互間を乗車する場合は、特定区間の料金を適用します。
※特急券を事前に購入されずに乗車された場合（ホーム係員からの購入含む）には、200円（大人・小児とも）を加算した料金をいただきます。

	スカイツリーライナー	
	大人	小児
浅草・せんげん台間の停車駅相互発着 40kmまで	420	210
	550	280

■ 特別座席料金・個室料金

スペース Xの特別座席をご利用の場合は、乗車券・スタンダードシート特急券のほか、特別座席券が必要です。

スペース Xの個室をご利用の場合は、乗車券・特急券のほか、個室券が必要です。

スペース X特別座席料金				スペース 個室料金
コックピットスイート	コンパートメント	ボックスシート	コックピットラウンジ	1室
18,000円	8,000円	400円	1人用 500円 2人用 1,000円 4人用 2,000円	3,770円

※4人用コックピットラウンジは2人よりご利用できます。

■ 座席指定料金

座席指定列車にご乗車の際には、乗車券のほかに座席指定券が必要です。

THライナー	大人680円・小児350円	久喜・東武動物公園・春日部～東京メトロ日比谷線内 大人580円・小児300円	せんげん台・新越谷～東京メトロ日比谷線内
--------	---------------	---	----------------------

※座席指定券を事前に購入されずに乗車された場合には、200円（大人・小児とも）を加算した料金をいただきます。

TJライナー	下り	大人370円・小児190円	上り	大人470円・小児240円
--------	----	---------------	----	---------------

※下り「TJライナー」は、ふじみ野駅から先をご乗車の場合、座席指定券は不要です。
※上り「TJライナー」は、ふじみ野駅からご乗車の場合、大人370円・小児190円です。

■ JR相互直通特急列車の運賃・料金

JR相互直通特急列車（日光・きぬがわ・スペース日光・スペースきぬがわ）にご乗車の際は、次の運賃・料金表に基づいた乗車券・特急券（個室を利用する場合は個室券）が必要です。

個室料金

東武線内	3,150円
JR線+東武線	6,300円

個室料金は、JR線内では「グリーン個室料金」となります。グリーン個室をご利用の場合は、JRの特急料金が大人530円引となります。小児特急料金については、大人特急料金から530円を差し引いた額を折半し、10円未満の端数を切り捨てた額となります。

駅名	JR新宿	JR池袋	JR浦和	JR大宮	栃木		新鹿沼		下今市		東武日光	
	1,570 1,480	1,570 1,350	1,570 1,080	1,570 1,000	520 380	520 380	840 610	520 380	520 430	520 430	520 270	520 270
栃木												
新鹿沼	1,890 1,740	1,890 1,610	1,890 1,340	1,890 1,260	520 380	520 380	840 610	520 380	520 430	520 430	520 270	520 270
下今市	2,100 1,910	2,100 1,780	2,100 1,510	2,100 1,430	840 610	520 380	840 610	520 430	520 430	520 430	520 270	520 270
東武日光	2,100 1,990	2,100 1,860	2,100 1,590	2,100 1,510	840 610	520 430	840 610	520 430	520 430	520 430	520 270	520 270
東武ワールドスクエア	2,100 1,990	2,100 1,860	2,100 1,590	2,100 1,510	840 610	520 430	840 610	520 430	520 430	520 430	520 270	520 270
鬼怒川温泉	2,100 1,990	2,100 1,860	2,100 1,590	2,100 1,510	840 610	520 430	840 610	520 430	520 430	520 430	520 270	520 270

※鉄道駅バリアフリー料金加算後の運賃です。

■ お体の不自由な方々への 鉄道運賃の割引

1 身体障がい者旅客運賃割引…身体障がい者手帳の交付を受けている身体障がい者の方（旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄に第1種又は第2種の記載のある方）に鉄道運賃の割引をしています。

2 知的障がい者旅客運賃割引…療育手帳の交付を受けている知的障がい者の方（旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄に第1種又は第2種の記載のある方）に鉄道運賃の割引をしています。

※身体障がい者手帳又は療育手帳の交付を受けている方が割引乗車券をお求めになる場合は、窓口で手帳をご呈示下さい。なお、大人の方で東武線内をご利用の場合に限り、券売機で購入した小児用乗車券にてご乗車いただけます。その際、入場時に係員に手帳をご呈示いただけます。

●障がい者用PASMOについて

・第1種身体障がい者または第1種知的障がい者とその介護者が利用できるPASMOです。発売は一組同時となります。
・障がい者用PASMOは、本人用・介護者用をお持ちの方が同時かつ同一行程で乗車される場合に、自動改札機をご利用いただけます。ただし、本人用の障がい者用PASMOをお持ちのお客様が、当社線内片道の営業キロ100キロをこえた区間を介護者なしでご利用いただく場合は、降車時に改札窓口にてお申し出いただけます。

■ 身体障がい者・知的障がい者割引

種別	券種	割引内容	
		回数	内容
第1種	単独乗車	普通	100キロをこえて旅行のとき……10円単位運賃の5割引（他鉄道線へ乗り継ぐ場合はおたすねください）
		ICカード	東武線を連続100キロをこえて旅行のとき……1円単位運賃の5割引
	介護者つき乗車	普通	ご本人・介護者の方とも……10円単位運賃の5割引（ご本人が幼児の場合、その幼児は無料）
		ICカード	ご本人・介護者の方とも……1円単位運賃の5割引（ご本人が幼児の場合、その幼児は無料）
第2種	単独乗車	回数	ご本人・介護者の方とも……5割引（ご本人が幼児の場合、その幼児は無料）
		定期	ご本人・介護者の方とも……5割引（ご本人が幼児の場合、その幼児は無料）
	介護者つき乗車	普通	ご本人が小児の場合、介護者の方のみ……5割引（注）ご本人には、通勤又は通学定期券を発売しますが、介護者の方に対しては通勤定期券に限り発売します。
		ICカード	ご本人が小児の場合、介護者の方のみ……5割引（注）ご本人には、通勤又は通学定期券を発売しますが、介護者の方に対しては通勤定期券に限り発売します。

鉄道事業は大量輸送手段として、特に大都市周辺において通勤・通学輸送に大きな力を発揮しています。この輸送事業の使命を全うするため、当社は運転保安、サービス改善、輸送力増強など、必要な投資を継続的に行ってまいりました。これまでの計画と実績は以下のとおりです。

● 運転保安

高架化、車両の更新、踏切保安設備の改良、線路設備の改良、高架橋・橋梁の耐震補強、運転保安システムの改修など。

● サービス改善

エレベーター、エスカレーター、バリアフリートイレ、駅施設の橋上化・リニューアル、駅務機器の改修、ホーム柵の整備など。

● 輸送力増強

複々線化、複線化、車両の増備、車庫等の新設・増設など。

2024年度の投資計画

総額403億円となり、そのうち安全関連設備投資額は287億円です。

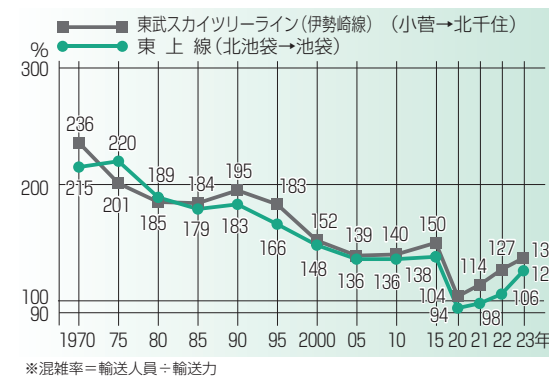
輸送力増強等投資計画と実績

(単位：百万円)

計画区分	期間	計画	実績	その他鉄道・運輸機構工事
第1次3ヶ年計画～第2次3ヶ年計画	1961年度～1966年度	18,631	20,006	0
第3次5ヶ年計画～第8次5ヶ年計画	1967年度～1996年度	594,082	616,456	129,597
1997年度設備投資計画	1997年度	30,853	29,241	7,737
1998年度設備投資計画	1998年度	29,265	29,090	5,716
1999年度設備投資計画	1999年度	26,586	25,116	9,065
2000年度設備投資計画	2000年度	26,424	25,930	8,566
2001年度設備投資計画	2001年度	26,234	21,966	8,577
2002年度設備投資計画	2002年度	21,208	20,766	11,101
2003年度設備投資計画	2003年度	21,448	25,249	1,731
2004年度設備投資計画	2004年度	21,329	19,962	2,248
2005年度設備投資計画	2005年度	39,226	38,099	0
2006年度設備投資計画	2006年度	42,086	40,749	0
2007年度設備投資計画	2007年度	41,955	41,749	0
2008年度設備投資計画	2008年度	33,694	26,801	0
2009年度設備投資計画	2009年度	31,054	26,778	0
2010年度設備投資計画	2010年度	28,661	26,115	0
2011年度設備投資計画	2011年度	21,955	21,219	0
2012年度設備投資計画	2012年度	29,557	28,908	0
2013年度設備投資計画	2013年度	28,786	26,308	0
2014年度設備投資計画	2014年度	32,163	30,460	0
2015年度設備投資計画	2015年度	32,777	29,392	0
2016年度設備投資計画	2016年度	35,700	33,576	0
2017年度設備投資計画	2017年度	34,519	32,696	0
2018年度設備投資計画	2018年度	36,025	34,521	0
2019年度設備投資計画	2019年度	39,787	38,432	0
2020年度設備投資計画	2020年度	21,913	20,369	0
2021年度設備投資計画	2021年度	24,103	21,481	0
2022年度設備投資計画	2022年度	32,216	29,130	0
2023年度設備投資計画	2023年度	37,748	33,381	0

当社は首都圏の通勤通学輸送の一端を担っています。朝夕の短時間に集中するこうしたお客様に、スムーズに、しかも快適に利用していただくため、線路増設、列車の増発と長編成化などを進めてまいりました。今後も、より良い輸送サービスの提供をめざし努力してまいります。

当社の主要路線である東武スカイツリーライン（伊勢崎線）の北千住口（小菅→北千住間）と東上線の池袋口（北池袋→池袋間）の午前ラッシュ時における混雑率の推移は次のとおりです。



〔混雑率〕

100% = 定員乗車。座席に着くか、吊り革につかまるか、ドア付近の柱につかまることができる。
 150% = 肩がふれあう程度で、新聞は楽に読める。
 200% = 体がふれあい、相当圧迫感があるが、週刊誌程度なら何とか読める。
 250% = 電車がゆれるたびに体が斜めになって身動きができず、手も動かせない。

東武スカイツリーライン（伊勢崎線）

北千住口の輸送状況は、1962年5月からの東京メトロ日比谷線との相互直通運転（北越谷～人形町間）により、その様を一変しました。現在は、南栗橋～中目黒間において相互直通運転を行っています。また、2003年3月から東京メトロ半蔵門線及び東急田園都市線との相互直通運転（南栗橋～中央林間間）を開始し、新たな都心直通ルートが誕生しました。

現在は、久喜、南栗橋～中央林間間において相互直通運転を行っています。

東武スカイツリーライン（伊勢崎線）小菅→北千住間最混雑時1時間の輸送状況の推移 (2023年度 7:30～8:30)

年度	列車本数 (本)	通過車両数 (両)	輸送力 (人)	輸送人員 (人)	混雑率 (%)	記 事
1970	30	180	23,670	55,951	236	
80	38	288	38,112	70,494	185	
85	40	308	40,872	75,357	184	
90	40	326	43,356	84,663	195	
95	41	342	45,564	83,493	183	
2000	45	378	50,436	76,541	152	
05	44	380	50,712	70,635	139	
10	42	368	49,056	68,631	140	
15	40	334	44,364	66,537	150	
20	38	306	41,798	43,527	104	
21	38	306	41,798	47,768	114	
22	37	296	39,874	50,482	127	
23	36	290	39,590	54,415	137	

1962年 東京メトロ日比谷線と相互直通運転を開始
 1974年 北千住～竹ノ塚間複々線化
 1986年 10両運転開始
 1988年 竹ノ塚～草加間複々線化
 1997年 草加～越谷間複々線化
 北千住駅改良工事完成
 2001年 越谷～北越谷間複々線化
 2003年 曳舟～栗平橋（現とうきょうスカイツリー）間複々線化
 東京メトロ半蔵門線・東急田園都市線と相互直通運転を開始
 2006年 東京メトロ半蔵門線・東急田園都市線直通列車の増発・久喜延伸
 2013年 東京メトロ日比谷線直通列車の南栗橋延伸

■ 東武アーバンパークライン（野田線）

東武アーバンパークライン(野田線)の輸送は大宮(JR宇都宮線等)・流山おおたかの森(つくばエクスプレス線)・柏(JR常磐線)・船橋(JR総武線)等で乗り換え、都心に向かうお客様が主体となっています。

東武アーバンパークライン(野田線) 北大宮⇒大宮間最混雑時1時間の輸送状況の推移 (2023年度 7:30～8:30)

年度	列車本数(本)	通過車両数(両)	輸送力(人)	輸送人員(人)	混雑率(%)	記事
1970	10	40	4,572	8,773	192	
80	12	66	8,184	12,827	157	1968年 七光台電車基地新設
90	12	72	9,684	17,171	177	1972年 七光台～船橋間 18m車6両運転開始
2000	14	84	11,592	17,030	147	1977年 大宮～七光台間 18m車6両運転開始
10	14	84	11,592	15,931	137	1980年 七光台～船橋間 20m車6両運転開始
20	13	78	10,764	9,772	91	1983年 新柏～増尾間複線化
21	13	78	10,764	10,061	93	1984年 大宮～七光台間 20m車6両運転開始
22	13	78	10,764	10,580	98	1985年 全列車6両化
23	13	78	10,764	10,879	101	1989年 増尾～逆井間複線化 六実～新鎌ヶ谷信号場間 複線化

初石⇒流山おおたかの森間最混雑時1時間の輸送状況の推移 (2023年度 7:10～8:10)

年度	列車本数(本)	通過車両数(両)	輸送力(人)	輸送人員(人)	混雑率(%)	記事
2006	11	66	9,108	12,508	137	
10	11	66	9,108	12,674	139	1991年 柏～新柏間複線化
20	10	60	8,280	6,986	84	1992年 全列車20m車化
21	10	60	8,280	7,361	89	1999年 岩槻～東岩槻間複線化 鎌ヶ谷～馬込間複線化
22	10	60	8,280	7,418	90	高柳車両基地新設
23	10	60	8,280	7,679	93	2004年 東岩槻～春日部間複線化 新鎌ヶ谷～鎌ヶ谷間複線化

新船橋⇒船橋間最混雑時1時間の輸送状況の推移 (2023年度 7:20～8:20)

年度	列車本数(本)	通過車両数(両)	輸送力(人)	輸送人員(人)	混雑率(%)	記事
1970	7	28	3,284	7,302	222	
80	7	42	5,544	9,932	179	2005年 流山おおたかの森駅開業 (つくばエクスプレス開業)
90	9	54	7,452	12,918	173	2007年 平日朝ラッシュ時間帯の 大宮行き春日部始発列車の増発
2000	11	66	9,108	12,950	142	2016年 大宮～春日部間急行運転開始
10	11	66	9,108	12,864	141	2019年 逆井～六実間複線化
20	12	72	9,936	10,009	101	2020年 全線急行運転開始
21	12	72	9,936	10,622	107	
22	12	72	9,936	11,177	112	
23	12	72	9,936	11,505	116	

■ 東上線

東上線は副都心池袋に直結しているため、住宅などの沿線開発が進んでいます。1987年8月からは東京メトロ有楽町線との相互直通運転(川越市～新富町間)を開始し、現在は森林公園～新木場間において相互直通運転を行っています。2008年6月からは東京メトロ副都心線との相互直通運転(森林公園～渋谷間)を開始、その後直通運転区間の拡大を図っています。現在は小川町～元町・中華街間において相互直通運転、小川町～海老名、湘南台間において直通運転を行っており、埼玉県西部から東京副都心を抜けて神奈川県に至る広域的なネットワークを形成しています。

東上線池袋⇒池袋間最混雑時1時間の輸送状況の推移 (2023年度 7:40～8:40)

年度	列車本数(本)	通過車両数(両)	輸送力(人)	輸送人員(人)	混雑率(%)	記事
1970	27	174	24,300	52,437	215	
80	27	236	32,568	61,502	189	1968年 8両運転開始
90	25	242	33,396	61,228	183	1971年 森林公園電車基地新設
2000	27	270	37,260	55,209	148	1976年 10両運転開始
10	24	240	33,120	45,179	136	1987年 和光市～志木間複々線化 東京メトロ有楽町線と相互直通運転を開始
20	24	240	33,120	31,035	94	2005年 武蔵嵐山～嵐山信号場間複線化
21	24	240	33,120	32,481	98	2008年 東京メトロ副都心線と相互直通運転を開始
22	24	240	33,120	35,129	106	2013年 東急東横線、横浜高速みなとみらい線と 相互直通運転を開始
23	22	220	30,360	38,159	126	2016年 東京メトロ副都心線相互直通列車の 東上線内急行(現在は快速急行)運転開始
						2023年 東急新横浜線、相鉄線と直通運転を開始

■ 特急列車

日光線・鬼怒川線では、特急スペーシアの伝統を受け継ぎつつ、6種類の多様な座席をご提供するスペーシアXのほか、「けごん」「きぬ」の愛称で親しまれている特急スペーシア及び併結・分割機能を活用し東武日光・鬼怒川温泉方面へシームレスに輸送できる特急リバティを運転しています。特急リバティについては、野岩鉄道経由で会津鉄道の会津田島まで乗り入れ、都心と会津地方を直結しています。また、東京西部地区からの利便性改善、観光輸送基盤の強化、アクセス強化を目的に、2006年からJR新宿～東武日光・鬼怒川温泉間においてJR東日本と特急列車の相互直通運転を実施しています。

伊勢崎線では、東京と両毛地区を結び、主にビジネス輸送のための「りょうもう」、「リバティりょうもう」を運転しています。

その他通勤に便利な近距離区間の特急列車として、スカイツリーライナーを運転しています。



スペーシア X



リバティ

■ 座席指定制列車

当社では、通勤・通学やお子様連れご家族などの都心への快適な移動ニーズに応えるため、座席をクロスシートとロングシートに転換できる車両を使用し、座席指定制列車を運行しています。

●TJライナー(使用車両:50090型)

「TJライナー」は、池袋からの着席サービス向上を目的に2008年から座席定員制列車として東上線にて運行を開始し、毎日多くのお客様にご利用いただいています。2016年には朝の通勤時間帯に池袋行きの運行を開始、2019年には座席指定制に変更し小児料金を新設するなど、さらにご利用いただきやすいサービスを提供しています。

●THライナー(使用車両:70090型)

「THライナー」は、2020年から運行を開始した東武線・東京メトロ直通運転初の座席指定制列車です。都心と郊外エリアを結ぶ直通運転の優位性を活用し、東武伊勢崎線 久喜駅～東京メトロ日比谷線 恵比寿駅(下り列車は日比谷線 霞ヶ関駅)間で運行しています。



クロスシート (THライナー使用時)



ロングシート (一般列車使用時)

旅客サービスの向上

■ 駅施設

● エレベーター・エスカレーター

2023年度においては、おもちゃのまち駅にエレベーターを導入し、現在、エレベーターは126駅に、エスカレーターは81駅に設置しています。

● バリアフリーに対応したトイレ

車イスをご利用の方やお子様連れの方など様々なお客様にも安心してご利用いただけるように、ベビーシート（多目的シート含む）やベビーチェア、オストメイト対応器具（人工排泄機能をお持ちの方が汚物処理できる設備）などを設けた車イス対応トイレ（個室）の設置を進めています。現在142駅に設置しています。

● 列車発車案内表示器

ホームやコンコースでお客様に列車の行先案内・発車時刻の案内等を自動的に表示します。現在120駅に設置しており、浅草、とうきょうスカイツリー、下今市、東武日光、鬼怒川温泉、池袋、川越駅では日本語、英語に加え、中国語、韓国語を表示することで多言語対応を実現し、外国人のお客様へのサービス向上を図りました。

● 運行情報案内表示器（デジタルサイネージ）

輸送障害時の運行情報をお客様にご案内する運行情報案内表示器を2006年度から設置しており、現在18駅で日本語、英語に加え中国語、韓国語の表示をしています。（東上線は日本語・英語表示）

● 自動放送装置

案内放送を音声コンピューターにより自動的に行っており、現在150駅で稼働しています。なお、浅草、とうきょうスカイツリー、下今市、東武日光、鬼怒川温泉、池袋、朝霞、川越では日本語に加え、英語による自動放送案内を行っており、外国人のお客様の利便性向上を図っています。

● 特急列車発売状況標

特急列車の発車時刻、停車駅案内及び空席状況を表示する特急列車発売状況標を浅草、とうきょうスカイツリー、北千住、東武日光、鬼怒川温泉の5駅に設置しています。



エレベーター



バリアフリートイレ



列車発車案内表示器



運行情報案内表示器



特急列車発売状況標

● 車イス用渡り板

車イスをご利用のお客様が安全に電車に乗り降りできるよう、車イス用渡り板を設置しています。

● 冷暖房付き待合室

駅で電車を待つ間、お客様に快適にすごしていただけるように冷暖房付き待合室を、現在33駅に設置しています。

● ウォークインカウンター

お客様に広いスペースにおいて落ちついた雰囲気より丁寧なご案内ができることを目的に、浅草、とうきょうスカイツリー、曳舟、北千住、竹ノ塚、新越谷、下今市、東武日光、鬼怒川温泉、柏、船橋、池袋、東武練馬、成増、和光市、志木、川越、坂戸駅に設置しています。

● AED の設置

お客様が心室細動を生じたとき、自動的に心電図を解析し電気ショックを与えて細動を取り除くAED（自動体外式除細動器）を、無人駅などを除いた173駅に設置しています。

● Wi-Fi 及びタブレット端末、AI通訳機の導入

訪日外国人観光客の利便性向上と東武グループ全体のインバウンド施策の基盤整備を目的とし、無料公衆無線LANサービス「TOBU FREE Wi-Fi」を現在8駅及び特急、THライナー、TJライナーの優等列車で提供しています。また、多言語での案内をサポートするために、翻訳アプリ等を備えたタブレット端末を120駅に配置しているほか、全ての車掌が携帯しています。



車イス用渡り板



冷暖房付き待合室



ウォークインカウンター



タブレット端末

■ 車両

● フリースペース・車イススペース

車イスやベビーカーをご利用されるお客様のために、車両へのフリースペース・車イススペースの設置を進めています。現在650両に設置しています。



フリースペース・車イススペース

● 車内案内表示器・ドアチャイム

耳の不自由なお客様のために、車両の出入り口上部に列車種別、停車駅などをお知らせするLCD式又はLED式の表示器を現在1,471両に設置しています。また、目の不自由なお客様のために車両のドア開閉をお知らせするドアチャイムを現在1,439両に設置しています。



車内案内表示器

● 優先席

お年寄りや体の不自由な方や妊娠されている方などのお客様の優先席を一般・通勤用の全車両（1,684両）に設置し、窓ガラスに「優先席」のステッカーを貼り付けています。また、優先席付近の吊り革を黄色にしています。

※携帯電話の車内マナー向上

当社をはじめとする鉄道事業者37社局では、2015年10月1日より、医療用電気機器をご使用のお客様に安心してご利用いただくために、車内での携帯電話の使用について優先席付近では混雑時には携帯電話の電源をお切りいただき、優先席付近以外ではマナーモードに設定の上、通話をご遠慮いただくようご案内しています。

● 弱冷房車

冷房が苦手なお客様にもご乗車いただきやすいように、温度を28度に設定（通常設定は26度）した弱冷房車を、現在240両導入しています。

● 女性専用車両（平日の朝ラッシュ時間帯に設定）

迷惑行為によるトラブルの抑制を図ることを目的に、2005年5月9日から東京メトロ半蔵門線直通列車を含む東武スカイツリーライン（伊勢崎線）・日光線及び東上線の朝ラッシュ時間帯の上り列車、2005年6月20日から東武アーバンパークライン（野田線）の朝ラッシュ時間帯の上下列車、2005年10月31日から東京メトロ有楽町線直通列車で朝ラッシュ時間帯の上り列車、2006年3月27日から東京メトロ日比谷線直通列車で朝ラッシュ時間帯の上り列車、2008年6月16日からは東京メトロ副都心線直通列車で朝ラッシュ時間帯の上り列車に女性専用車両を導入しました。



■ ICカード乗車券システム（PASMO）

2007年3月18日より、電車もバスも乗り降りできるICカード乗車券「PASMO」を導入しました。2013年3月23日からは他の交通系ICカードとの相互利用サービスを開始し、首都圏のみならず全国の主な電車・バスをPASMO1枚でご乗車できます。また、電子マネー機能を搭載しており、駅ナカのお店や自動販売機などでもご利用できます。



PASMO

2020年3月よりモバイル端末でPASMOのサービスがご利用いただけるようになりました。

■ 出改札システム

● 自動改札機・簡易改札機

全駅にPASMO対応の自動改札機または簡易改札機を設置しており、東武線全線でPASMOがご利用いただけます。また、車イスをご利用のお客様や大きなお荷物をお持ちのお客様が通行しやすいように、一部の改札に幅広型の自動改札機を設置しています。



自動改札機



簡易改札機

● 自動券売機

定期券発売機能と特急券発売機能を併せ持った自動券売機を各駅に設置しています。この券売機では、訪日外国人の方にも分かりやすく安心してご利用いただけるよう、日本語と英語のほか、中国語（繁体字/簡体字）・韓国語・フランス語・スペイン語・タイ語の8言語に対応しています。また、座席を指定した特急券の購入や、購入済み特急券の指定列車の変更などができるほか、一部の特急券等券売機ではクレジットカード決済にも対応するなど、特急をご利用いただくお客様の利便性向上を図っています。

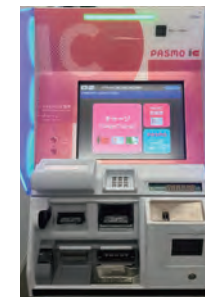
そのほか、モバイル端末のPASMOにもチャージができるトレー式のIC専用券売機を一部の駅に設置しています。



多機能券売機



特急券等券売機



IC専用券売機

■ 東武ネット会員サービス

「東武ネット会員サービス」は、駅窓口や自動券売機で特急券等を発券することなく、スマートフォン等で特急券やTHライナー・TJライナー座席指定券を購入できる、大変便利なサービスです。2017年3月からは、スマートフォンについては座席表から好きな位置の座席を選択していただける機能を追加し、さらなる利便性向上を図りました。

■ 特急券インターネット購入・予約サービス

2018年6月より、スマートフォンやパソコンから会員登録をすることなく、クレジットカード決済により特急券を簡単に購入できるサービスを開始しました。また、事前に座席確保のみを行うインターネット予約サービスについては、駅窓口・旅行代理店等での予約済特急券の引き換えに加え、2019年3月よりスマートフォンに表示する二次元コードにより特急券発売機能を持った自動券売機で予約済特急券を発券する機能を追加したほか、2020年4月より特急スペース個室の購入に対応するなど、利便性向上を図りました。



特急券インターネット購入・予約サービス

■ 運行情報メール

東武線で30分以上の運行支障・運行見合わせが生じた場合、又は見込まれる場合に、運行情報をメールでお知らせするサービスです。予め登録した路線に対して運行情報を配信します。

■ スマートフォンアプリ「TOBU POINTアプリ」

2023年3月18日より、「TOBU POINTアプリ」と「東武線アプリ」を統合し、より便利なスマートフォンアプリとしてサービスを開始しました。

2024年3月15日のアップデートにより、TOP画面の表示を発車時刻情報が保有ポイント・マイルのどちらかを選べるようになりました。

発車時刻案内、列車走行位置、運行情報等のほか、首都圏鉄道各社のスマートフォンアプリ連携機能等、東武線をご利用されるお客様にとって便利な情報を提供しています。



TOP画面

発車時刻案内

運行情報

列車走行位置

東武鉄道では、お客様に安心かつ快適にご利用いただくため、「安全対策に終わりはない」ことを常に念頭におき、安全性の向上に努めてまいります。

■ 安全方針と安全行動規範

「輸送の安全」に関する基本的な考え方は、「安全管理規程」（2006年10月1日制定）で「安全方針」「安全行動規範」として次のように定めています。

（安全方針）

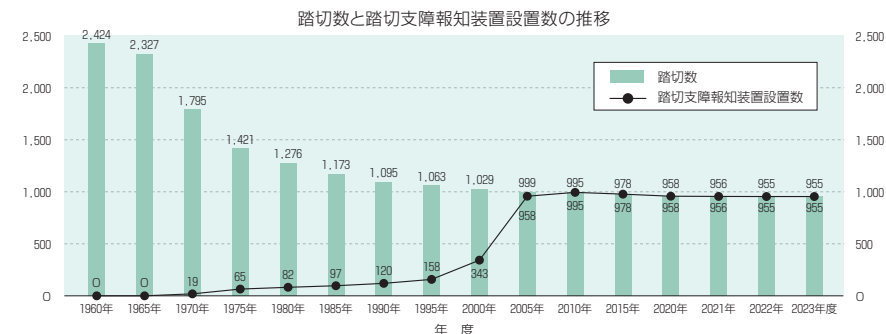
- 当社は、「社是・信条」を基に、次に掲げる方針に従い、お客様への「安全・安心」を確実なものとする。
- 「安全は東武グループすべての事業の根幹である」との信念のもと「安全を最優先」し、「信頼される東武鉄道」を目指す。
 - 「東武グループコンプライアンス基本方針」の精神に基づき、関係法令および規程等を遵守する。
 - 「安全対策に終わりはない」ことを常に念頭に置き、安全推進体制の継続的な見直しを進める。
 - 役職員一人ひとりが気付きの感度を高め、自ら考え、自ら行動することにより安全文化を創造していく。

（安全行動規範）

- 役職員全員は、一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
 - 輸送の安全に関する法令および関連する規程等をよく理解するとともにこれを遵守し、忠実かつ正確に職務を遂行します。
 - 常に輸送の安全に関する状況について、把握するよう努めます。
 - 憶測に頼らず必要な確認の実行に努め、判断に迷った時は、最も安全と思われる取扱いをします。
 - 事故・災害等が発生した場合、組織や職責に拘ることなく、その状況を冷静に判断し、人命救助を優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとりまします。
 - 輸送の安全に関する情報は漏れなく迅速、正確に伝え、情報の共有化に努めます。
 - 常に輸送の安全に関し、問題意識を持ち、必要な対策を実施するよう努めます。
 - 輸送の安全に関する知識・技能の習得・習熟に努めます。
- ※2012年10月1日改正

■ 踏切の安全対策

踏切における究極の安全対策は、立体交差化等により踏切を除却することです。立体交差化などの大規模工事を積極的に行い、踏切の除却に特段の努力を傾注してきました。その結果1960年に2,424か所あった踏切は、現在では半分以下の955か所まで減少しています。



1 立体交差化の推進

東武スカイツリーラインにおいてはとうきょうスカイツリー駅付近と春日部駅付近、東上線については大山駅付近の計3箇所において、関係自治体の協力のもと、踏切除却に向けた高架化工事を推進しています。なお、東武スカイツリーライン竹ノ塚駅付近については2023年度に事業が完了し、東武アーバンパークライン清水公園～梅郷間についても2021年3月に高架化が完了しています。



東武アーバンパークライン野田市駅 新駅舎外観

主な立体交差化等

区 間	延 長	廃止踏切数	踏切除却完了年度
伊勢崎線 曳舟～鐘ヶ淵間	2.3km	12	1968年度
伊勢崎線 北千住～西新井間	4.2km	8	1972年度
伊勢崎線 竹ノ塚～北越谷間	14.1km	27	1979年～1999年度
野 田 線 塚田～船橋間	1.9km	8	1980年度
伊勢崎線 足利市駅付近	3.0km	11	1980年度
東上本線 和光市～志木間	5.3km	12	1987年度
野 田 線 柏～新柏間	2.9km	1	1990年度
大 師 線 西新井～大師前間	0.8km	4	1991年度
野 田 線 鎌ヶ谷駅付近	2.4km	9	1999年度
日 光 線 栃木駅付近	3.1km	10	2000年度
伊勢崎線 剛志～新伊勢崎間	1.5km	5	2002年度
伊勢崎線 曳舟～業平橋(押上)間	1.3km	1	2002年度
野 田 線 七光台～清水公園間	0.9km	3	2003年度
伊勢崎線 太田駅付近	6.3km	17	2004年度
伊勢崎線 剛志～伊勢崎間	2.2km	13	2013年度
野 田 線 清水公園～梅郷間	2.9km	11	2020年度
伊勢崎線 竹ノ塚駅付近	1.7km	2	2021年度

2 踏切支障報知装置の設置

警報中の踏切内に自動車等が立ち往生するなど、踏切から出られなくなった時、列車に緊急事態を知らせて、列車脱線などの重大事故を防止し、車内のお客様の安全を確保し、通行者等との事故を防ぐことを目的として、すべての踏切に「押ボタン式踏切支障報知装置」を設置しています。そのほか安全性を向上させるため、踏切内に自動車等が立ち上がった場合に、検知装置が自動的に検知し、接近する列車に異常を知らせる「自動式踏切支障報知装置」の設置も進めています。

さらに保安度向上を目指して「押ボタン」と連動した踏切防護用ATS地上子の設置、並びに検知機能に優れた新型（レーザー式）の導入を進めています。

3 踏切保安設備の集中監視装置

踏切保安設備に異常があった場合、又は踏切道内で自動車等が支障している場合、直ちにこれを検知して指令所の集中監視盤に警報を表示する装置で、これにより適切かつ迅速に対応することが可能です。



押ボタン式踏切支障報知装置

踏切付近に設置された非常ボタンを押すことにより、接近してくる列車の運転士に、踏切で異常があることを知らせます。



自動式踏切支障報知装置

踏切内に自動車等が立ち上がった場合に、これを自動的に検知し、接近してくる列車の運転士に、踏切で異常があることを知らせます。

現在、東武本線の全踏切を本線電気指令所で、東上線の全踏切を東上電気指令所で、常時一括集中監視しています。

4 全国交通安全運動での踏切事故防止の呼びかけ

期間中、駅や列車内にポスター及び沿線の一部踏切道に安全のぼり旗を掲出し、お客様に対し、踏切事故防止へのご協力をお願いする啓発活動を実施しています。また、「スマホ・カーナビ等を操作しながらの横断禁止」、「自動車が踏切内に取り残された場合の脱出方法」、「踏切内に取り残された人や車を発見した場合の非常停止ボタン押下」について、ドライバーや歩行者に対して啓発するラジオCMを同業他社と合同で放送することで、重大事故に繋がる自動車と列車の踏切事故抑制にも努めています。



春の全国交通安全運動ポスター

駅の安全対策

1 非常停止ボタン

お客様がホームから転落した時などに列車を緊急に停車させることを目的として、ホーム上に非常停止ボタンを設置しています。

さらに主要な折り返し駅ではホームにいる駅係員がリモコン式の非常停止ボタンを携帯し、緊急時には速やかに列車を停止させるようにしています。



非常停止ボタン

非常停止ボタンが押されると、付近の列車に緊急停止の無線警報が発信され、警報を受けた列車は直ちに停車します。また、駅係員も現場に急行します。

2 転落支障報知装置

転落支障報知装置は、お客様がホームと車両との間に誤って転落してしまった時に自動的に検知し、駅事務室等へ異常を知らせる装置で、ホームが曲線であるためホームと車両の間隔が開いてしまう駅に設置しています。

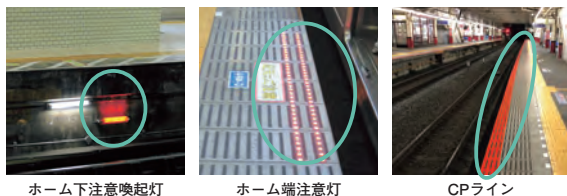
また、浅草駅、とうきょうスカイツリー駅、大宮駅、池袋駅の転落支障報知装置は、緊急停止の警報を発信することで付近を走行している列車を停止させる機能があります。



転落支障報知装置（マットスイッチ）

3 ホーム下注意喚起灯・ホーム端注意灯・CPライン

お客様が乗降する際の転落防止を目的として、ホームが曲線のため構造上車両とホームの間隔が開いてしまう箇所等には、点滅することでお客様に足元をご注意いただくための「ホーム下注意喚起灯」や「ホーム端注意灯」をホームの乗車位置付近に設置するとともに、点滅にあわせて注意喚起の音声を流す装置の設置も行っています。また、ホーム端に塗装を施した「CPライン」を導入しています。



ホーム下注意喚起灯 ホーム端注意灯 CPライン

4 ホーム柵（可動式・固定式）・内方線付き点状ブロック等の整備

ホーム柵（可動式・固定式）は、駅ホームの転落防止等、さらなる安全性向上を目的に設置するものです。ホーム柵（可動式）は2023年度末時点で東武スカイツリーライン11駅、東武アーバンパークライン2駅、東上線5駅の計18駅に設置しています。2024年度は東武スカイツリーライン小菅駅、梅島駅、草加駅（2・5番線）・蒲生駅、越谷駅（1・4番線）に設置するとともに、8駅の工事を実施します。ホーム柵（固定式）は2023年度末時点で東武アーバンパークライン3駅に設置しています。2024年度は豊春駅、江戸川台駅、増尾駅、逆井駅、六実駅、塚田駅に設置するとともに、1駅の工事を実施します。

視覚障がいをお持ちのお客様が、ホームから転落することを防止する設備として、2025年度までにご利用者数が3,000人／日以上駅の駅及び自治体が策定するバリアフリー基本構想の生活関連施設に位置付けられた2,000人／日以上駅の駅、計130駅において、ホーム端部に内方線付き点状ブロックを設置していきます。また、設置済の駅については、JIS規格の内方線付き点状ブロックへの改修を推進していきます。

5 ホームと車両乗降口の段差・隙間の縮小

車イス等をお使いのお客様に、より安全に駅ホームをご利用いただけるよう、ホームの先端部を改修し、ホームと車両乗降口の段差・隙間を縮小しています。



ホーム先端部の改修



転落防止用ホロ

■ 車両の安全対策

転落防止用ホロの設置

お客様がホーム上から車両間（車両連結部）への転落を防止するため、車両間の隙間へホロを設置しています。

■ ATC（自動列車制御装置）の導入

Automatic Train Control（自動列車制御装置）の略で、信号機を運転台に配置し、先行列車との間隔に応じてブレーキ制御を行うほか、曲線やポイント通過の際、列車の速度を自動的に連続して制御する装置です。東上線池袋駅～小川町駅間において現在使用している「ATC」では、踏切支障時の防護機能や停車駅の誤通過防止などの機能をもたせており、安全性のより一層の向上に寄与するものとなっています。

■ テロ・防災対策

1 テロ対策

国土交通省が作成した「鉄道テロへの対応ガイドライン」に基づき、「不審者・不審物の対応マニュアル」を整備し、鉄道テロ発生を抑制するため、駅や車内、重要施設等への防犯カメラ、侵入防止フェンス、非常用インターホン等の設置や、警備腕章を着用しての巡回等を実施しているほか、駅防犯カメラ映像をテロ等非常事態発生時に警察本部へ伝送する「非常時映像伝送システム」を運用しています。



防犯カメラ 侵入防止フェンス 非常用インターホン 警備腕章を着用しての巡回

2 強風対策

当社沿線に設置した風速計で強風を把握し、規定値を超えたときは運転を規制します。また、日常の点検等において強風等により列車の運行に支障が出る恐れがある樹木を確認した時は、樹木の所有者にご協力をいただきながら、伐採を行っています。



風速計

3 落石対策

落石が懸念される場所の安全対策として、落石止擁壁、落石防止網、落石防止柵等を設置しています。また、鬼怒川線の鬼怒川温泉～新藤原間には、落石検知装置を設置しています。

検知線
落石検知装置（現場）表示装置

4 豪雨対策

当社沿線に設置した雨量計で降雨量を観測しており、降雨量により運転規制を実施するとともに、盛土区間及び切土区間等の点検を行っています。その他、河川の水位や増水の状況を確認できる河川監視カメラを新設し、河川増水時の対応に備えています。また、対処が必要な箇所については法面改修等の土構造物改修工事を実施しています。


5 地震発生対応

「早期地震警報システム」により気象庁から緊急地震速報が発信され、当社沿線で大きな揺れが予想される場合には、自動で音声メッセージが列車乗務員に通報される仕組みとなっており、音声メッセージを受けた乗務員は直ちに列車を停止させます。また、当社沿線に設置した地震計で震度を把握し、震度4以上を観測すると運転規制及び駅構内や各施設の点検を実施します。

当社の安全に関わる取り組みの詳細については、「安全報告書」をご覧ください。
当社ホームページ（<https://www.tobu.co.jp/>）からご覧いただけます。

電車の設備概要

N100系




2023年7月より「SPACIA X」という名称で運行開始した特急車両です。パリエーション豊かな客室空間で構成され、お客様がご利用されるシチュエーションに合わせて6種類の客室から選択いただけます。車内にはカフェカウンター、大型荷物置場、多目的室を設けました。

各車両の側面表示器や両先頭車のデッキ部の天窓表示器はLCD搭載ガラスサイネージを採用するなど、進化した上質なフラッグシップ特急として運行しています。

- 製造初年/2023年3月
- 車両数/24
- 定員(名)/Tc1=23、M1=22、M2=56、M3=56、M4=39、Tc2=20
- 自重(t)/Tc1=35.3、M1=41.2、M2=38.9、M3=40.4、M4=40.7、Tc2=34.8
- 最大寸法(mm)/長:Tc1、Tc2=21580 M1、M2、M3、M4=20000 巾:2836 高:4045
- 主電動機/三相かご形誘導電動機、全閉内扇式
- 主制御装置/VVVFインバータ制御装置
- ブレーキ装置/回生ブレーキ併用全電気式空気ブレーキ
- 冷房装置/42,000Kcal/h/両
- 性能/最高速度:130km/h 加速度:2.23km/h/s 減速度:3.7km/h/s(常用) 5.3km/h/s(非常)

100系



1990年6月より特急スペースシアとして登場しました。


交流電動機を使用したVVVFインバータ制御方式の全電動車で、省エネルギー、省メンテナンス化を図った車両です。

車体は、軽量化、低重心化、気密性、遮音性を考慮して当初のアルミニウム合金を使用し、個室を備え座席は回転式リクライニングシートで、シートピッチも1,100mmと広く設計されています。

現在7編成中3編成にJR線乗入れ対応機器を搭載しており、2011年より内装のリニューアルを施しました。

- 製造初年/1990年4月
- 車両数/42
- 定員(名)/Mc1=24、M1=64、M2=56、M3=32、M4=64、Mc2=44
- 自重(t)/Mc1=35.5、M1=37.5、M2=36.5、M3=36.5、M4=37.5、Mc2=36.0
- 最大寸法(mm)/長:Mc1、2=21,600、M1、3、4=20,200、M2=20,500 巾:2,878 高:4,200
- 主電動機/三相かご形誘導電動機
- 主制御装置/VVVFインバータ制御装置
- ブレーキ装置/回生及び非常発電ブレーキ付、電気指令式空気ブレーキ装置
- 冷房装置/40,000Kcal/h/車
- 性能/最高速度:130km/h 加速度:2.0km/h/s 減速度:3.7km/h/s(常用)、5.3km/h/s(非常)

200型




1991年2月から1800系に代わる急行車両として就役しました。現在は特急りょうもうとして運行しています。

主制御装置は添加励磁装置付きとし、乗り心地の向上を図っています。また車椅子スペース、身障者対応洋式トイレを備え、バリアフリー化を図っています。座席は2人掛け回転式リクライニングシートを備えています。

1999年3月には、速度を向上して特急列車化を図り、現在は6編成を運行しています。

- 製造初年/1990年12月
- 車両数/36
- 定員(名)/Mc1=60、M1=72、M2=76、M3=56、M4=72、Mc2=60
- 自重(t)/Mc1=40.5、M1=39.5、M2=40.5、M3=39.5、M4=39.5、Mc2=41.5
- 最大寸法(mm)/長:Mc1、2=21,300、他=20,000 巾:2,878 高:4,200
- 主電動機/直流直巻補機巻線付電動機
- 主制御装置/添加励磁装置付抵抗カム軸式
- ブレーキ装置/回生ブレーキ併用電磁直通空気ブレーキ装置
- 冷房装置/31,500Kcal/h/車
- 性能/最高速度:110km/h 加速度:2.23km/h/s 減速度:3.7km/h/s(常用)、5.0km/h/s(非常)


500系



2017年4月より「リバティ」という名称で運行開始した特急車両で、さまざまな運行形態で運用可能な速達性を持たせるため、途中駅での併分割が可能で運用されており、3両又は6両編成で運用します。乗り心地を向上するために車体動揺防止制御装置を搭載したほか、Wi-Fi環境の整備、各座席へのコンセント設置、AEDの設置、車いす対応多機能トイレの設置など、快適性並びにサービス向上を図るとともに、バリアフリーに対応した車両としていきます。

- 製造初年/2016年12月
- 車両数/51
- 定員(名)/Mc1=52、T=45、Mc2=52
- 自重(t)/Mc1=40.5、T=35.1、Mc2=40.4
- 最大寸法(mm)/長=20,000、巾=2,870、高=3,980
- 主電動機/永久磁石同期電動機(PMSM)
- 主制御装置/VVVFインバータ制御装置
- ブレーキ装置/全電気指令式空気ブレーキ装置
- 冷房装置/40,000Kcal/h/両
- 性能/最高速度:130km/h 加速度:2.23km/h/s 減速度:3.7km/h/s(常用) 5.3km/h/s(非常)

634型




スカイツリートレインとして6050型を展望車に改造した車両です。

座席を高床として多彩なシート(ペアシート・シングル・ツイン)を設置するとともに、展望窓・前面展望スペース・サロンを設けました。また映像モニターも備え、イベント列車として運行しています。

- 製造初年/1985年10月(2012年10月改造)
- 車両数/4
- 定員(名)/Mc=30、Tc=29
- 自重(t)/Mc=45、Tc=38.5
- 最大寸法(mm)/長:20,000 巾:2,878 高:4,200
- 主電動機/直流直巻補機巻線付電動機
- 主制御装置/総括制御自動加減速多段式カム軸式
- ブレーキ装置/発電ブレーキ併用電磁直通空気ブレーキ
- 冷房装置/31,500Kcal/h/車
- 性能/最高速度:110km/h 加速度:2.5km/h/s 減速度:3.5km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)

8000型・8500型




1963年10月から1983年3月まで製造された車両で、712両が製造され、2、4、6両固定編成があります。

1986年度から内装のリニューアルや前面形状の変更等の更新工事を行いました。また1997年からは車椅子スペースの設置、1999年度からは転落防止用外ホコの取付け、2001年度からは空調装置のマイコン化を行いました。

- 製造初年/1963年10月
- 車両数/154
- 定員(名)/Tc1、2=150、他=170
- 自重(t)/Tc1、2=26、T=32、M=39
- 最大寸法(mm)/長:20,000 巾:2,850 高:4,200
- 主電動機/直流直巻補機巻線付電動機
- 主制御装置/総括制御自動加減速パーニア式カム軸式
- ブレーキ装置/電磁直通空気ブレーキ
- 冷房装置/42,000Kcal/h/車
- 性能/最高速度:110km/h 加速度:2.23km/h/s 減速度:3.7km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)


800型・850型



8000型8両固定編成から中間の2両を抜き、6両を更新工事時に3両固定にしたワンマン対応車両です。編成内の組成の違いから、浅草寄りの3両を800型、伊勢崎寄りの3両を850型とし、館林地区の線区で運行しています。

- 製造初年/1963年10月(2006年5月、3両固定化)
- 車両数/800型15、850型15
- 定員(名)/Tc、Mc=145、M=170
- 自重(t)/800型Tc=26、M=39、Mc=40.5
- 850型Mc=39.5、M=39、Tc=26
- 最大寸法(mm)/長:20,000 巾:2,850 高:4,200
- 主電動機/直流直巻補機巻線付電動機
- 主制御装置/総括制御自動加減速パーニア式カム軸式
- ブレーキ装置/電磁直通空気ブレーキ
- 冷房装置/42,000Kcal/h/車(マイコン制御)
- 性能/最高速度:110km/h 加速度:2.23km/h/s 減速度:3.7km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)


9000型



1981年12月に就役。東京メトロ有楽町線乗入れ用として製造された10両固定編成で自動界磁制御方式の主回路チョッパ装置を採用した回生ブレーキ付きです。運転台にはモニタ装置を取り付けるなど、省エネルギー、省メンテナンス化を実現した車両です。また、車体は前面左右非対称型とし、オールステンレス製とするなど、その後の新造車のモデルとなった車両です。2000年度からは、空調のマイコン化、2001年度からは、転落防止用外ホコの設置や吊り革の増設、2006年度からは、東京メトロ副都心線への乗入れ工事及びリニューアル工事をしました。

- 製造初年/1981年11月
- 車両数/70
- 定員(名)/Tc1、2=136、他=144
- 自重(t)/Tc1、2=29、M1=40、M2=39、M3=39、M4=40、T=28
- 最大寸法(mm)/長:20,000 巾:2,874 高:4,145
- 主電動機/直流直巻補機巻線付電動機
- 主制御装置/自動界磁式主回路チョッパ制御
- ブレーキ装置/回生ブレーキ併用全電気指令式空気ブレーキ
- 冷房装置/42,000Kcal/h/車(一部マイコン制御)
- 性能/最高速度:110km/h 加速度:3.3km/h/s 減速度:3.7km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)

9050型



1994年12月に登場した車両で、9000型に準じて製造されています。交流電動機を使用したVVVFインバータ制御方式を採用し、省エネルギー、省メンテナンス化を図りました。また、車椅子スペースを設けたほか、自動放送やドア開閉予告チャイムを設けるなど、バリアフリーにも対応した車両となっています。2007年度からは、東京メトロ副都心線への乗入れ工事及びリニューアル工事をしました。

- 製造初年/1994年9月
- 車両数/20
- 定員(名)/Tc3、4=141、他=152
- 自重(t)/Tc3、4=30、M5、7=37.5、M6、9=36.5、M8=36、T3=26、T4=26.5
- 最大寸法(mm)/長:20,000 巾:2,878 高:4,145
- 主電動機/三相かご形誘導電動機
- 主制御装置/VVVFインバータ制御装置
- ブレーキ装置/回生ブレーキ併用全電気指令式空気ブレーキ
- 冷房装置/42,000Kcal/h/車(一部マイコン制御)
- 性能/最高速度:110km/h 加速度:3.3km/h/s 減速度:3.9km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)

電車の設備概要

10000型



1983年12月に、8000型後継車両として登場しました。界磁チョップ制御装置を採用し、回生ブレーキ装置付きとし、日光線の急勾配区間にも対応するため、抑速ブレーキも備えています。車体は、地上車両としては当社初めてのオールステンレス製とし、2001年度からは空調装置のマイコン化や、転落防止用外ホクの取り付け、吊り革の増設等の工事を順次進めています。また2006年度よりバリアフリー化工事と室内リニューアル工事を行っています。

- 製造初年/1983年12月
- 車両数/96
- 定員(名)/Tc1.2・23 Mc=150、他=170
- 自重(t)/Tc1.2=29、M1.2 Mc=39、M3=37.5、T1.2=28、T3=32.5、Tc3=34
- 最大寸法(mm)/長:20,000 巾:2,874 高:4,145
- 主電動機/直流複巻補機巻線付電動機
- 主制御装置/他動界磁チョップ制御
- ブレーキ装置/回生ブレーキ併用全電気指令式空気ブレーキ
- 冷房装置/42,000Kcal/h/車(一部マイコン制御)
- 性能/最高速度:110km/h 加速度:2.5km/h/s 減速度:3.7km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)

10030型



1988年3月から登場した10000型をマイナーチェンジした車両です。前面をFRPで覆い、外板はビード成型を施すすっきりとした仕上げとしています。また、1人あたりの座席幅を広げています。1992年度からの50番代車両では、車椅子スペースの設置や空調設備にスリープファンを設けています。また、2010年度よりバリアフリー化工事と室内リニューアル工事を行っています。2013年4月から東武アーバンパークラインで運用を開始し、その際には車体側面のラインをフューチャーブルーとブライトグリーンに変更しています。

- 製造初年/1988年3月
- 車両数/332
- 定員(名)/Tc1.2=142、他=152
- 自重(t)/Tc1.2=29.5、M1.2 Mc=39.5、TM2=33、M3=38、TMC=34.5
- 最大寸法(mm)/長:20,000 巾:2,874 高:4,145
- 主電動機/直流複巻補機巻線付電動機
- 主制御装置/他動界磁チョップ制御
- ブレーキ装置/回生ブレーキ併用全電気指令式空気ブレーキ
- 冷房装置/42,000Kcal/h/車(一部マイコン制御)
- 性能/最高速度:110km/h 加速度:2.5km/h/s 減速度:3.9km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)

20400型



2017年より開始した70000系車両の導入に伴い、これまでの日比谷線直通車両である20000型を4両編成ワンマン化対応改造した車両で、2018年より宇都宮線等に導入しました。ドアを個別に開閉できるスイッチを設置することで冷房効率的の向上を図ったほか、車いすやベビーカーをご利用のお客様のためのフリースペースの設置、出入口上部にLCD式の車内案内表示器の設置をしています。

- 製造(改造)初年/2018年3月
- 車両数/88
- 定員(名)/Tc1=123、M1=134、M2=134、Tc2=123
- 自重(t)/Tc1=29.5~30.5、M1=35.5~36.5、M2=34.5~35.5、Tc2=28.5~30
- 最大寸法(mm)/長:18,000 巾:2,855 高:3,990
- 主電動機/三相かご形誘導電動機
- 主制御装置/VVVFインバータ制御装置
- ブレーキ装置/回生ブレーキ併用全電気指令式空気ブレーキ
- 冷房装置/40,500Kcal/h/両
- 性能/最高速度:110km/h 加速度:2.23km/h/s 減速度:3.7km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)

30000系



1997年3月、東京メトロ半蔵門線と東急田園都市線直通用として登場した車両です。当初のワンハンドルマスコンや車両情報制御装置の搭載、2002年4月からは、純電気ブレーキ制御方式を取り入れるなど、新しい技術を採用した車両です。また、空調装置のマイコン化、車内情報案内表示器の設置、一人当たりの座席幅の拡大、車椅子スペースや転落防止用外ホクの設置など、サービス向上とバリアフリー化を図っています。また、50050型の登場により、2005年度より地上車化工事を順次進め、現在は東上線で運行しています。

- 製造初年/1996年11月
- 車両数/150
- 定員(名)/139
- 自重(t)/Tc1.2=30、M1.M1A=36.5、M2.M2A=37.5、T1=29、M3=36
- 最大寸法(mm)/長:20,000 巾:2,789 高:4,080
- 主電動機/三相かご形誘導電動機
- 主制御装置/VVVFインバータ制御装置
- ブレーキ装置/回生ブレーキ併用電気指令式空気ブレーキ
- 冷房装置/48,000Kcal/h/車(マイコン制御)
- 性能/最高速度:120km/h 加速度:3.3km/h/s 減速度:3.7km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)

50000型



2005年3月、外板に斬新なシャイニーオレンジ色を配した車両として東上線に就役しました。通勤車両当社初のアルミ合金車体を採用、ダブルスキン大型材の適用によって車内の遮音性向上及び車体軽量化による消費電力低減、さらに各部のアルミ材質を統一しリサイクル性を向上させるなど、車両構造の大膽な見直しを行い環境負荷の低減を図っています。また、出入口床面とつみみ棒に警戒色を採用・車両床面高さの低減・ドアレールの高さをおさえ一部を切り欠くなど、車椅子でご乗車されるお客様にも優しい車両としました。

- 製造初年/2004年10月
- 車両数/90
- 定員(名)/Tc1.2=139、M1'.2.3、T1.2.3=153 M1'.2'(車椅子スペース付車)=154
- 自重(t)/Tc1.2=27、M1.1'=33、M2.2'=32.5、M3=31.5、T1.2.3=23
- 最大寸法(mm)/長:20,000 幅:2,800 高さ:4,050
- 主電動機/三相かご形誘導電動機
- 主制御装置/VVVFインバータ制御装置
- ブレーキ装置/回生ブレーキ併用全電気指令式空気ブレーキ
- 冷房装置/50,000Kcal/h/基(集中式・マイコン制御)
- 性能/最高速度:120km/h 加速度:3.3km/h/s 減速度:3.5km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)

50050型



2006年3月から30000系に代わって、東京メトロ半蔵門線と東急田園都市線直通車両として就役した車両です。構造は50000型とほぼ同等ですが、車体幅が30mm狭く、運転室前面に非常員通扉を設けてあります。カラーリングは50000型と同じシャイニーオレンジ色としています。

- 製造初年/2005年10月
- 車両数/180
- 定員(名)/Tc1.2=137、M1'.2.3、T1.2.3=151、M1'.2'(車椅子スペース付車)=152
- 自重(t)/Tc1.2=27.5、M1.1'=33、M2.2'=32.5、M3=31.5、T1.2.3=23
- 最大寸法(mm)/長:20,000 幅:2,770 高:4,050
- 主電動機/三相かご形誘導電動機
- 主制御装置/VVVFインバータ制御装置
- ブレーキ装置/回生ブレーキ併用全電気指令式空気ブレーキ
- 冷房装置/50,000Kcal/h/基(集中式・マイコン制御)
- 性能/最高速度:120km/h 加速度:3.3km/h/s 減速度:3.5km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)

50070型



2008年6月に開業した東京メトロ副都心線直通車両として東上線に就役した車両です。構造は50000型とほぼ同等ですが、副都心線に設置されるホームドアとの関係で先頭車のみ全長が130mm長くなっています。

- 製造初年/2007年2月
- 車両数/70
- 定員(名)/Tc1.2=140、M1'.2.3、T1.2.3=153、M1.2'(車椅子スペース付車)=152
- 自重(t)/Tc1.2=27.8、Tc2=28.7、M1.1'=32.7、M2.2'=31.9、M3=31.5、T1.2.3=24.4
- 最大寸法(mm)/長:Tc1.2=20,130、他=20,000 幅:2,800 高さ:4,050
- 主電動機/三相かご形誘導電動機
- 主制御装置/VVVFインバータ制御装置
- ブレーキ装置/回生ブレーキ併用全電気指令式空気ブレーキ
- 冷房装置/50,000Kcal/h/基(集中式・マイコン制御)
- 性能/最高速度:120km/h 加速度:3.3km/h/s 減速度:3.5km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)

50090型



2008年6月から東上線で運転を開始した座席定員制列車「TJライナー」用として就役した車両です。座席がクロスシートとロングシートに転換可能な「マルチシート」を採用しています。車体側面にはロイヤルブルーのラインと「TOJO LINE」のロゴを記しています。

- 製造初年/2008年2月
- 車両数/60
- 定員(名)ロング・クロス/Tc1.2=124・118、M1'.2.3、T1.2.3=135・129、M1.2'(車椅子スペース付車)=136・131
- 自重(t)/Tc1.Tc2=28.2、M1.1'=33.9、M2.2'=33.4、M3=32.3、T1.2.3=25.5
- 最大寸法(mm)/長:Tc1.2=20,130、他=20,000 幅:2,800 高さ:4,050
- 主電動機/三相かご形誘導電動機
- 主制御装置/VVVFインバータ制御装置
- ブレーキ装置/回生ブレーキ併用全電気指令式空気ブレーキ
- 冷房装置/50,000Kcal/h/基(集中式・マイコン制御)
- 性能/最高速度:120km/h 加速度:3.3km/h/s 減速度:3.5km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)

60000系



2013年6月から東武アーバンパークラインで運転を開始した車両です。2004年に導入を開始した50000系を基本に、「人と環境にやさしい車両」をコンセプトに新たに設計したもので、VVVFインバータ制御装置やLED照明を採用、車体にアルミ合金を使用することによる軽量化等で省エネ化を図り、従来の8000系車両に比べ電気使用量を約50%削減します。モーターについても、密閉構造のものを採用することで車両内外への騒音を低減させ、環境に配慮した仕様としました。

- 製造初年/2013年3月
- 車両数/108
- 定員(名)/Tc1.2=133、他(車椅子スペース付車)=146
- 自重(t)/Tc1=27.7、M1.M2=33.1 T1=28、M3=31.9、Tc2=27.8
- 最大寸法(mm)/長:Tc1.2=20,130、他=20,000 幅:2,800 高さ:4,050
- 主電動機/三相かご形誘導電動機、全閉内扇式
- 主制御装置/VVVFインバータ制御装置
- ブレーキ装置/回生ブレーキ併用全電気指令式空気ブレーキ
- 冷房装置/50,000Kcal/h/基(集中式・マイコン制御)
- 性能/最高速度:120km/h 加速度:2.23km/h/s 減速度:3.5km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)

70000型



2017年に20000系に代わる東京メトロ日比谷線直通用として運用開始した7両固定編成車両です。ホームドア導入を見据えて車両長は20mとしています。操舵台車や永久磁石同期電動機の最新技術を導入したほか、各車両にフリースペースの設置、LCD車内案内表示器の3画面化により幅広いお客様が快適にご利用いただける車両としています。

- 製造初年/2017年2月
- 車両数/126
- 定員(名)/Mc1、Mc2=140、M1.M2.M3.M2'.M1'=151
- 自重(t)/Mc1=34.3、M1=33.2、M2=32.9、M3=35.1、M2'=33.2、M1'=33.1、Mc2=34.5
- 最大寸法(mm)/長:Mc1、Mc2=20,470、M1.M2.M3.M2'.M1'=20,000、巾=2,780、高=3,972
- 主電動機/永久磁石同期電動機(PMSM)
- 主制御装置/VVVFインバータ制御装置
- ブレーキ装置/全電気指令式ブレーキ装置
- 冷房装置/50,000Kcal/h/両
- 性能/最高速度:110km/h 加速度:3.3km/h/s 減速度:3.7km/h/s(常用)、4.5km/h/s(非常)

電車の設備概要



70090型

2020年6月から運行開始した東武線・東京メトロ日比谷線直通の座席指定制列車「THライナー」用として就役した車両です。50090型と同様に座席がクロスシートとロングシートに転換可能な「マルチシート」を採用しています。基本仕様や機能は70000型を踏襲しつつ、ライナー運用時に使用可能なコンセント等を設置し、利便性・快適性の向上を図っています。

- 製造初年/2019年12月
- 車両数/42
- 定員(名)/ロング・クロス: Mc 1、Mc 2 = 126・122
M 1、M 2、M 3、M 2'、M 1' = 136・132
- 自重(t)/Mc 1 = 35.2、M 1 = 34.3、M 2 = 34、M 3 = 36.2、M 2' = 34.3、M 1' = 34.2、Mc 2 = 35.4
- 最大寸法(mm)/長: Mc 1、Mc 2 = 20,470 M 1、M 2、M 3、M 2'、M 1' = 20,000 巾 = 2,780 高 = 3,972
- 主電動機/永久磁石同期電動機(PMSM)
- 主制御装置/VVVFインバータ制御装置
- ブレーキ装置/全電気指令式ブレーキ装置
- 冷房装置/50,000Kcal/h/両
- 性能/最高速度:110km/h 加速度:3.3km/h/s
減速度:3.7km/h/s(常用) 4.5km/h/s(非常)

車両数は2024年3月31日現在

車両の点検・整備

電車を安全に運行するためには、車両の能力を常に最高の状態に整備しておく必要があります。当社では、日光線南栗橋駅に隣接する車両基地の整備を進め、2004年4月に主に全般、重要部分の検査を実施する工場棟が完成しました。作業工程に合わせて、自動搬送装置、主電動機検修ライン、自動洗浄気吹装置、立体自動倉庫、ロボットを使用した塗装ブース、各種分解・組立・試験装置等の機器を配置し、作業の効率化・省力化を図りました。なお、使用開始にあわせて、工場の全般・重要部検査の一般保守業務等を東武インターテック(株)に全面委託するとともに、従来、南栗橋車両基地において日常の検査を担当していた検修区と工場の検査機能を統合し、南栗橋車両管区としてトータル的に車両の保守管理を行っています。また、森林公園検修区においても車両整備を行っています。また、2005年9月には、南栗橋車両管区と委託先の東武インターテック(株)でISO14001を認証取得しています。

鉄道車両数

(2024.3.31現在)

	南栗橋車両管区	森林公園検修区	計(両)
特急車両	157	—	157
一般・通勤用車両	982	634	1,616
内燃機関車	2	—	2
計	1,141	634	1,775

(但し、野岩鉄道所有の6050型車両4両、東武博物館所有の8000型車両6両、車掌車2両、客車8両、蒸気機関車2両、借受の蒸気機関車1両を除く)



南栗橋車両管区工場棟車体作業場



南栗橋車両管区工場棟

■ 車上データ有効活用システム「Remote」

さらなる安定運行の確保や輸送サービスの向上、省エネ運転の推進を図ることを目的に走行中の車両の乗車率や車内温度、走行パターン等のデータを把握し分析するシステム「Remote[®]」を2021年度から本格導入しています。60000系、70000系、N100系、500系に導入しており、今後も拡大を図ってまいります。

※Remote monitoring of train to use effectivelyの略



鉄道輸送をがっちりと支えているのは線路です。線路はレール、枕木、道床、路盤から構成されていますが、重軌条（レールの長さ1mにつき50kg以上）化、PC枕木（鋼線又は鋼棒入りコンクリート枕木）化、ロングレール（1本の長さ200m以上のレール）化等の軌道強化をはかり、保安度と乗り心地が飛躍的に向上しています。

線路検査については総合軌道検測車（軌道変位検測車・レール探傷車）や遊間測定装置を、線路保守についてはマルチプルタイタンパー（道床つき固めを行う大型保線機械）及びスイッチマルチプルタイタンパー（主に分岐器、ガードレール区間等のつき固めを行う大型保線機械）を、また、レール削正車（レールの表面を滑らかにする大型保線機械）をそれぞれ配置して整備を行っています。

なお、本線関係では地震計13か所、雨量計28か所、河川監視カメラ16か所を、東上線では地震計4か所、雨量計10か所、河川監視カメラ7か所を設置して運転規制又は巡視・点検の必要性を確認する際の気象情報として活用しており、さらに気象観測業務会社より気象情報をネット化し防災初動体制の迅速化を図っています。

さらに、落石検知装置（落石が発生すると発光信号並びに鬼怒川温泉駅、新藤原駅及び運行管理所（下今市）へブザーで知らせる仕組み）を鬼怒川温泉～新藤原間に設置して、安全運転の確保に努めています。



総合軌道検測車



道床をつき固めるマルチプルタイタンパー



レールの表面を削るレール削正車

降雷配備体制支援情報

電区	設備	設置箇所	設置台数	設置状況
東武本線	伊勢崎線	浅草	1	●
	日光線	東武動物公園	1	●
	大師線	大船	1	●
	野田線	大宮	1	●
	佐野線	館林	1	●
	桐生線	太田	1	●
	小泉線	館林・太田	2	●
	宇都宮線	新栃木	1	●
	鬼怒川線	下今市	1	●
	計		10	

気象情報端末

線路とは、レール・枕木・道床・路盤及びこれに付帯する建造物を含む総称です。

レール

種類

レールは、1m当たりの重量により、60kg・50kgN・40kgN・37kgレールがあります。本線では、これらを線区の状況や沿線環境に配慮して、使い分けをしています。また、曲線部等では、耐摩耗性能に優れたレールを使用しています。

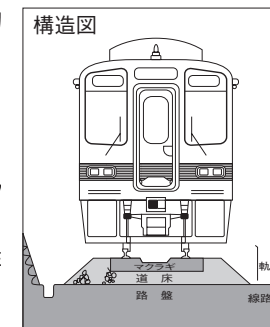
ロングレール

ロングレールとは、1本のレールの長さが200m以上のもので、25mのレールを溶接して作ります。

25mのレールを溶接したロングレールに更换すると、乗り心地の向上、沿線環境の改善、作業の効率化等の効果があります。

省力化軌道

列車の走行に伴う保守作業として、主に深夜に行う道床つき固め等の軌道整備や道床を新しく入れ替える道床更換などの道床作業をなくし、軌道保守周期の延伸を図るため、直結軌道をはじめとする省力化軌道の導入を進めています。

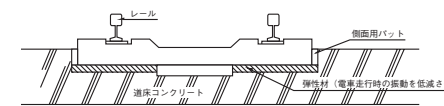


ロングレール化率

2024.3.31現在

線別	可能延長 (m)	敷設延長 (m)	設置率 (%)
本線	503,883	418,804	83.1
東上線	124,091	123,841	99.8
合計	627,974	542,645	86.4

*可能延長はR=600m以上で算出



※直結軌道には、他にもいろいろな型式があります。

線路及び軌道延長

2024.3.31現在

総称	線別	区間		営業キロ (km)	軌間 (m)	本線路延長				複線化率 (%)	単線換算軌道延長			線路等級
		自	至			単線区間 (km)	複線区間 (km)	複々線区間 (km)	計 (km)		本線 (km)	側線 (km)	計 (km)	
東武本線	伊勢崎線	浅草	伊勢崎	114.5	1,067	39.772	56.949	18.967	115.688	65.6	249.568	39.480	289.048	1 (浅草～太田) 2 (太田～伊勢崎)
	日光線	東武動物公園	東武日光	94.5	//	0.000	94.470	0.000	94.470	100.0	197.029	29.685	226.694	1
	大師線	曳舟	亀戸	3.4	//	0.000	3.442	0.000	3.442	100.0	7.019	0.000	7.019	2
	野田線	大宮	船橋	62.7	//	18.012	44.647	0.000	62.659	71.3	115.940	11.707	127.647	1
	佐野線	館林	葛生	22.1	//	22.340	0.000	0.000	22.340	0.0	25.742	4.168	29.910	2
	桐生線	太田	赤城	20.3	//	20.616	0.000	0.000	20.616	0.0	22.379	1.557	23.936	2
	小泉線	館林・太田	西小泉・東小泉	18.4	//	18.431	0.000	0.000	18.431	0.0	19.859	0.161	20.020	3
	宇都宮線	新栃木	東武宇都宮	24.3	//	24.255	0.000	0.000	24.255	0.0	28.501	0.441	28.942	2
	鬼怒川線	下今市	新藤原	16.2	//	15.410	0.767	0.000	16.177	4.7	19.367	0.688	20.055	2
	計			377.4		159.830	200.275	18.967	379.072	57.8	686.434	87.867	774.301	
東武東上線	東上本線	池袋	寄居	75.0	1,067	14.812	54.752	5.295	74.859	80.2	154.154	33.202	187.356	1 (池袋～森林公園) 2 (森林公園～寄居)
	越生線	坂戸	越生	10.9	//	9.867	1.036	0.000	10.903	9.5	13.616	0.249	13.865	2
計			85.9		24.679	55.788	5.295	85.762	71.2	167.770	33.451	201.221		
合計			463.3		184.509	256.063	24.262	464.834	60.3	854.204	121.318	975.522		

電車に電力を供給する架線や、信号情報を列車に伝えるATS（自動列車停止装置）地上子など、線路に沿って連続的に設置されている電気設備は、夜間終列車後に検測車を運行し、保全に必要なデータを収集しています。

当社では1990年に信号通信検測車を、また、1992年には架線検測車を導入し、検査の精度と効率の向上を図りました。さらに、2005年度より、信号と架線の検査機能を一体化した電気検測車を導入しています。この電気検測車は道路・軌道を走る軌陸両用車両で電車の屋根と同じ高さまで上昇する架台に架線検測用カメラを設置し、走行しながら架線の摩耗量・高さ・左右の位置を検測し、同時にATS地上子の共振周波数・電波の質を測定することができます。

また、架線の検査・補修用として、油圧昇降式作業台を設けた架線作業車を拠点に配置し、夜間の作業効率の向上を図っています。なお、2009年3月より、夜間における沿線の騒音対策として、エンジン動力とバッテリー動力とが選択可能なハイブリッド架線作業車も導入しています。

これらの車両で電気設備の保守や検査を行うことにより、輸送の安全に万全を期すとともに検査効率の向上を図っています。



電気検測車



架台を格納した電気検測車



電気検測車に搭載された機器



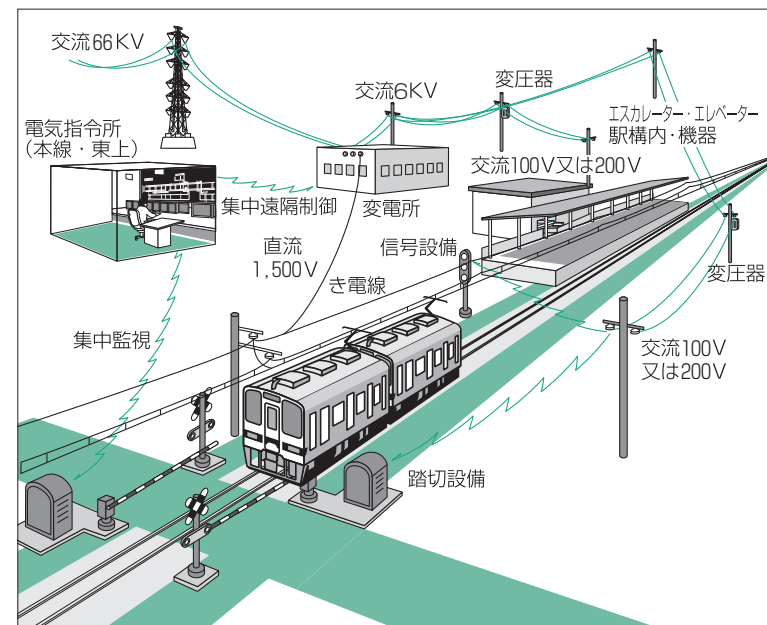
架線作業車

電車の走行に必要な電力や、信号・踏切、駅構内の設備に必要な電力の供給は、電力会社から当社変電所で受電し、使用用途に応じて、変圧・整流して送電しています。

変電所の集中遠隔制御

当社の変電所・受電所等の設備総数は63か所で、そのうち本線関係46か所を本線電気指令所、東上線関係17か所を東上電気指令所で集中遠隔制御しています。

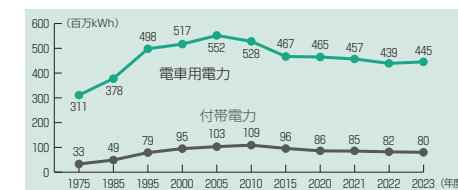
これにより、変電所の運転状況や電車線・高圧配電線への送電状況が、遠隔制御装置を通じて系統全般にわたり一目でわかるので、事故・障害などの情報収集や電力運用など、電気指令業務をスムーズに行うことができます。



電力使用量

当社の電力使用量は駅・踏切等の安全対策、冷暖房やバリアフリー設備新設等のサービス向上などにより増加傾向にありましたが、2023年度の電力使用量については、前年度0.9%増の525百万kWhとなりました。今後とも節電の取り組みを進めていきます。

電力使用量の推移



沿線地域の人口減少や社会構造の変化等によって地方創生に向けた動きが進む中、当社においては、「日光・鬼怒川エリアの活性化」「鉄道産業文化遺産の保存と活用」「東北復興支援の一助」を目的に鉄道会社ならではの事業として、2017年からSL大樹を運転しています。また、「技術の継承」を目的にSLの復元作業も完遂させたことで、2022年7月18日よりSL3両体制となり毎日運転を実現しています。今後もSL事業を通して沿線の更なる活性化を目指します。

● 運転概要

運転区間：東武日光～下今市～鬼怒川温泉間

所要時間：下今市～東武日光間 7.1km 約20分、下今市～鬼怒川温泉間 12.4km 約35分
※列車により所要時間が異なります。

停車駅：下今市／東武ワールドスクウェア／鬼怒川温泉／東武日光

SL座席指定料金：大人760円、小児380円（東武日光～東武ワールドスクウェア・鬼怒川温泉間は大人1,080円、小児540円）

DL座席指定料金：大人520円、小児260円（東武日光～東武ワールドスクウェア・鬼怒川温泉間は大人840円、小児420円）
※別途乗車区間の運賃が必要です。

● 車両・施設概要、SL検修員・乗務員の知識・技術の継承

「鉄道産業文化遺産の保存と活用」の目的に賛同いただいた全国の鉄道会社等からご支援とご協力を得て、各車両及びかつて国鉄時代に使用していた転車台を貸与・譲渡いただいたほか、従来からSLを運行し、知識・技能とともに豊富な各社と連携し、動態保存としての復元をはじめとした鉄道産業文化遺産を「学ぶ」資源として、技術の継承に取り組んでいます。

SL大樹の発着の拠点となる下今市駅は、SLが活躍していた時代を彷彿とさせるレトロ調な駅舎となっており、駅構内にはSL展示館のほか、SLの雄姿を間近で見学できるSL機関庫及び転車台広場が併設され、幅広い世代にお楽しみいただける施設となっています。



蒸気機関車 (SL) : C11形207号機 / JR北海道



蒸気機関車 (SL) : C11形325号機 / 真岡鐵道



蒸気機関車 (SL) : C11形123号機 / 日本鉄道保存協会



12系客車 オハテ12 1 / JR四国



ディーゼル機関車 (DL) : DE10 1109 / JR東日本



下今市機関庫・下今市駅転車台 : 旧長門市駅転車台 / JR西日本

● 営業概要

SL大樹の車内では、(一社)日光市観光協会の職員がSL観光アテンダントとして各列車に3名乗務し、日光・鬼怒川エリアの観光情報のご案内とともに、SL大樹の「記念乗車証」や手作りの「アテンダント通信」の配布を行うなど、日光市ならではの「おもてなし」でお客様の旅のお手伝いをしています。また、SL大樹オリジナルグッズなどの販売や、ご乗車の記念として写真撮影販売サービスを実施するなど、SL大樹の旅をより楽しめる演出を提供しています。

さらにSL大樹は「イベント列車」としても運行しており、地元地域の魅力ある観光コンテンツや季節ごとの行事などとコラボレーションした様々なイベント企画を実施しています。今後も楽しい企画を通して、SL大樹及び日光・鬼怒川エリアの魅力発信に努めていきます。



SL観光アテンダント



写真撮影販売サービス



あっぱれ日光！SL大樹珍道中 (江戸ワンダーランド日光江戸村とのコラボレーションイベント)

● 地元地域との連携

SL大樹の運転に合わせて鬼怒川線を「観光路線」と位置付け、地域と一体となった「SLの走るまちづくり」の実現に向けた様々な取り組みを進めています。その中でSL大樹を活用した日光市の観光振興につながる取り組みを「いっしょにロコモーション」と名づけています。

この取り組みの一例として、沿線の皆様がSL大樹にご乗車の皆様に手を振ってくださる「SL大樹にみんなで手を振ろうプロジェクト」や、地元住民の手によって遊休農地の整地、植栽及び管理運営までを実施する「鬼怒川線に季節ごとの花を咲かせようプロジェクト」が行われています。また夕刻の沿線の景観をお楽しみいただく「いっしょにイルミネーション」では、地元地域の皆様とともに、イルミネーションのデザインや設置などを実施しています。(冬季限定)

今後も日光市に住む方々・働く方々すべてが主体となって相互に理解・協力・啓発し合う環境を広げ、「いっしょにロコモーション」の輪を広げていくことで、SL大樹をきっかけとした日光市の観光振興につなげていきます。



SL大樹にみんなで手を振ろうプロジェクト



鬼怒川線に季節ごとの花を咲かせようプロジェクト



いっしょにイルミネーション

【伊勢崎線】浅草・押上～東武動物公園間は路線愛称名「東武スカイツリーライン」 ※乗降人員は2023年度1日平均。

駅名	開設年月日	乗降人員(人)	所在地
浅草	1931.5.25	38,346	東京都台東区花川戸1-4-1
とうきょうスカイツリー (押上) (スカイツリー前)	1902.4.1 2003.3.19	115,366 —	// 墨田区押上1-1-4 // // 押上1-1-65
曳舟	1902.4.1	28,309	// // 東向島2-26-6
東向島	//	18,155	// // // 4-29-7
鐘ヶ淵	//	12,297	// // 墨田5-50-2
堀切	//	4,041	// 足立区千住曙町34-1
牛田	1932.9.1	20,499	// // // 1-1
北千住	1899.8.27	401,218	// // 千住旭町42-1
小菅	1924.10.1	5,956	// // 足立2-46-11
五反野	//	34,729	// // // 3-34-6
梅島	//	34,181	// // 梅田7-37-1
西新井	1899.8.27	61,612	// // 西新井栄町2-1-1
竹ノ塚	1900.3.21	65,257	// // 西竹の塚2-1-1
谷塚	1925.10.1	36,638	埼玉県草加市谷塚1-1-22
草加	1899.8.27	80,663	// // 高砂2-5-25
獨協大学前 (草加松原)	1962.12.1	54,286	// // 松原1-1-1
新田	1899.12.20	28,531	// // 金明町道下263-2
浦生	//	16,600	// 越谷市浦生寿町16-17
新越谷	1974.7.23	139,076	// // 南越谷1-11-4
越谷	1920.4.17	47,032	// // 弥生町4-11
北越谷	1899.8.27	47,047	// // 大沢3-4-23
大袋	1926.10.1	17,479	// // 大字袋山1200
せんげん台	1967.4.15	50,516	// // 千間台東1-62-1
武里	1899.12.20	13,891	// 春日部市大場450
一ノ割	1926.10.1	16,139	// // 一ノ割1-1-1
春日部	1899.8.27	63,817	// // 粕壁1-10-1
北春日部	1966.9.1	9,258	// // 梅田本町1-13-1
姫宮	1927.9.1	4,671	// 南埼玉郡宮代町川端1-1-1
東武動物公園	1899.8.27	28,443	// // // 百間2-3-24
和戸	1899.12.20	3,554	// // // 和戸1-1-1
久喜	1899.8.27	46,131	// 久喜市久喜中央2-1-1
鷺宮	1902.9.6	6,082	// // 鷺宮中央1-1-17
花崎	1927.4.1	9,567	// 加須市花崎字蓮田157
加須	1902.9.6	12,532	// // 中央1-1-15
南羽生	1903.9.13	3,262	// 羽生市南羽生1-37
羽生	1903.4.23	11,656	// // 南1-1-62
川俣	1907.8.27	2,566	群馬県邑楽郡明和町中谷328-3
茂林寺前	1927.4.1	1,411	// 館林市堀工町1624
館林	1907.8.27	9,789	// // 本町2-1-1

駅名	開設年月日	乗降人員(人)	所在地
多々良	1907.8.27	519	群馬県館林市日向町987
県	1928.5.1	600	栃木県足利市県町49-1
福居	1907.8.27	722	// // 福居町1157-1
東武和泉	1935.9.20	782	// // // 2149
足利市	1907.8.27	4,972	// // 南町3694
野州山辺	1925.7.20	868	// // 八幡町637
蕪川	1932.10.25	2,050	群馬県太田市台之郷町1098-2
太田	1909.2.17	10,112	// // 東本町16-1
細谷	1927.10.1	2,383	// // 細谷町1169-4
木崎	1910.3.27	2,247	// // 新田木崎町45
世良田	1927.10.1	448	// // 世良田町2415-1
境町	1910.3.27	1,383	// 伊勢崎市境百々432
剛志	//	1,559	// // 境保泉1164-4
新伊勢崎	//	1,071	// // 中央町15-3
伊勢崎	1910.7.13	6,390	// // 曲輪町3-1

【亀戸線】

小村井	1928.4.15	10,765	東京都墨田区文花2-20-1
東あずま	//	7,504	// // 立花4-23-8
亀戸水神	//	4,224	// 江東区亀戸8-5-1
亀戸	1904.4.5	24,660	// // // 5-1-1

【大師線】

大師前	1931.12.20	12,557	東京都足立区西新井1-3-1
-----	------------	--------	----------------

【日光線】

杉戸高野台	1986.8.26	10,011	埼玉県北葛飾郡杉戸町高野台東1-19-8
幸手	1929.4.1	11,565	// 幸手市中1-1-23
南栗橋	1986.8.26	7,409	// 久喜市南栗橋1-20
栗橋	1929.4.1	10,131	// // 伊坂中央1-18
新古河	1935.7.21	1,179	// 加須市向古河732
柳生	1929.11.1	1,037	// // 小野袋1834-4
板倉東洋大前	1997.3.25	3,404	群馬県邑楽郡板倉町朝日野1-1-1
藤岡	1929.4.1	1,210	栃木県栃木市藤岡町藤岡5078-2
静和	//	1,086	// // 岩舟町静和2143
新大平下	1931.11.1	2,452	// // 大平町富田571-2
栃木	1929.4.1	9,553	// // 沼和田町1-35
新栃木	//	3,337	// // 平柳町1-8-18
合戦場	//	316	// // 都賀町合戦場513
家中	//	337	// // // 家中5897-9
東武金崎	//	437	// // 西方町金崎243-2
楡木	//	211	// 鹿沼市楡木町1018
縦山	//	497	// // 縦山町702-2

駅名	開設年月日	乗降人員(人)	所在地
新鹿沼	1929.4.1	2,971	栃木県鹿沼市鳥居跡町1475
北鹿沼	1931.12.10	143	〃 〃 玉田町743-3
板荷	1929.7.7	72	〃 〃 板荷222
下小代	〃	171	〃 〃 日光市小代329
明神	1929.11.1	208	〃 〃 明神883
下今市	1929.7.7	2,206	〃 〃 今市1110
上今市	1929.10.1	109	〃 〃 〃 533-3
東武日光	〃	3,137	〃 〃 松原町4-3

〔宇都宮線〕

野州平川	1944.10.1	933	栃木県栃木市大宮町229-19
野州大塚	1931.11.1	443	〃 〃 大塚町1258-10
壬生	1931.8.11	2,037	〃 〃 下都賀郡壬生町駅東町3-1
国谷	〃	916	〃 〃 〃 大字壬生甲3780-8
おもちゃのまち	1965.6.7	2,260	〃 〃 〃 幸町1-22-1
安塚	1931.8.11	1,113	〃 〃 〃 大字安塚1053
西川田	〃	2,247	〃 〃 宇都宮市西川田町5-1-17
江曾島	1944.7.1	1,673	〃 〃 大和2-12-31
南宇都宮	1932.4.17	1,134	〃 〃 吉野2-8-23
東武宇都宮	1931.8.11	8,607	〃 〃 宮園町5-4

〔鬼怒川線〕

大谷向	1931.3.1	141	栃木県日光市今市1406
大谷桑	1917.1.2	134	〃 〃 大桑町131
新高徳	1917.11.1	209	〃 〃 高徳465
小佐越	1930.7.6	151	〃 〃 鬼怒川温泉大原29
東武ワールドスクウェア	2017.7.22	384	〃 〃 〃 334-10
鬼怒川温泉	1919.3.17	2,402	〃 〃 〃 1390
鬼怒川公園	1962.12.10	202	〃 〃 藤原19
新藤原	1920.1.1	514	〃 〃 〃 399-28

〔佐野線〕

渡瀬	1927.12.16	304	群馬県館林市足次町65
田島	1914.8.2	107	栃木県佐野市田島町184
佐野市	〃	568	〃 〃 上台町2164
佐野	1894.3.20	3,127	〃 〃 若松町外堀539
堀米	〃	397	〃 〃 堀米町1274
吉水	1915.7.1	640	〃 〃 新吉水町60-1
田沼	1894.3.20	832	〃 〃 栃本町1766
多田	〃	133	〃 〃 多田町1272-2
葛生	〃	642	〃 〃 葛生東1-1-5

〔小泉線〕

駅名	開設年月日	乗降人員(人)	所在地
成島	1926.4.10	666	群馬県館林市成島町字小蓋725-2
本中野	1917.3.12	871	〃 〃 邑楽郡邑楽町大字中野4858-5
篠塚	〃	212	〃 〃 〃 大字篠塚3995-3
東小泉	1941.12.1	1,212	〃 〃 〃 大字東小泉1-18-1
小泉町	1917.3.12	346	〃 〃 〃 城之内2-4-1
西小泉	1941.12.1	1,201	〃 〃 〃 西小泉4-31-10
竜舞	1942.5.10	559	〃 〃 太田市龍舞町1838

〔桐生線〕

三枚橋	1913.3.19	638	群馬県太田市鳥山下町642-1
治良門	〃	567	〃 〃 成塚町1024
藪塚	〃	1,016	〃 〃 藪塚町字八石379-2
阿左美	1937.5.5	460	〃 〃 みどり市笠懸町阿左美1032-2
新桐生	1913.3.19	1,770	〃 〃 桐生市広沢町2-2990-4
相老	〃	729	〃 〃 相生町2-756
赤城	1932.3.18	951	〃 〃 みどり市大間々町大間々2445-3

〔野田線〕 路線愛称名「東武アーバンパークライン」

大宮	1929.11.17	124,558	埼玉県さいたま市大宮区錦町630
北大宮	1930.4.12	6,095	〃 〃 〃 土手町3-285
大宮公園	1929.11.17	8,457	〃 〃 〃 寿能町1-172-1
大和田	〃	18,572	〃 〃 〃 見沼区大和田町2-1774
七里	〃	17,728	〃 〃 〃 大字風渡野603
岩槻	〃	34,228	〃 〃 〃 岩槻区本町1-1-1
東岩槻	1969.12.1	19,197	〃 〃 〃 東岩槻1-12-1
豊春	1929.11.17	11,536	〃 〃 春日部市上蛭田136-1
八木崎	〃	10,092	〃 〃 粕壁6946
藤の牛島	1930.10.1	6,789	〃 〃 牛島1576
南桜井	1930.12.9	13,233	〃 〃 米島1185
川間	1930.10.1	15,646	千葉県野田市尾崎832
七光台	1968.7.1	6,852	〃 〃 〃 光葉町1-52-1
清水公園	1929.9.1	4,714	〃 〃 〃 清水公園東1-32-2
愛宕	〃	9,921	〃 〃 〃 中野台1217
野田市	1911.5.9	8,708	〃 〃 〃 野田128
梅郷	〃	15,138	〃 〃 〃 山崎1892
蓮河	〃	20,859	〃 〃 〃 流山市東深井405
江戸川台	1958.2.16	22,688	〃 〃 〃 江戸川台東1-3
初石	1911.5.9	18,431	〃 〃 〃 西初石3-100
流山おおたかの森	2005.8.24	62,862	〃 〃 〃 おおたかの森東1-1-1
豊四季	1911.5.9	14,965	〃 〃 〃 柏市豊四季159
柏	〃	141,087	〃 〃 〃 未広町1-1
新柏	1983.7.21	20,030	〃 〃 〃 新柏1-1510

駅名	開設年月日	乗降人員(人)	所在地
増尾	1923.12.27	12,315	千葉県柏市増尾1-1-1
逆井	1933.7.29	12,858	// // 逆井848
高柳	1923.12.27	15,340	// // 高柳1489
六実	//	12,457	// 松戸市六実4-6-1
新鎌ヶ谷	1999.11.25	43,717	// 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-10-1
鎌ヶ谷	1923.12.27	21,065	// // 道野辺中央2-1-10
馬込	//	25,208	// 船橋市藤原7-2-1
塚田	//	17,397	// // 前貝塚町564
新船橋	1956.9.15	13,355	// // 山手1-3-1
船橋	1923.12.27	112,702	// // 本町7-1-1

〔東上本線〕

池袋	1914.5.1	408,382	東京都豊島区西池袋1-1-21
北池袋	1934.5.1	9,819	// // 池袋本町1-36-6
下板橋	1914.5.1	15,274	// // // 4-43-11
大井町	1931.8.25	46,657	// 板橋区大山町4-1
中板橋	1933.7.12	26,869	// // 弥生町33-1
ときわ台	1935.10.20	41,939	// // 常盤台1-43-1
上板橋	1914.6.17	48,520	// // 上板橋2-36-7
東武練馬	1931.12.29	54,406	// // 徳丸2-2-14
下赤塚	1930.12.29	14,664	// // 赤塚新町1-23-1
成増	1914.5.1	51,425	// // 成増2-13-1
和光市	1934.2.1	162,203	埼玉県和光市本町4-6
朝霞	1914.5.1	65,029	// 朝霞市本町2-13-52
朝霞台	1974.8.6	148,983	// // 東弁財1-4-17
志木	1914.5.1	93,798	// 新座市東北2-38-1
柳瀬川	1979.11.8	17,954	// 志木市館2-5-1
みずほ台	1977.10.21	37,856	// 富士見市東みずほ台2-29-1
鶴瀬	1914.5.1	46,316	// // 鶴瀬東1-11-1
ふじみ野	1993.11.15	61,092	// // ふじみ野東1-26-1
上福岡	1914.5.1	50,324	// 上福岡市上福岡1-1-1
新河岸	1914.6.17	24,558	// 川越市大字砂914-5
川越	1915.4.1	114,751	// // 脇田町24-9
川越市	1914.5.1	43,185	// // 六軒町1-4-4
霞ヶ関	1916.10.27	25,039	// // 霞ヶ関東1-1-4
鶴ヶ島	1932.4.10	29,734	// 鶴ヶ島市大字上広谷18-5
若葉	1979.4.2	33,986	// 坂戸市関間4-13-1
坂戸	1916.10.27	27,326	// // 日の出町1-1
北坂戸	1973.8.21	18,107	// // 末広町1
高坂	1923.10.1	22,530	// 東松山市大字高坂1333-2
東松山	//	26,017	// // 箭弓町1-12-11
森林公園	1971.3.1	12,121	// 比企郡滑川町大字羽尾3977-1
つきのわ	2002.3.26	5,101	// // // 月の輪1-1-1

駅名	開設年月日	乗降人員(人)	所在地
武蔵嵐山	1923.11.5	6,405	埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷135-6
小川町	1923.11.5	7,875	// // 小川町大字大塚1145
東武竹沢	1932.7.23	742	// // // 大字靱負680-4
みなみ寄居 (ホンダ寄居前)	2020.10.31	1,675	// 大里郡寄居町大字富田字橋ノ入南谷997-14
男衾	1925.7.10	1,430	// // // // 1792-1
鉢形	//	792	// // // 大字鉢形16-1
玉淀	1934.4.1	507	// // // 大字寄居824-1
寄居	1925.7.10	3,397	// // // // 1211-1

〔越生線〕

一本松	1934.12.16	4,246	埼玉県鶴ヶ島市大字中新田80-3
西大塚	1936.2.28	3,789	// 坂戸市大字森戸623-7
川角	1934.12.16	12,196	// 入間郡毛呂山町大字下川原289-2
武州長瀬	//	3,734	// // // 若山1-62-1
東毛呂	//	4,910	// // // 岩井東2-1-1
武州唐沢	//	2,723	// // 越生町大字上野51-6
越生	//	3,112	// // // 大字越生386

当社では、沿線価値を向上させ多様化するお客様のニーズに柔軟かつ迅速に対応するとともに、暮らしに密着した良質なサービスを創造し、暮らしやすく訪れたい街づくりを目指しています。日常生活と密接に関連したサービスを創出していくために、全社一体となって事業の創造・推進を図っています。

1 賃貸事業

百貨店・ストア・駅ビル等の商業施設、オフィス、マンション、ホテル・スポーツクラブ等のレジャー施設、倉庫等の業務施設など、多様な用途の建物を建設、保有、賃貸、運営して沿線を中心とした地域の皆様の暮らしの豊かさを提案するとともに、東武グループの事業展開をアセット面から支えています。

2 分譲事業

当社沿線における定住人口増加を目的に草加市松原、柏市新柏などで分譲マンションの建設・販売を行っています。また、沿線及び沿線外に所有する多くの当社用地の活用を図り、野田市清水公園、久喜市南栗橋等で分譲戸建・土地の販売を行っています。

3 まちづくり事業

地域とともに地域の魅力を発見し、その魅力を活かしたまちづくりの推進や情報発信に加え、社会的ニーズに適応した事業の推進を通じ、お客様に質の高い生活を提供し、地域社会の持続的な発展による個性あふれる沿線づくりを行っています。

その他、駅前の再開発計画など、当社沿線の各地でコミュニティの豊かさが息づく街づくりに、地域の皆様とともに取り組んでいます。



東京ミズマチ®



ソライエ清水公園アーバンパークタウン ソライエひろば

2006年3月、墨田・台東エリア（業平橋・押上地区）の当社用地が新タワーの建設地として正式に決定して以降、当社では、同地区（約3.69ha）において、東武沿線の価値向上や東・東京エリアの活性化に大きく寄与する東京スカイツリー®を中心とした大規模複合開発プロジェクト（Rising East Project）を推進し、2012年5月22日、東京スカイツリータウンをグランドオープンしました。

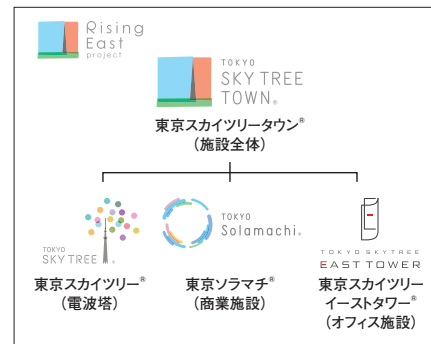
開業12周年を迎え、引き続き積極的な出店者の入替えや魅力溢れるイベントを実施し、ご来場いただいたお客様が楽しさや喜び、感動を体験できる施設となるよう取り組んでいます。



2023年3月には東京ソラマチ5階を、開業以来初めての全面フロアリニューアルを行い、「みんなの遊び場 ソラフルパーク」とし、ファミリー層を中心に広く様々な世代のお客様が楽しめる、新たな遊びを提供する場へと生まれ変わりました。
※「みんなの遊び場 ソラフルパーク」…ソラフルの「ソラ」は「空（Sky）」と東京ソラマチの「ソラ」から、「フル」は「カラフル（Colorful：色とりどりの、多彩な）」になぞらえ、「色」んな世代が「色」んな遊びを体験できるという意味から「ソラフルパーク」と名付けました。

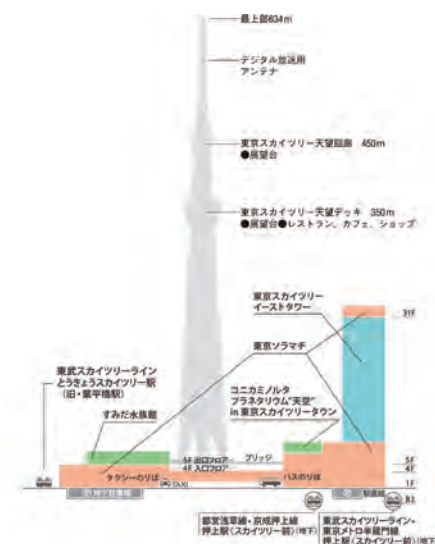
● 東京スカイツリータウンの構成

とうきょうスカイツリー駅（旧・業平橋駅）と押上〈スカイツリー前〉駅をつなぐ東西長さ約400m、広さ約3.69haの「東京スカイツリータウン」は、東京スカイツリーを中心にエンターテイメントや文化機能を持つ商業施設「東京ソラマチ®」とオフィス施設である「東京スカイツリーイーストタワー®」などにより構成されています。これらの施設は防災機能などを備えることで、周辺エリアと連携した賑わいのある街づくりや、地域の活性化を目指しています。また、環境経営への取り組みとして緑化や雨水利用、地域冷暖房を導入しており、国土交通省の省CO₂モデル事業にも採択されています。



[タワーの高さ] 634m
[施設の内容]
展望施設
東京スカイツリー天望デッキ
(レストラン、カフェ、ショップ)
東京スカイツリー天望回廊
放送施設等

〈東京スカイツリータウン ゾーニング図〉



東京スカイツリータウン®事業

◎ 東京スカイツリー® (電波塔)

東京スカイツリーは電波塔として、人々の生活を支える社会インフラ機能を果たし続けるとともに、観光面では国内外からのご期待にしっかりと応えできるよう「安全・安心」を第一に考えた盤石な運営体制でお客様をお迎えし、「世界一愛されるタワー」を目指しています。

● 東京スカイツリーライティング

江戸で育まれてきた心意気の「粋 (いき)」と美意識の「雅 (みやび)」、古来より縁起の良い色とされてきた橘色 (橙) を基調とした「幟 (のぼり)」が1日毎に点灯します。「粋」「雅」「幟」の他にも、イベントや記念日、クリスマス等に特別ライティングを実施しています。

2020年2月にはライティング増強工事が完了し、さらなる輝きと躍動感あふれる演出が加わりました。

◎ 東京ソラマチ® (商業施設)

「東京ソラマチ」は、「人と人とのつながり」を大切にしながら、ものづくりの伝統、優しさ、賑わいなど「下町の魅力」がちりばめられた商業施設です。ファッション、スイーツ、レストランなどバラエティ豊かな300以上の店舗で構成されており、沿線や地域のお客様はもとより都内近郊にお住まいの方から日本全国、海外からお越しの観光の方まで、幅広い方々に楽しんでいただける施設となっています。今後も新しいライフスタイルや下町ならではの魅力を発信し続けます。

東京ソラマチ概要
(イーストヤード) 地下3階~10階、30・31階
(ウエストヤード) 1階~5階
(タワーヤード) 1階~3階
施設規模
(SC面積) 約52,000㎡
主要業種 物販店舗、飲食店舗、サービス店舗等

● 最高高さ 634 m

東京スカイツリーの高さは、プロジェクト当初は「約610m」としていましたが、世界各地で高層建造物が計画、建設されている中で、自立式電波塔として高さ世界一を目指し検討を重ね、634mに最終決定しました。

634mという高さの数字を決定するにあたり、世界一のタワー、地域のシンボルであるタワーとして覚えやすく、ふさわしいものが良いと考え、東京スカイツリーの立つ地域が旧国名で武蔵国 (東京・埼玉・神奈川の一部を含む広大な地域を指す) と呼ばれていたことから、634 (ムサシ) mとなりました。

高さ634mの東京スカイツリーは2011年11月17日に、ギネスワールドレコーズ社より世界一高いタワーとして認定されました。



公式キャラクター
ソラカラちゃん
© TOKYO-SKYTREE

(東京ソラマチゾーニング図)



◎ 東京スカイツリーイーストタワー® (オフィス施設)

東京スカイツリーイーストタワーには、総貸室面積約7,700坪のオフィス空間を用意しました。基準階フロアは約450坪を確保した無柱空間が広がります。貸室は約17mから約12mの奥行を持ち、柔軟なオフィスレイアウトを可能としました。

押上駅コンコースに直結するエレベーターホールには、地上12階のスカイロビーへ向かうシャトルエレベーターを4基設置し、2021年からは、12階オフィス会議室を一般の法人にも貸し出しを始め、会議や研修、検定など幅広くご利用いただけるようになりました。

東京スカイツリーイーストタワー概要
(イーストヤード) 12階~29階
施設規模 約25,500㎡ (約7,700坪)
主要用途 オフィス



東京スカイツリーイーストタワー
© TOKYO-SKYTREETOWN

● 東京スカイツリータウン エコの取り組み

1. 地域冷暖房システム

東京スカイツリータウンでは、タウン全体の冷暖房を集中して行う最新の地域冷暖房システムを導入しています。夜間に作った冷水・温水を昼間利用することにより、昼間のピーク時の電気使用を抑制します。さらに日本の地域冷暖房システムで初めて地中熱を利用しており、効率よく冷水・温水を製造しています。これらにより、国内最高レベルの省エネ・省CO₂効果を発揮しています。以上の取り組みが評価され、2017年3月2日に東京都環境確保条例において、「優良特定地球温暖化対策事業所 (トップレベル事業所)」として認定されました。

2. 太陽光・雨水利用

東京スカイツリータウンには合計222枚の太陽光パネルが設置されており、この太陽光パネルにより20kWの発電がされます。また貯まった雨水を植栽への散水に利用しています。



メインプラント



トップレベル事業所認定証

当社では、関東初の本格的な駅ビルとして1931年に誕生した浅草駅ビルをはじめ、百貨店・スーパーマーケット・駅ビル等の商業施設、オフィス、マンション、ホテル・スポーツクラブ等のレジャー施設、倉庫等の業務施設など、多様な用途の建物を建設し、賃貸事業を展開しています。

近年では、市場の環境変化、テナントニーズの変化に対応するため、保有資産の活用や新規用地取得による建物建設、稼働率の低下した既存物件の建替え、大規模修繕等を通じて、賃貸事業の維持、強化を図っています。

引き続き、賃貸事業を通じてお客様の利便性を高め、環境にも配慮した安心・安全で付加価値の高いサービスを提供することにより、暮らしやすい街づくりを実現していきます。

■ 建物賃貸事業

主要賃貸物件

物件名	延床面積(m ²)	主な用途	所在地
東京曳舟病院	9,683	病院	東京都墨田区
東武アネックスビル	9,193	店舗・事務所	東京都豊島区
東武豊洲ビル B 棟	5,078	電気通信機器施設	東京都江東区
東武銀座第1ビル	4,053	店舗・事務所	東京都中央区
竹ノ塚東口駅前ビル	4,039	アミューズメント施設	東京都足立区
蓮田駅前ビル	12,968	スーパーマーケット	埼玉県蓮田市
北越谷東口ビル	4,853	フィットネスクラブ・店舗	埼玉県越谷市
宮代倉庫	7,884	倉庫・事務所	埼玉県南埼玉郡宮代町
宮代建物	3,443	セレモニーホール	埼玉県南埼玉郡宮代町
柏駅ビル	47,619	百貨店	千葉県柏市
宇都宮東武ビル	54,736	百貨店	栃木県宇都宮市
西参道茶屋	157	店舗	栃木県日光市
東武横浜第3ビル	10,651	店舗・事務所	神奈川県横浜市
厚木配送センター A 棟	4,959	倉庫・事務所	神奈川県厚木市
東武仙台第1ビル	7,617	店舗・事務所	宮城県仙台市
仙台ロジスティクスセンター	17,408	倉庫	宮城県仙台市



東武豊洲ビル B 棟



東京曳舟病院

賃貸事業の中でも駅ビジネスでは、圧倒的な集客力を持つ「駅」を最大の経営資源と位置付け、これまでの移動手段としての側面を保ちつつ、日常生活サービスの提供場所として、駅及び駅周辺の立地を有効活用し、収益の拡大を図るとともに、沿線価値を向上させ、魅力ある空間づくりを目指しています。主として、当社直営のショッピングセンターを運営する駅ビル事業、駅舎内を中心とした駅ナカ店舗事業、駅構内のさまざまなスペースを活用して商品を販売する構内営業事業等に分類されます。

■ 駅ビル事業

当社直営の地域密着型ショッピングセンターとして、沿線の主要駅において「エキミセ」、「ヴァリエ」などの名称で展開しており、地域の情報発信基地としてお客様に親しまれています。2023年度には草加駅直結の商業施設「草加ヴァリエ」のうち食品の専門店が集積する「VARIE 1」を、2024年4月には新越谷駅直結の商業施設「新越谷ヴァリエ」のうちファッション店舗が中心の2階、3階の一部エリアをリニューアルオープンしました。今後、駅ビル事業においては、ファッション・日用雑貨から菓子・惣菜・生鮮食品にいたるまで、バラエティに富んだショップを展開、さらに沿線初出店や新業態のショップを誘致し、トレンドやお客様のニーズに応じてまいります。

主要直営ショッピングセンター



●新越谷ヴァリエ



●草加ヴァリエ



●エキア プレミア 和光



●トープイコート

■ 駅ナカ店舗事業

多くの人が行き交う「駅」を魅力的で便利な場所にするため、お客様のニーズに対応した店舗の新設及び既存店舗を活用したショップの入れ替えを行っています。

特に新設店舗については、単に駅の遊休スペースに建設するのではなく、駅設備や店舗の配置換え及び駅の構造見直しを図ることにより、まちに開かれた駅空間を目指し、効果的に駅空間を活用できるよう計画しています。

また、ショップの選定にあたっては、駅それぞれのエリア特性、ニーズやトレンドに合った店舗の導入を基本とし、沿線初出店となるショップを積極的に誘致するなど、賑わいと目新しさのある駅空間の創出に努めています。

現在、計17駅の駅ナカ施設を「EQUIA（エキア）」ブランドとして展開しています。今後も「モットタノシエキへ」をキャッチフレーズに積極的にブランド化を推進していきます。



エキア 越谷



エキア 竹ノ塚 (2024年5月23日開業)

■ 構内営業事業

自動販売機、銀行ATM、証明写真機、催事営業など、駅構内のスペースを効率的に活用するのが構内営業事業です。特に催事営業は、専用のブースや什器を使用し、出店の要件を簡素化させ、1週間から2週間といった短期間で営業を行うため、収益性の高い事業であるとともに、クリスマスやバレンタインデーなど時節に合わせたショップを誘致することができるため、ご利用のお客様からもご好評いただいています。また、新たにネットショッピングの普及に対応する宅配ロッカーや、テレワークニーズに対応するスマートワークブース等の設置も行っています。

■ 電子マネー事業

2007年3月18日より、「PASMO電子マネー決済サービス」を開始し、お客様へのサービスと利便性の向上を図っています。

2013年3月23日からは、PASMO他交通系ICカードの全国相互利用サービスが開始となり、これにより全国の各交通系ICカード加盟店で、電子マネーによるショッピングが可能となりました。

また、「東京スカイツリータウン®」「ヴァリエ」「エキア」等の商業施設や飲料自販機等の他に、コインロッカーにもご利用いただけます。今後も、サービス対象箇所の拡大を進めていきます。

当社の広告事業は、電車広告や駅広告、バス広告といった交通事業に関係するメディアと、大型ビジョンやフラッグ広告など東京スカイツリータウン®内のメディアを取り扱っています。交通広告は、沿線地域に密着したその媒体特性から、多くのスポンサーやお客様から注目を集めています。また、2018年12月、当社最大のターミナルである池袋駅にイベントスペース「マルスクエア」がオープンしました。都内駅構内最大級の規模を誇り、多様なイベントが実施できます。

スカイアーリーナビジョン
(東京スカイツリータウン)ホーム上駅名看板
(成増駅)

● 電車広告

電車の広告には、中張りポスター、まど上ポスター、ステッカー類などがあります。このほかにも同一スポンサーで電車1編成すべてに掲出する「広告貸切電車」は、注目度の高い媒体です。

また、2020年には東京メトロ日比谷線直通車両（70000系）、東京メトロ副都心線・有楽町線直通車両（50070型）において「東武トレインビジョン」を全編成に導入しました。視認度の高い電車内において動画配信が可能になる等、更に効果的な広告訴求を実現、クライアントニーズに応えています。

● 駅広告

駅の広告には、駅貼りポスターやポケットボード、看板等があります。池袋駅や柏駅等、多くの乗降人員を誇る主要駅では大型ポスターボードなどを展開、また駅名標板に沿線の施設名称等を入れた「副駅名称」を媒体として導入しており、地域の方にも親しまれています。

公益社団法人東京屋外広告協会が主催する「東京屋外広告コンクール」において、モスバーガー50周年コラボ企画で実施した「なりもす駅」が東京都知事賞を受賞しました。

● バス広告

当社では、東武グループバス各社より委託を受け、地域に密着した広告塔として、また暮らしのニーズに対応できる媒体として、ラッピングバスや車内ポスター、窓ステッカー等のバス広告を取り扱っています。

● 東京スカイツリータウン広告

2020年3月に大型化・高性能化工事を行ったデジタルサイネージ、フラッグ、壁面シート等の広告媒体や、「スカイアーリーナ」をはじめとする多彩なイベントスペースを組み合わせるメディアミックスにより、多くの来場者に効果的なアプローチを実現しています。

● 特殊広告

スポンサーの希望する場所や時期に合わせて設置する特殊広告には、大型ステッカーを壁や床に貼付する「クロス広告」「フロア広告」、駅の柱巻き広告「アドピラー」、天井から吊り下げる「フラッグ広告」等があります。さらに動画の放映が可能なデジタルサイネージの設置を推進しており、多面デジタルサイネージ「東武サイネージピラー」を当社の2大ターミナルである池袋駅・北千住駅に、また屋外大型ビジョン「浅草東武ビジョン」を浅草駅ビル壁面に設置し、広告媒体としての利用に加え、浅草・東京スカイツリータウンを始めとした当社沿線の情報を発信するなど、幅広く活用しています。通行されるお客様への認知度も高く広告訴求の高い媒体です。

当社では、沿線価値向上、住みやすい沿線づくりを目指し、お客様の価値観やライフステージの変化に合わせ、各世代のニーズに応えた「住みごこちのよい住まい」や「子育て施設の誘致」など、沿線のお客様の暮らしを支え生活の利便性を高める住環境の整備を進めています。

■ 暮らしのブランド「Solaie (ソライエ)」 <https://www.solaie.jp/>

新規で展開していく分譲住宅の情報を有機的にお客様へ発信し、沿線に住む誇りと、事業を通じた企業・沿線イメージの向上を図ることを目的に「空のように、ここちいい未来。」をイメージコンセプトとして、2012年、分譲住宅の共通ブランド「Solaie (ソライエ)」を立ち上げました。

また、2018年より、新たに賃貸マンションブランド「Solaie l'll (ソライエアイル)」を立ち上げるなど、「Solaie」は、暮らしに関わるトータルブランドとして成長しています。

これまでの「Solaie」ブランドの分譲住宅は、現在分譲中の物件を含めて19物件、「Solaie l'll」ブランドの賃貸住宅は7物件です。



■ 分譲マンション事業

分譲マンション事業では、沿線と都市近郊を中心に上質で独自性のある商品と品質の確保を図った分譲マンションの建設・販売を行っています。

● ソライエテラス

埼玉県草加市 敷地面積30,361.90㎡ (9,184.47坪)
イースト 379戸 2023.3入居開始
ウエスト 417戸 2025.10入居開始予定

東武スカイツリーライン「獨協大学前<草加松原>」駅徒歩11分(イースト)～12分(ウエスト)。「北千住」駅14分、「秋葉原」駅29分、「大手町」駅38分と、都心への軽快なアクセスを叶えます。

本計画は、約540,000㎡もの開発エリアの中心「環境調和型住宅ゾーン」に位置しており、豊かな自然と発展した都市の利便性が享受できる住まいです。



ソライエテラス

● ソライエ新柏プレミスト

千葉県柏市 敷地面積3,763.87㎡ (1,138.57坪) 114戸 2025.3入居開始予定

東武アーバンパークライン「新柏」駅徒歩1分。駅前の開放的なロケターに面しており、東武ストア新柏店やエキア新柏など生活利便施設が「徒歩1分」に揃っている新築レジデンスです。

また、ターミナル駅の「柏」駅まで1駅4分となっており、大型商業施設をはじめ充実した都会的なライフスタイルも享受できる立地にあります。



ソライエ新柏プレミスト

■ 建売住宅分譲事業

建売住宅分譲事業では、お客様のニーズにマッチした商品企画や魅力ある街並み形成により、街づくりの促進と沿線価値の向上を図るとともに、いつまでもお客様が輝き続けられる上質な住まいを提供しています。

● ソライエ清水公園アーバンパークタウン

東武アーバンパークライン「清水公園」駅東口周辺で開発している「ソライエ清水公園アーバンパークタウン」は、「自然を感じる暮らし」「自分らしい暮らし」「コミュニティでつながる暮らし」という3つをコンセプトとし、東京から約30km圏内と通勤圏にありながら、自然環境を活かした、東武アーバンパークライン沿線における当社最大規模の分譲開発プロジェクトです。

2014年度の街びらきからこれまで約200戸の良質な住まいをお客様に提供しています。駅前の「ソライエひろば」を中心に豊かなコミュニティが育まれています。



ソライエ清水公園アーバンパークタウン

● BRIDGE LIFE Platform 南栗橋

東武日光線「南栗橋」駅周辺では、都心と自然の両方の魅力を楽しむ立地を活かし、産官学連携のまちづくりを推進し、新しい生活様式に対応したサステナブルシティの実現を目指します。当社は、全172戸の分譲戸建事業（BLP南栗橋スマートヴィラ）に参画するとともに、エリア全体の街づくりを推進しています。



BRIDGE LIFE Platform 南栗橋

■ 賃貸マンション事業

当社沿線により多くの方々にお住まいいただくため賃貸マンションに加え、企業向け单身寮や社宅、学生寮を提供しています。今後も多くの方々に沿線にお住まいいただけるよう、多世代に向けた賃貸住宅を開発してまいります。

● 主な新規開発物件

施設名	戸数・店舗数	所在地	入居開始
ソライエアイル下赤塚	36戸・3店舗	東京都板橋区	2018年3月
ソライエアイル練馬北町	62戸・4店舗	東京都練馬区	2020年3月
ソライエアイル草加	97戸・1店舗	埼玉県草加市	2021年3月
ソライエアイル新河岸	41戸・5店舗	埼玉県川越市	2021年3月
ソライエアイル岩槻	42戸・4店舗	埼玉県さいたま市	2021年7月
ソライエアイル越谷蒲生	112戸・4店舗	埼玉県越谷市	2022年7月
ソライエアイル草加氷川町	44戸・4店舗	埼玉県草加市	2024年4月

ソライエアイル越谷蒲生は、昨今の働き方改革やIoT環境の進展によって高まっている在宅ワークのニーズに対応するため、共用スペースおよび一部居室内にワークスペースを設置し、「暮らす」と「働く」が融合する空間により新たな生活スタイルを提供しています。



ソライエアイル越谷蒲生

沿線にお住まいの方々が必要とする生活支援サービスを提供し、沿線の魅力を高めるとともに地域の活性化に寄与する事業展開を進めています。

● 子育て支援事業

「住みやすい東武沿線」を目指し、働く子育て世代を支援するため沿線の当社保有地に保育施設・学童保育室の誘致を進めており、駅チカ保育施設は合計18施設、学童保育室は合計3施設となりました。

引き続き、沿線自治体や関係者と協議のうえ施設誘致を進めるとともに、保育施設の行事への参加など様々な形で沿線住民の皆様の子育てを支援してまいります。

● 住み替え支援事業

2015年6月から、当社が一般社団法人 移住・住みかえ支援機構（JTI）の実施する「マイホーム借上げ制度」に参画し、シニア世帯（50歳以上の方）が所有する住宅を最長で終身にわたって借り上げ、子育てファミリー層などにリーズナブルな家賃で貸し出す「住み替え支援事業」を行っています。高齢化による住宅地での空き家が社会問題化している昨今、本事業を通じ地域・世代ごとのニーズに合わせた暮らしや住み替えにかかわる提案を積極的に実施することで、東武沿線への人口流入の促進を図ってまいります。

また、2016年11月には埼玉県と相互連携に関する協定を締結し、県と連携した広報活動の実施や、「東武鉄道×埼玉県もっとなプロジェクト」を立ち上げ、物件のオーナーや移住希望者へ向けたイベント・セミナーやバスツアーを実施しプロジェクトの認知向上、沿線への住み替え促進に取り組んでいます。今後も行政と連携し、沿線地域の活性化を図ってまいります。

● サテライトオフィス事業

当社では、沿線にて職住近接の環境を整えることで、より暮らしやすい街づくりを目指して、郊外型サテライトオフィス「Solaie + Work（ソライエプラスワーク）」を展開しています。店舗型オフィス6施設（草加松原・ふじみ野・鎌ヶ谷・朝霞台・坂戸・銀座）のほか、駅BOX型サテライトオフィス「EKI DESK（エキデスク）」を北千住駅など13駅に設置しています。2022年9月より、それまで法人企業向けとしていた利用対象を個人に拡大するとともにTOBU POINTサービスとの連携を図りました。

今後も時間と場所にこだわらない働き方をサポートすることで、沿線のお客様の生活利便性を高め沿線価値向上を図ってまいります。



江戸川台保育施設でのイベント



もっとなプロジェクトポスター



EKI DESK

地域と連携し、地域特性を活かしたまちづくりを推進しています。

■ 獨協大学前〈草加松原〉駅周辺エリア

獨協大学をはじめとした教育・文化施設のほか生活利便機能が集積する獨協大学前〈草加松原〉駅周辺エリアにおいて、東武グループでは住宅開発や駅ナカ商業施設の充実に加え、駅チカ保育園の誘致、サテライトオフィスの開設等の生活支援事業等、良質な住環境を目指し事業を進めております。

2023年3月には、商業施設「TOBU icourt / トーブイコート」を開業、同月には、本エリアで4物件目となる分譲マンション「ソライエテラス イースト」の完成、2024年度にはまちづくりに携わる産官学との協定締結と戸建街区「ウェルバインドシティ獨協大学前」の分譲を開始したほか、新しくお住まいになる方・学生・地域の方々をつなぐコミュニティ活動を協働して実施するなど、商業、住宅開発と地域コミュニティ形成を一体的に推進してまいります。



コミュニティイベントの様子

■ 浅草・東京スカイツリータウン®エリア

2大観光拠点である浅草・東京スカイツリータウンエリアの一体化に取り組んでいます。2020年6月には、官民連携により、水辺・鉄道高架下・道路・公園が隣接する立地を生かした一体的空間づくりを実現しました。当社は、鉄道高架下複合商業施設「東京ミズマチ®」を開業するとともに、隅田川橋梁に歩道橋「すみだリバーウォーク®」を設置しました。

これらの取り組みは、全国で進められている「かわまちづくり」の中から他の模範となる官民連携の先進的な取り組みとして、国土交通省が主催する令和2年度「かわまち大賞」を受賞しました。引き続き、エリアの持続的な賑わいづくりを墨田区と連携し推進してまいります。



東京ミズマチ®
墨田区と協働した水辺活用（水上自転車）

■ 池袋駅西口地区

池袋駅西口地区では、駅とまちが一体となったまちづくりと新たな沿線価値の創出に向け、池袋駅西口地区市街地再開発準備組合による事業地区（約4.6ha）と、鉄道敷地部分を含む当社単独事業地区（約1.5ha）の2つの事業（合計約6.1ha）を一体的に推進しており、2023年度に都市計画提案いたしました。

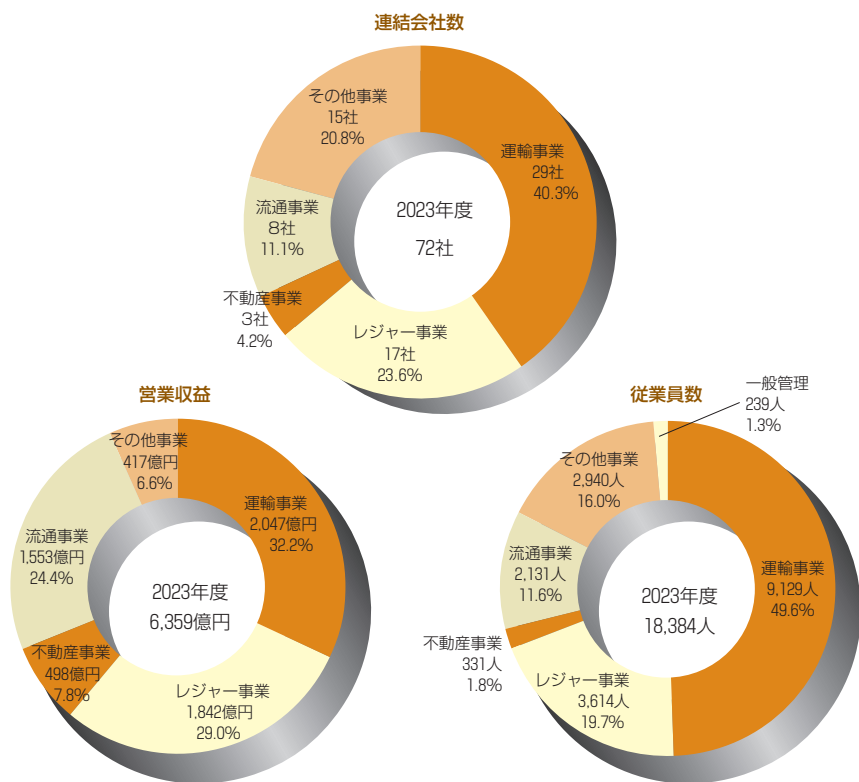
引き続き準備組合や行政機関と連携し、池袋エリアの国際競争力強化を目指すとともに、東武グループの重要拠点の一つとして、沿線のシンボルとなる施設の建設・魅力ある用途の導入により、収益力の強化を図ってまいります。



駅まち結節空間

東武グループは2024年3月現在、東武鉄道及び連結子会社68社、持分法適用会社3社を連結の範囲とし、運輸事業、レジャー事業、不動産事業、流通事業、その他事業の5つのセグメントから構成されています。

2023年度の東武グループの営業収益は6,359億円、2023年度末の従業員数は18,384人となっています。



※記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

■ 運輸事業

運輸事業では、東武鉄道のほか東武バス、朝日自動車、東武運輸、東武デリバリー等で構成され、鉄道、バス、タクシー、貨物輸送、アーカイブ事業等を営んでいます。

バス・タクシー業のうち、バスについては、輸送の安全を第一に東武バスおよび朝日自動車の2社による統括のもと、路線バス、高速バス、地域コミュニティバスのほか、観光や企業・学校等の需要にあわせた貸切バスを運行し、輸送サービスを提供しております。タクシーについては、個々の需要に応じたきめ細かなサービスを提供しております。

貨物運送業では、東武運輸グループによる一体運営にて、貨物の輸送・配送はもとより、保管・物流加工・工場内請負をトータルに手がけ、荷主様の要望にお応え提案できる物流サービスを展開しています。事業所は、関東を中心に静岡、名古屋、大阪をカバーすることで、荷主様の信頼の上に成り立つ物流サービスを展開しております。また、東武デリバリーでは、情報資産の保管管理を行うアーカイブ事業をはじめ、フィットネスマシンなどの専門輸送事業や個人向けクローゼットなどクオリティが求められる物流を担っております。



高速乗合バス「アザレア号」(関越交通)



アルファードタクシー (日光交通)



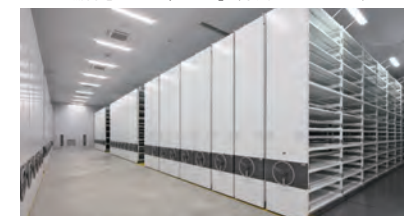
草加市コミュニティバス (東武バスセントラル)



燃料電池バス「SORA」(東武バスウエスト)



埼玉東物流センター支店 (東武運輸)



浦和美園本社のアーカイブセンター (東武デリバリー)

■ レジャー事業

レジャー事業は、東武興業、東武トップツアーズ、東武ホテルマネジメント等で構成され、旅行、ホテル、遊園地・テーマパーク、スキー、ゴルフ、スポーツクラブ、ローブウェイ、遊覧船等の各事業を営んでいます。

● ホテル

ホテル業では、国内外における観光やビジネス等の需要に応えるべく、宿泊や料理などの高品質なサービスを通して、お客様から選ばれるホテルを追求しています。2023年には、東武グループを代表するホテルである「コートヤード・マリオット銀座東武ホテル」及び「日光金谷ホテル」において、リニューアルを実施いたしました。今後も、消費者ニーズを捉えたホテルでの体験価値向上に努めていくほか、周辺における観光資源を活かすなど、地域と連携しながら収益増大およびエリアの活性化に貢献していきます。



コートヤード・マリオット銀座東武ホテル



日光金谷ホテル

東武グループのホテル一覧

名称	経営会社	運営会社	開業日	客室数
コートヤード・マリオット銀座東武ホテル	東武鉄道(株)	(株)東武ホテルマネジメント	1987年10月2日	196
ACホテル・バイ・マリオット東京銀座	東武鉄道(株)	(株)東武ホテルマネジメント	2020年7月9日	296
ザ・リッツ・カールトン日光	東武鉄道(株)	レーキサイドホテルシステムズ(株)	2020年7月15日	94
フェアフィールド・バイ・マリオット札幌	東武鉄道(株)	東武緑地(株)	1994年4月26日	254
東武ホテルレバント東京	東武鉄道(株)	(株)東武ホテルマネジメント	1997年6月8日	383
成田東武ホテルエアポート	東武鉄道(株)	(株)東武ホテルマネジメント	1975年10月3日	484
宇都宮東武ホテルグランデ	東武鉄道(株)	(株)東武ホテルマネジメント	1991年7月23日	148
品川東武ホテル	(株)東武ホテルマネジメント	(株)東武ホテルマネジメント	1971年12月30日	190
渋谷東武ホテル	(株)東武ホテルマネジメント	(株)東武ホテルマネジメント	1975年11月13日	205
浅草東武ホテル	(株)東武ホテルマネジメント	(株)東武ホテルマネジメント	2020年10月8日	253
和光市東武ホテル	(株)東武ホテルマネジメント	(株)東武ホテルマネジメント	2020年6月11日	158
川越東武ホテル	(株)東武ホテルマネジメント	(株)東武ホテルマネジメント	2020年6月29日	168
上尾東武ホテル	東武食品サービス(株)	東武食品サービス(株)	1983年9月23日	84
仙台国際ホテル	仙台国際ホテル(株)	仙台国際ホテル(株)	1989年10月14日	234
日光アストリアホテル	東武興業(株)	東武興業(株)	1987年12月27日	63
蔵王アストリアホテル	蔵王ローブウェイ(株)	蔵王ローブウェイ(株)	1970年12月26日	53
日光金谷ホテル	金谷ホテル(株)	金谷ホテル(株)	1873年6月	63
中禅寺金谷ホテル	金谷ホテル(株)	金谷ホテル(株)	1940年7月	57

● スポーツ施設

東武グループでは、沿線にお住まいの皆様に健康で快適な生活スタイルをご提供するため、駅チカエリアでスポーツ施設を運営しています。

東武スポーツは、1984年8月の創業以来、安全・安心を第一に、「健康と楽しさ」を提供するスポーツクラブを埼玉県と千葉県に展開し、プール・ジムマシン・スタジオ等を完備した大型総合クラブや、ジムマシンに特化した小規模クラブなどを運営し、東武沿線の多くのお客様にご利用いただいています。

また、地域コミュニティの向上を目的に、スイミング会員を対象としたクラブ対抗水泳大会や各種記録会、また、キッズダンスやバレエの合同発表会など、日頃の練習の成果を発揮いただく大会やイベントを多数開催し、沢山のお客様にご参加いただくなど、地域の皆様の実りある暮らしの場を提供しています。

近年では、東武沿線の複数の小学校の水泳指導業務を受託するなど、沿線自治体の教育行政が抱える課題を解決するサービスを提供しています。

今後も、沿線の多様なニーズにお応えするとともに、さらなる沿線活性化を実現するべく、施設・サービス面にプラスαを加えたスポーツクラブ運営を推進してまいります。



プレオンせんげんたい ジムエリア



プレオン船橋 プールエリア

東武グループスポーツ施設一覧

施設名	オープン	経営会社	運営会社	最寄駅名
東武スポーツクラブ プレオン北越谷	2004.11.16	(株)東武スポーツ		東武スカイツリーライン北越谷
東武スポーツクラブ プレオンせんげんたい	2006.5.1			東武スカイツリーラインせんげん台
東武スポーツクラブおおわだ	1987.7.25			東武アーバンパークライン大和田
東武スポーツクラブみなみさくら	1989.3.25			東武アーバンパークライン南桜井
東武スポーツクラブ プレオン船橋	2008.1.16			東武アーバンパークライン新船橋
東武スポーツクラブ プレオンふじみ野	2009.4.1			東上線ふじみ野
TOBU アスレティック@スタジオネオわかば	2013.11.29			東上線若葉
TOBU フィットネスクラブ ネオ春日部いちのわり	2017.7.1			東武スカイツリーライン一ノ割

● 東武ワールドスクウェア

東武ワールドスクウェアは、「世界の遺跡と建築文化を守ろう」をテーマに、1993年4月に開園しました。世界文化遺産に登録されている47物件を含め、合計102点の有名建築物を25分の1スケールで精巧に再現しています。園内は、現代日本、アメリカ、エジプト、ヨーロッパ、アジア、日本の6つのゾーンからなり、細部にまでこだわった建築物のほか、個性ある14万体的人形や、季節ごとに異なった景色を楽しめる庭園も見所となっています。



東武ワールドスクウェア(バルテノン神殿)

● 東武動物公園

東武動物公園は、東武鉄道創立80周年記念事業として、1981年3月に開園しました。約53haの土地に動物園・遊園地・プール・会員制乗馬クラブを有する広大なレジャー施設です。

東武動物公園では今後も、動物園と遊園地が融合したハイブリッド・レジャーランドとして、新たな魅力づくりを推進してまいります。



東武動物公園 水木製コースターレジャーナI(ドワーエ)

● ゴルフ場

東武グループでは、東武興業等がゴルフ場を経営しており、現在、栃木県内に3か所(宮の森CC、星の宮CC、東武藤が丘CC)、群馬県内に2か所(桐生CC、下仁田CC)、埼玉県内に1か所(朝霞PG)、北海道に1か所(ユニ東武GC)あります。

東武グループのゴルフ場

名称	開設	経営会社	運営会社	コース	運営形態
朝霞パブリックゴルフ場	1961.12.1	東武興業(株)	東武興業(株)	18H P72 6,287ヤード	パブリック
桐生カントリークラブ	1975.4.3	東武興業(株)	東武興業(株)	18H P72 6,854ヤード	会員制
下仁田カントリークラブ	1990.10.13	東武興業(株)	東武興業(株)	18H P72 7,018ヤード	会員制
宮の森カントリー倶楽部	1991.9.26	東武興業(株)	東武ゴルフサービス(株)	18H P72 6,963ヤード	パブリック
星の宮カントリー倶楽部	1992.6.25	東武興業(株)	東武ゴルフサービス(株)	18H P72 6,702ヤード	パブリック
東武藤が丘カントリー倶楽部	1997.9.12	東武興業(株)	東武ゴルフサービス(株)	18H P72 7,026ヤード	パブリック
ユニ東武ゴルフクラブ	1993.7.25	東武商事(株)	東武緑地(株)	27H P108 10,195ヤード	パブリック



下仁田カントリークラブ



東武藤が丘カントリー倶楽部

■ 不動産事業

不動産事業は、東武不動産、東武タウンソラマチ等で構成され、不動産仲介、建物・施設管理事業等を営んでいます。

不動産仲介や駐車場・駐輪場の運営管理を行う東武不動産では、東武沿線はもとより首都圏を中心とした良質な不動産情報の提供や不動産・財産の最適活用の企画提案を行っています。

東武タウンソラマチでは、東京スカイツリータウン®の施設管理並びに東京ソラマチ®の商業運営を行い、継続的な収益力強化を図っています。



東京スカイツリータウン駐車場管理業務(東武不動産)



東京ソラマチ(東武タウンソラマチ)

■ 流通事業

流通事業では、東武百貨店、東武宇都宮百貨店、東武ストア、東武商事等で構成されています。

東武百貨店及び東武宇都宮百貨店では、ターミナルの特性を生かし、きめ細かなサービス提供やライフスタイルにお応えした提案と品揃えに努めるとともに、地域沿線顧客に向けた幅広いニーズに対応する売場の実現を図っております。

東武ストアでは、「お客様のより良い暮らしに貢献します」を経営理念に掲げ、「地域で一番買いやすい店づくり」を目指し、「品質・鮮度」、「価格」、「品揃え」、「清潔」、「サービス」の充実した売り場づくりに取り組んでおります。2023年12月には、東武スカイツリーライン越谷駅改札に隣接する商業施設に「東武ストア越谷店」をオープンしました。2024年4月以降同店ほか計3店にて、生体認証を活用し、セルフレジで指をかざすだけで、決済・ポイント付与・酒類購入時の年齢確認が完了するサービスを開始しました。

東武商事では、事業構造改革の一環として、2022年4月にリテール事業及び商社機能を統合するグループ事業の再編を行い、競争力の強化や新事業展開による事業拡大に向けた体制を整



東武百貨店池袋店

東武グループの概要

え、収益性とグループシナジーを生かした運営に努めています。フランチャイズ店舗では、毎日、大変多くの方々にご利用いただいているほか、自己託送電力供給や「S-L大樹」の燃料（石炭）の一部をバイオコークスに置き換える実証実験を開始するなど、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めております。

東武カードビジネスでは、2023年に東武カードの誕生から40年の節目を迎えるにあたり、「スタイリッシュ&パワフル」をテーマに、さらなる利便性の向上を図るべく、さまざまな機能やTOBU POINTと連携した特典を備えた、魅力ある東武カードの開発を進めています。



東武ストア越谷店

■ その他事業

その他事業は、東武建設、東武谷内田建設、東武ビルマネジメント等で構成され、建設、施設設備管理、建材供給、熱供給事業等を営んでいます。

東武建設と東武谷内田建設では、マンション、オフィス等大規模施設の建築から各種土木工事に至るまで、総合建設業として幅広い実績のもとに地域に根差した事業展開をしています。また、東武電設工業では電気設備工事を、東武緑地では公園・ゴルフ場等の植栽・造園・緑化を展開するなど、それぞれ専門スキルを生かした事業に取り組んでいます。

そのほか、東武ビルマネジメントでは、大型ビル、マンション等の設備管理、清掃、防犯・防災警備の運営管理をトータルに担い、東武開発では、砂利・砕石等良質の骨材・生コンクリートの安定供給に努めています。さらに、東京スカイツリー®地区で地域エネルギーを供給する東武エネルギーマネジメントでは、佐野線葛生駅南側土地をはじめとして8か所で太陽光発電事業を行っており、西池袋地区及び錦糸町北口地区においても西池袋熱供給・錦糸町熱供給がそれぞれ熱エネルギーの安定供給を図るなど、グループ各社は連携しながら安心して住み続けられる街づくりに貢献しています。



外構植栽工事（東武緑地）

葛生太陽光発電所
(東武エネルギーマネジメント)東京スカイツリータウン®を一元管理する
防災センター（東武ビルマネジメント）

グループ経営基盤の強化

■ 東武グループ共通ポイント「TOBU POINT」(トブポ)

「TOBU POINT」(トブポ)は東武沿線で便利でおトクにご利用いただける東武グループの共通ポイントサービスです。東武グループ施設をご利用いただく際に、東武カードやスマートフォンにダウンロードしたTOBU POINTアプリを提示することで、1ポイント=1円でポイントを「ためる・使う」ことが可能なほか、アプリに登録したPASMOのご利用でもポイントをためることが可能です。

TOBU POINTアプリでは、東武百貨店、東京ソラマチ®、駅ビルを中心にお得な限定クーポンやキャンペーン情報を配信しているほか、TOBU POINT加盟店での利用金額に応じた会員ランクによる特典もご用意しており、多くのお客様にご利用いただいております。

2021年10月から東武線乗車でたまる「トブポマイル」を開始したほか、2023年3月からは、TOBU POINT会員向けの新サービスとして、鉄道グッズや体験イベントのデジタルチケットなど“ここから買える”をテーマに厳選された商品を販売するショッピングサイトである「TOBU MALL」をオープンし、サービス価値の向上をはかりました。

今後も、デジタル市場での収益をグループ収益の柱の一つとして捉え、同サービスを活用し様々な体験商品を造成、販売していくほか、各種データの連携によるデータ価値の最大化をはかり、お客様により便利で魅力的なサービスを目指してまいります。

(※) 加盟店によりポイント付与・利用条件が異なる場合があります。
詳細はTOBU POINT WEBサイトなどをご確認ください。

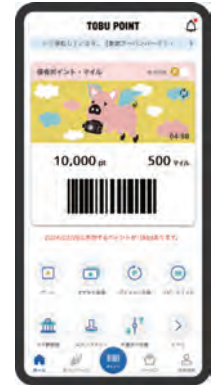
TOBU POINT
トブポ
ポイントサービスロゴ



トブポマイル

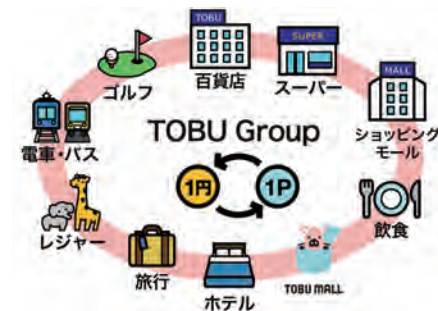


TOBU MALLロゴ



TOBU POINTアプリ画面

東武グループ・沿線施設のご利用でポイント獲得
ポイントを媒介に、お客さまの「東武沿線・東武グループへの接点」を拡大

TOBU POINT公式キャラクター
トボタン

新型コロナウイルス感染症による影響から急速に回復している観光市場において、旺盛な観光需要を最大限に取り込むべく、これまで培ったインバウンドプロモーションのノウハウを活かしたグループ横断的な取り組みを推進しています。また、DXによる観光客の利便性促進を図るとともに、グループ内外の企業や沿線自治体と連携した新規事業創出や持続可能な観光地域づくりにも取り組んでいます。

● 海外事務所やレップを活用した情報発信

アジア営業支社（台北事務所、上海連絡事務所）を開設し現地旅行会社・メディアへの情報発信及び現地観光関連団体等との連携強化を図っているほか、海外の主要都市において情報発信の窓口となるレップ（代理店）を設置しています。現地情報を的確に収集・分析するとともにグループ事業エリアへの誘客に向け、沿線地域やグループ施設に関する観光情報を発信しています。



台北事務所による旅行博出展

● オンラインによる情報発信

英語、中国語、韓国語、タイ語、フランス語によるSNSを開設し、情報発信を行っているほか、外国人インフルエンサーの招聘や海外現地に向けたライブ配信等を通して、沿線の魅力発信に取り組んでいます。



沿線地域と連携した「日光たかとくキャンプステーション」

● DX対応と高付加価値化

インバウンド向け企画乗車券（NIKKO PASS）や特急券のデジタル化を進めているほか、海外大手旅行代理店と連携した販売促進キャンペーンを行うことでインバウンド需要の取り込みを図っています。

また、グループ観光商材の高付加価値化を目指し、ザ・リッツ・カールトン日光をフックにした中禅寺湖貸し切りクルーズなどの商品造成を行うとともに、東京スカイツリー®の貸し切り営業によるイベント需要の取り込みなど、収益性の向上に取り組んでいます。



外部協業促進事業「TOBU Open Innovation Program」

● 持続可能な観光地域づくり

重要観光拠点である「浅草・東京スカイツリータウン」「日光・鬼怒川」「池袋・川越」等のエリアの強化に加え、地域の魅力の掘り起こしやエリアブランディング、観光事業に関する体制整備などを関係事業者と共に実施することで、当社と地域が共に発展できる体制の構築を進めています。

● オープンイノベーションによる新たな観光需要の創出

東武グループの持つ観光アセットや沿線観光資源を最大限活用すべく、スタートアップをはじめとする様々な企業との協業を促進させるプログラム「TOBU Open Innovation Program」を実施することで、新たな観光需要の創出に取り組んでいます。

■ 運輸事業 28社（うち持分法適用会社 1社）

会社名	主な事業内容	住 所	電話番号
東武インターテック(株)	鉄道車両の検査、保守	埼玉県久喜市北広島1323-3	0480-53-1567
東武エンジニアリング(株)	鉄道土木・電気の検査、保守	東京都墨田区押上2-18-12	03-3621-5730
東武ステーションサービス(株)	鉄道業	東京都墨田区押上2-18-12	03-3621-5723
(株)トラベルサービス	定期・回数券販売業務	埼玉県春日部市中央1-44-18	048-733-0151
上毛電気鉄道(株)	鉄道業	群馬県前橋市城東町4-1-1	027-231-3597
上電興産(株)	ゴルフ練習場	群馬県前橋市城東町4-1-1	027-231-3597
朝日自動車(株)	旅客自動車運送業	東京都墨田区向島1-33-12	03-3625-5505
阪東自動車(株)	旅客自動車運送業	千葉県我孫子市東我孫子2-36-22	04-7185-2771
日光交通(株)	旅客自動車運送業、索道事業	栃木県日光市相生町8-1	0288-54-1154
関越交通(株)	旅客自動車運送業	群馬県渋川市中村字中島608-1	0279-22-2020
川越観光自動車(株)	旅客自動車運送業	埼玉県比企郡滑川町大字羽尾3897-3	0493-56-2001
茨城急行自動車(株)	旅客自動車運送業	埼玉県北葛飾郡松伏町大字築比地24-1	048-992-0031
国際十王交通(株)	旅客自動車運送業	埼玉県熊谷市新島263-1	048-521-3560
桐生朝日自動車(株)	旅客自動車運送業	群馬県桐生市相生町2-712	0277-54-2420
朝日カーメンテナンス(株)	自動車整備業	埼玉県さいたま市北区日進町1-107	048-665-2601
東北急行バス(株)	旅客自動車運送業	東京都江東区東雲2-6-6	03-3529-0321
東武バス(株)	運行管理会社	東京都墨田区押上2-18-12	03-3621-0102
東武バスウエスト(株)	旅客自動車運送業	埼玉県さいたま市北区吉野町2-212	048-667-6270
東武バスセントラル(株)	旅客自動車運送業	東京都足立区伊興本町2-9-2	03-3856-7371
東武バス日光(株)	旅客自動車運送業	栃木県日光市所野1452	0288-53-2100
東武運輸(株)	貨物利用運送事業、倉庫業	埼玉県南埼玉郡宮代町川端4-13-25	0480-31-1311
東武物流サービス(株)	貨物自動車運送業、倉庫業	群馬県高崎市元島名町字瓦井1145	027-384-6880
(株)群馬ロジテム	貨物自動車運送業、倉庫業	群馬県館林市下早川田町472	0276-55-5321
(株)栃木ロジテム	貨物自動車運送業	栃木県栃木市惣社町1695-10	0282-28-0313
(株)東海ロジテム	貨物自動車運送業	静岡県袋井市小山192-1	0538-43-3031
(株)埼玉ロジテム	貨物自動車運送業	埼玉県南埼玉郡宮代町川端4-13-38	0480-37-3211
東武デリバリー(株)	貨物自動車運送業、倉庫業、流通加工業	埼玉県さいたま市緑区大門2500	048-633-0950
野岩鉄道(株)	鉄道業	栃木県日光市藤原326-3	0288-77-3300

■ レジャー事業 17社（うち持分法適用会社 2社）

会社名	主な事業内容	住 所	電話番号
東武レジャー企画(株)	動物園業・遊園地業	埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀110	0480-93-1200
東武ワールドスクウェア(株)	観光施設業	栃木県日光市鬼怒川温泉大原209-1	0288-77-1000
(株)東武スポーツ	スポーツクラブ業	埼玉県越谷市南越谷1-11-4	048-989-6591
東武興業(株)	ゴルフ場業、自動車教習所、ホテル業、遊覧船業	東京都墨田区押上2-18-12	03-3625-5271
奥日光開発(株)	温泉供給業	栃木県日光市湯元2512	0288-62-2536

主な事業所案内

東武ゴルフサービス(株)	ゴルフ場業	東京都墨田区押上2-18-12	03-3625-5271
東武トップツアーズ(株)	旅行業	東京都墨田区押上1-1-2	03-3624-1231
(株)トップ・スタッフ	労働者派遣事業	東京都目黒区東山3-8-1	03-6452-3951
ティーティーイー、INC.	旅行業	21171 S.Western Avenue, Suite200, Torrance, CA90501, U.S.A.	310-320-4722
トップツアー ヨーロッパ LTD.	旅行業	Unit G06 Quality Court, off Chancery Lane,London, WC2A 1HR U.K.	20-7430-2438
仙台国際ホテル(株)	ホテル業	宮城県仙台市青葉区中央4-6-1	022-268-1111
(株)東武ホテルマネジメント	ホテル業	東京都墨田区錦糸1-2-1	03-3626-0301
金谷ホテル(株)	ホテル業	栃木県日光市上鉢石町1300	0288-54-0001
レーキサイドホテルシステムズ(株)	ホテル業	栃木県日光市中宮祠2482	0288-25-6666
東武タワースカイツリー(株)	(電波塔) 施設賃貸業、 (展望台) 観光業	東京都墨田区押上1-1-2	0570-55-0634
(株)日光自然博物館	栃木県立日光自然博物館 管理運営業務	栃木県日光市中宮祠2480-1	0288-55-0880
蔵王ロープウェイ(株)	ロープウェイ、リフト、 ホテル、レストラン業	山形県山形市蔵王温泉229	023-693-0789

■ 不動産事業 3社

会社名	主な事業内容	住 所	電話番号
日本パーキングビルサービス(株)	駐車場管理運営業	東京都豊島区西池袋1-1-30	03-3986-3114
東武不動産(株)	不動産流通業、不動産コ ンサルタント業、駐車場 管理・運営業	東京都墨田区業平3-14-4	03-3622-8165
東武タウンソラマチ(株)	建物管理業	東京都墨田区押上1-1-2	03-6658-8504

■ 流通事業 8社

会社名	主な事業内容	住 所	電話番号
(株)東武百貨店	百貨店業	東京都豊島区西池袋1-1-25	03-3981-2211
(株)東武友の会	前払式特定割賦販売業	東京都豊島区西池袋1-1-25	03-5951-5218
(株)東武カードビジネス	クレジットカード業	東京都豊島区西池袋1-10-10	03-5396-6561
(株)東武宇都宮百貨店	百貨店業	栃木県宇都宮市宮園町5-4	028-636-2211
東武商事(株)	コンビニエンスストア、 石油卸売業	東京都墨田区向島1-33-12	03-3623-0406
東武食品サービス(株)	飲食店業、ホテル業	東京都墨田区向島1-33-12	03-6456-1321
(株)東武ストア	ストア業	東京都板橋区上板橋3-1-1	03-5922-5111
(株)東武警備サポート	警備業、メンテナンス業	東京都豊島区西池袋1-4-10	03-3989-8356

■ その他事業 15社

会社名	主な事業内容	住 所	電話番号
東武電設工業(株)	電気工事業	東京都墨田区向島1-30-5	03-3626-5551
東武建設(株)	総合建設業	栃木県日光市大桑町138	0288-21-8321
東武栃木生コン(株)	生コンクリート製造販売 業	栃木県宇都宮市平出工業団地47-2	028-661-1231
東武開発(株)	建材・生コンクリート販 売業	東京都墨田区向島1-33-12	03-3622-4161
東武谷内田建設(株)	総合建設業	東京都墨田区向島3-44-4	03-3625-1011
東武緑地(株)	造園業、ゴルフコースメ ンテナンス業	東京都墨田区向島1-26-5	03-3622-5621
(株)T O Y O	給排水の配管工事	東京都足立区西新井栄町3-2-8	03-3852-3311
東武シェアードサービス(株)	グループ各社との資金預 り・貸付、 総務経理・給与社会保険 計算受託	東京都墨田区押上2-18-12	03-3626-6011
(株)東武保険サービス	保険代理業	東京都墨田区向島1-33-9	03-3621-5468
東武ビルマネジメント(株)	建物管理業、清掃業、 駐車場業、貸店舗業	東京都墨田区押上2-12-7	03-3623-2194
西池袋熱供給(株)	熱供給業	東京都豊島区西池袋1-10-10	03-3985-3451
錦糸町熱供給(株)	熱供給業	東京都墨田区錦糸3-2-1	03-5608-1206
(株)東武エネルギーマネジ メント	熱供給業	東京都墨田区押上2-18-12	03-3621-5631
(株)シンフォニア東武	清掃業、社内便仕分・ 発送業	埼玉県春日部市梅田本町1-13-1	048-752-0500
東武ビジネスソリューション (株)	情報サービス業	東京都墨田区押上2-18-12	03-3624-3820

■ 東武鉄道 (1)

年月日	事項
1895 明28. 4. 6	東武鉄道創立願提出 東京市本所区から栃木県足利町まで83.7kmの鉄道敷設申請、発起人、川崎八右衛門他11人
1896 29. 10. 16	創業総会を開催
1897 30. 9. 3	設立本免許状が下付される
30. 11. 1	設立登記（後日この日を創立記念日とした）
1899 32. 8. 27	北千住～久喜間39.9km営業開始
1902 35. 4. 1	吾妻橋（現とうきょうスカイツリー）～北千住間6.3km営業開始
1904 37. 4. 5	曳舟～亀戸間3.4km開通（亀戸線全通）
1905 38. 10. 8	本社を東京市麹町区八重洲1-1から本所区横網町1-20に移す
1910 43. 7. 13	新伊勢崎～伊勢崎間1.1km開通（伊勢崎線113.1km全通）
1911 44. 3. 12	本社を本所区小梅瓦町49番地に移す
44. 11. 14	東上鉄道(株)創立総会を開催
1914 大3. 5. 1	東上鉄道(株)池袋～田面沢（現川越市～霞ヶ関間に位置）間33.5km営業開始
3. 10. 16	佐野町（現佐野市）～佐野間2.5km開通（佐野線全通）
1920 9. 7. 27	東上鉄道(株)との合併を登記
1922 11. 4. 5	北総鉄道(株)創立総会を開催
1923 12. 9. 1	関東大震災により被害を受ける
1924 13. 10. 1	浅草（現とうきょうスカイツリー）～西新井間10.1kmに電車運転開始
1925 14. 7. 10	小川町～寄居間10.8km開通（東上線全通）
1927 昭2. 10. 1	館林～伊勢崎間39.9kmを電化、浅草～伊勢崎間113.3kmの電化完了
1929 4. 10. 1	杉戸（現東武動物公園）～東武日光間94.5km全線開通
1930 5. 10. 29	特別車座席使用料を制定（1929.12浅草～東武日光間に展望車を運転）
1931 6. 5. 25	浅草雷門（現浅草）～業平橋（現とうきょうスカイツリー）間1.1km開通。浅草駅を業平橋駅に改称
6. 8. 11	新栃木～東武宇都宮間24.4km開通（宇都宮線全通）
6. 11. 1	浅草駅ビル（1931.5.24竣工）がオープン（同日、浅草松屋オープン）
6. 12. 20	西板線（現在の大師線）西新井～大師前間1.1km開通
1932 7. 3. 18	相老～新大間々（現赤城）間3.4km開通（桐生線全通）
1933 8. 10. 27	傍系会社として毛武自動車(株)を設立登記 [1936.9.8社名を東武自動車(株)と改称]
1934 9. 4. 1	東武鉄道(株)直営の乗合自動車営業を川越地区で開始（自動車事業のはじまり）
1936 11. 秋	武蔵常盤（現ときわ台）駅前宅地分譲開始
1938 13. 4. 17	旧本社ビルが完成
1939 14. 6. 1	東武鉄道(株)経営の自動車事業（川越地区）を一括して東武自動車(株)へ譲渡
1941 16. 6. 1	東小泉～太田間6.4km開通（小泉線全通）
1943 18. 5. 1	下野電気鉄道(株)を買収（現鬼怒川線）
18. 7. 1	越生鉄道(株)を買収（現越生線）
1944 19. 3. 1	総武鉄道(株)と合併（現野田線 1944.3.31登記）
1947 22. 6. 1	東武鉄道(株)が東武自動車(株)を合併（1947.5.31登記）
22. 9.	キャサリン台風により414.9kmが不通（1947.10.27全線復旧）
1948 23. 8. 6	急行料金を設定
1949 24. 2. 1	「華厳号」・「鬼怒号」特急電車を運転開始、毎日1往復、土・日曜日2往復
24. 5. 16	東京証券取引所に上場
1951 26. 9. 22	5700系ロマンスカーが就役
1952 27. 4.	特急列車を自由定員制から座席指定制に変更

■ 東武鉄道 (2)

年月日	事項
1953 昭28. 10. 26	伊勢崎線急行料金を制定
28. 11. 1	浅草～新桐生間に急行運転開始、毎日1往復
1954 29. 7. 19	浅草駅に初の自動券売機を設置（機械式）
1955 30. 1. 4	第1次5か年計画の構想を発表
1956 31. 4. 1	急行料金を特急料金と改称 1700系ロマンスカー（白帯）が就役
31. 5. 25	自動踏切遮断機を亀戸線で初使用
31. 8. 1	ラッシュ時に東上線で婦人専用電車の運転を開始
31. 10. 6	初の記念乗車券を東上線で発売（川越大師喜多院落慶記念）
31. 10.	電気式自動券売機を設置（浅草駅）
1958 33. 4. 20	マイクロ無線装置使用開始（本社～杉戸・新栃木間）
1959 34. 4. 1	東上線で蒸気機関車の運転を廃止
34. 10. 1	越生線にCTC装置を設置
34. 11. 10	宇都宮駅ビルが完成（1959.11.28東武宇都宮百貨店オープン）
34. 12.	1700系ロマンスカーに冷房装置を搭載（当社初の冷房車登場）
1960 35. 10. 9	1720系デラックスロマンスカーが就役
35. 11. 11	東京都内ハイヤー営業開始（1960.7.13事業免許15台）
1961 36. 10. 2	東京証券取引所市場第一部に指定
1962 37. 4. 1	定年を55歳から56歳に延長（1976.4.1定年を57歳に延長）
37. 5. 25	池袋東武会館が完成（1962.5.29池袋東武百貨店オープン）
37. 5. 31	伊勢崎線、営団（現東京メトロ）日比谷線（北越谷～人形町間）で相互直通運転を開始
37. 8. 22	当社初のマルチプルタイタンパーを東上線に導入
37. 9. 22	特急スピードアップ（時速110km運転 浅草～東武日光間106分に）
1963 38. 4. 17	一般車両の塗色変更（ロイヤルベージュとインターナショナルオレンジのツートンカラー）を決定
38. 11. 1	8000型通勤車が就役
1964 39. 3. 19	デラックスロマンスカーにスチュワーデス登場
39. 5. 31	座席指定料金設定
	日光線に6000型使用の快速列車を運転開始
39. 8. 29	営団（現東京メトロ）日比谷線（北千住～中目黒間20.3km）全通 中目黒への乗り入れ開始
39. 11. 1	「記念物」を初指定（当社設立時の文書など17点）
1966 41. 3. 16	初の乗合ワンマンバス運行開始（松原団地・豊四季団地循環）
41. 7. 1	蒸気機関車の運転を全廃（貨物線の全線電化完成）
41. 9. 1	日比谷線直通列車、運転区間を北春日部まで延長
1967 42. 6. 27	踏切支障報知装置を初設置
1968 43. 4. 1	ATS一部使用開始
43. 11. 1	当社初の賃貸マンション「竹の塚ステーションビル」が完成
43. 12. 28	マイクロ無線設備全線取付完了
1969 44. 3. 1	社是・信条を制定
44. 6. 6	北春日部に東武鉄道研修所が完成
44. 9. 20	急行りょうもう1800系電車が就役
44. 10. 31	電車保有車両数が1,000両を突破
1970 45. 4. 15	旧本社社屋（新館）が完成
45. 10. 1	本線15変電所を遠隔集中制御開始

東武鉄道 (3)

年月日	事項
1971 昭46. 3. 1	東上線急行運転を開始（行楽急行は特急に名称統一）
46. 3. 15	TSP型ATSを全車両に取付完了
46. 4. 29	整理券方式の多区間ワンマンバスを野田営業所管内で初運行
46. 6. 17	当社初の分譲マンション「東武西新井サンライトマンション」が完成
1972 47. 7. 11	通勤冷房車8000型が初登場
47. 8. 15	初の自動改札機を西新井駅に導入
1973 48. 6. 27	初の転換社債50億円を発行
48. 7. 20	日光線全線複線化、30年ぶりに復活（1942戦時軍需のため合戦場以北が単線にされていた）
48. 9. 1	本線全変電所の遠隔集中制御開始。日光線8駅、鬼怒川線3駅を無人化
1974 49. 6	一般車両の塗色変更開始（セイジクリーム）
49. 7. 2	関東民鉄初の複々線化、北千住～竹ノ塚間6.3kmが完成
49. 7. 23	特急スピードアップ（浅草～東武日光間101分）
1975 50. 6. 11	週休の隔週2日制実施
50. 12. 20	電車内に優先席を設置
1976 51. 5. 11	踏切保安設備集中監視装置完成
1977 52. 10. 5	船橋駅ビルが完成（1977.10.7 船橋東武百貨店オープン）
1978 53. 7. 28	初の連結決算を発表（東武鉄道、東武ストア、東武ホテル、共助商事〔現東武商事〕）
53. 8. 15	本線の定期・回数乗車券発行業務を集約化（東上線は1978.9.12から）
1979 54. 3. 10	第二東武館が完成
54. 11. 19	柏駅ビルが完成（柏高島屋ロースタウン）
1980 55. 2. 14	特急・急行列車座席予約発売オンラインシステムが完成
55. 9. 1	60歳定年延長段階的に実施（1986.4.1 完全実施）
1981 56. 3. 16	杉戸駅を東武動物公園駅に改称、営団（現東京メトロ）日比谷線直通区間を同駅まで延長
56. 3. 28	東武動物公園がオープン（当社創立80周年事業）
56. 4. 29	乗合バスワンマン化率100%に
56. 7. 1	東上線踏切集中監視業務を志木から池袋へ移行
56. 9. 22	東上線全変電所を集中遠隔制御化
56. 12. 28	有楽町線直通用9000型通勤車が就役
1983 58. 4. 1	適格退職年金制度を実施
58. 12. 22	10000型通勤車が就役
1984 59. 2. 21	手小荷物取扱業務を全廃
59. 5. 10	民鉄初のワラント債1億スイスフランを発行
59. 9. 3	「東武スイミングスクールかねがふち」がオープン（スポーツ事業に本格参入）
59. 11. 12	1株あたり0.05株を無償増資
1985 60. 6. 3	乗合バスのボディカラーを変更開始
60. 10	一般車両の塗色変更（ジャスミンホワイトにロイヤルブルーとリフレッシュブルーのストライプ）
60. 10. 1	スイスフラン立て転換社債5000万スイスフランを発行
60. 11. 15	6000型が車体を一新し、6050型として登場
1986 61. 4. 28	国内分離型ワラント債100億円（民鉄初）と1億スイスフランを発行
61. 5. 12	1株あたり0.05株を無償増資
61. 7. 1	東武動物公園内に東武乗馬クラブ&クレインがオープン

東武鉄道 (4)

年月日	事項
1986 昭61. 10. 9	野岩鉄道会津鬼怒川線開業に伴い、浅草～会津高原（現会津高原尾瀬口）間175.3kmの相互直通運転開始
61. 10. 21	東上線の貨物営業を全廃
61. 12. 27	スキー専用夜行スノーパル23：50の運転を開始
1987 62. 8. 25	和光市～志木間5.3km複々線化使用開始。東上線と営団（現東京メトロ）有楽町線との相互直通運転開始（川越市～新富町間、1988.6.8 新木場まで延長）
62. 10. 2	銀座東武ホテルがオープン（当社創立90周年事業、2007.4.1「コートヤード・マリOTT銀座東武ホテル」に名称変更）
1988 63. 3. 1	座席予約オンラインシステムを東武トラベル（現東武トップツアーズ）、JTBのオンラインと直結
63. 3. 25	日比谷線直通用20000型通勤車が就役
63. 5. 18	特定都市鉄道整備積立金制度を導入した運賃改定を実施
63. 6. 1	トーポカード（プリペイドカード）を発行
63. 8. 9	竹ノ塚～草加間4.1kmの高架複々線が完成
63. 11. 11	浅草～東武宇都宮間に快速急行しもつけを新設（2006.3.18特急化 2020.6.5 廃止）
	1株あたり0.1株を無償増資
	東京～いわき間に高速バス運行開始（JRバス関東・常磐交通と共同運行）
1989 平 1. 4. 1	消費税導入に伴う運賃改定を実施
1. 4. 28	大宮～成田空港間的高速直通バス「ONライナー」を6社共同で運行開始
1. 5. 20	東向島駅構内に「交通と文化の東武博物館」をオープン（当社創立90周年事業）
1990 2. 3. 30	仙台国際ホテルの経営に参加
2. 9. 25	業平橋駅を改良し都営・京成線の押上駅と連絡（2003.3.18まで）
	押上り回乗車制度を導入（1997.3.31まで）
2. 6. 1	100系スーパーシアが就役（1991.9.1 全特急列車を100系スーパーシア化）
2. 10. 12	会津鉄道会津線の一部電化完成で浅草～会津田島間190.7kmの直通運転を開始
1991 3. 2. 1	急行りょうもうに200型が就役
3. 9. 26	宮の森カントリー倶楽部オープン
1992 4. 3. 1	自動改札機の本格導入を開始（本線2駅、東上線4駅）
4. 4. 11	年間休日104日制実施（週休2日制）
4. 6. 3	池袋東武会館（東武百貨店池袋店本館）とメトロポリタンプラザビル（同店プラザ館）を結ぶ「東武中央館」が完成 同.6.8 池袋西口に「メトロポリタンビル」完成
4. 9. 21	特急が関東民鉄初の120km/h運転を開始（浅草～東武日光間98分）
4. 10. 1	東上線全線で禁煙タイムを変更、池袋駅は終日禁煙に
4. 12. 1	野田線全車両の大型冷房車化完了
	本線で禁煙タイム変更と終日禁煙駅を新設、伊勢崎線急行の禁煙車を拡大
4. 12. 29	日比谷線直通用20050型通勤車（5扉車）が就役
1993 5. 4. 1	日光線特急・急行の禁煙車増設、一般列車の車内禁煙区間を全線に拡大
5. 4. 24	東武ワールドスクウェアがオープン（当社創立95周年事業）
5. 10. 16	本線で新電力システムを使用開始
1994 6. 4. 1	観光バスボディカラーをグループ統一デザインに変更
6. 5. 20	1株1.03株に分割
6. 12. 7	有楽町線新線池袋駅に乗り入れ

■ 東武鉄道 (5)

年月日	事項
1995 平7. 2. 11	大宮駅改良工事が完成
7. 8. 11	当社初の冷暖房付きホーム待合室を志木駅に設置
7. 9. 1	時差回数乗車券と土・休日割引回数乗車券発売開始 (2021.9.30普通回数券、時差回数券、土・休日割引回数券の発売終了)
7. 10. 26	草加駅高架下に専門店街「VARIE (ヴァリエ)」がオープン
1996 8. 7. 23	北千住駅の混雑緩和策として東武線は1階、日比谷線は3階で発着
1997 9. 3. 25	北千住駅改良工事が完成
	草加～越谷間6.9kmの高架複々線が完成
	半蔵門線直通用30000系通勤車が就役
	下り特急・急行列車が北千住駅に停車 (専用ホームを開設)
	全特急・急行列車の定期乗車券乗車を実施
9. 6. 8	錦糸町東武ホテルレバントがオープン (当社創立百周年事業、1998.6.1「東京マリオットホテル錦糸町東武」に、2006.4.1「東武ホテルレバント東京」に名称変更)
9. 9. 12	東武藤が丘カントリー倶楽部がオープン (当社創立百周年事業)
1998 10. 1. 30	小澤征爾&新日本フィルハーモニー特別演奏会を開催 (当社創立百周年記念)
10. 3. 26	新越谷駅に新越谷ビル「VARIE (ヴァリエ)」がオープン
10. 3. 31	社史ダイジェスト版「RAILWAY100」を発行
10. 4. 2	急行りょうもうに250型が就役
10. 4.	とーぶ鉄道モニター制度発足
10. 6. 26	百周年記念配当を第178期株主総会で決議
10. 7. 22	従業員持株制度を導入
10. 10. 30	東武鉄道百年史 (正史) を発行
10. 12. 1	ポイントカードシステム「東武キャッシュバッククラブ」を草加ヴァリエに導入
1999 11. 3. 1	ノンステップバス順次運行開始 (10両)
11. 3. 16	日光線特急の一部春日部駅停車を実施 (特急・急行料金の細分化)
	急行りょうもうの特急化
11. 9. 1	「東武キャッシュバッククラブ」を共通カード化
2000 12. 2. 25	志木駅東口駅ビル「st.トスカ」がオープン
12. 3. 1	低公害 (EGR/DPF搭載) バスを導入
12. 6. 29	ストック・オプション制度を導入
12. 10. 14	共通乗車カードシステム「パスネット」、「フェアスルーシステム」を導入
12. 11. 1	終日禁煙駅を拡大 (相老・赤城・新藤原を除き全線終日禁煙化)
2001 13. 3. 28	伊勢崎線越谷～北越谷間1.7kmの高架複々線が完成。北千住～北越谷間 (18.9km) を複々線化
	日光線特急の停車駅を新栃木から栃木に変更
13. 3. 28	日光線特急のすべてを春日部、新高徳に停車
	インターネット・携帯電話による日光線特急・急行の予約開始
13. 4. 1	東上線運行管理システムを使用開始
13. 10. 1	事業環境の変化に対応できる体制づくりに向け、東武バス(株)を設立
13. 11. 20	メール配信サービス「とぶとぶメール」を開始 (会員制総合情報サービス「102@club」の一環、2008.9サービス終了)
2002 14. 1. 23	中期経営計画「東武グループ再構築プラン」を策定
14. 3. 31	東武ワールドスクウェアの営業を東武ワールドスクウェア(株)に譲渡

■ 東武鉄道 (6)

年月日	事項
2002 平14. 4. 1	東武動物公園の営業を東武レジャー企画(株)に譲渡
14. 9. 30	バス事業本部を廃止 (2002.10.1より東武バス(株)が営業開始)
2003 15. 1. 1	「コンプライアンス基本方針」「環境理念」「環境方針」を制定
15. 2. 17	「102@運行情報メール」の配信サービスを開始
15. 3. 19	伊勢崎線・日光線、営団 (現東京メトロ) 半蔵門線、東急田園都市線 (南栗橋～押上～渋谷～中央林間間) で相互直通運転を開始
	特急・急行料金の値下げを実施、特急・急行列車内に車掌用携帯型端末機を導入
	浅草駅にステーションアテンダントを配置 (2003.3.18スベシアアテンダントを廃止)
	大師線、小泉線 (西小泉・東小泉～太田間) でワンマン運転開始
15. 3. 31	直営ゴルフ場 (宮の森カントリー倶楽部、星の宮カントリー倶楽部、東武藤が丘カントリー倶楽部) の営業を東武不動産(株)に譲渡
15. 5. 1	東武線全駅で終日全面禁煙を実施 (2007.3.18特急列車の全車両禁煙化)
15. 6. 1	「東武鉄道コンプライアンス・マニュアル」を作成
	施設・設備の維持補修及び保守業務を東武エンジニアリング(株)に委託
15. 6. 5	環境報告書 (現社会環境報告書) を発行開始
15. 8. 1	69駅における駅業務、構内営業等の業務を東武ステーションサービス(株)に委託 (2015.7.1全面委託)
15. 9. 30	貨物営業を全廃
2004 16. 4. 1	「グリーン購入ガイドライン」「情報セキュリティ基本方針」「危機管理規程」を制定
	南栗橋車両基地に工場棟が完成 保守業務を東武インターテック(株)に全面委託
16. 5. 1	団体割引の最少適用人員の引下げと特急料金の団体割引適用を開始
16. 8. 1	新桐生駅で当社初の「パーク・アンド・ライドサービス」を開始
16. 10. 19	亀戸線でワンマン運転開始
2005 17. 3. 1	「AIZUマウントエクスプレス号」が鬼怒川温泉～会津若松 (一部、喜多方) 間で直通運転を開始 (2012.3.17東武日光まで直通を開始)
17. 3. 17	東上線小川町～寄居間でワンマン運転開始
17. 5. 9	伊勢崎線・日光線・東上線に女性専用車両を導入 (野田線は2005.6.20)
17. 9. 16	南栗橋車両管理区 (現南栗橋車両管区) でISO14001の認証取得 (東武鉄道(株)・東武インターテック(株))
17. 9. 29	伊勢崎線第37号踏切を自動化 (東武線内の手動式踏切が全廃)
2006 18. 3. 14	IT事業部でISMSの認証取得
18. 3. 18	JR新宿～東武日光・鬼怒川温泉間で、JR東日本と特急列車の相互直通運転開始
18. 3. 18	東京メトロ半蔵門線、東急田園都市線との相互直通運転区間を久喜まで延長
	伊勢崎線・日光線等の列車種別の変更により有料急行を廃止 (特急に格上げ)
	伊勢崎線太田～伊勢崎間、佐野線、桐生線でワンマン運転開始
18. 3. 31	新タワー (東京スカイツリー®) の建設地が墨田・台東エリア (押上・業平橋地区) に決定
18. 4. 24	「東武鉄道お客さまセンター」を開設
18. 5. 17	東武グループ中期経営計画 (06～08年度) を策定
18. 8. 1	8月1日を「安全の日」に定める
18. 9. 28	小泉線 (館林～西小泉間) でワンマン運転を開始
18. 10. 1	安全管理規程を制定
18. 11. 1	主要6駅にAED (自動体外式除細動器) を設置 (2008.3.28委託駅・無人駅を除く172駅に設置完了 2020.10のみなみ寄居 (ホンダ寄居前) 駅に設置 計173駅)

■ 東武鉄道 (7)

年月日	事項
2007 平19. 3. 18	交通系ICカード「PASMO」のサービスを開始、「電子マネーサービス」を9駅189か所の店舗・自動販売機でスタート
19. 4. 3	ISO27001認証を取得
19. 5. 31	気象庁が配信する緊急地震速報を用いた「早期地震警報システム」を導入
19. 6. 25	安全報告書を発行開始
19. 6. 28	当社株式の大量買付行為に関する対応策（買収防衛策）を導入
19. 8. 1	遺失物検索システムを運用開始
19. 9. 20	川越駅ショッピングエリア「EQUiA（エキア）川越」オープン
19. 10. 1	鉄道事業部門に管区制を導入 鉄道乗務員養成所に訓練機能を向上した運転シミュレータを導入
19. 10. 31	栃木～東武宇都宮間（日光線・宇都宮線）でワンマン運転を開始
2008 20. 2. 14	ホームページ上での遅延証明書の発行サービスを開始
20. 6. 14	東上線、東京メトロ副都心線（森林公園～和光市～渋谷間）で相互直通運転を開始 座席定員制列車TJライナーを運転開始 越生線でワンマン運転開始
20. 7. 14	業平橋押上地区開発計画（新タワー計画）が着工
20. 10. 25	第1回“東武鉄道杯”東上沿線少年野球大会を開催（同サッカー大会は2009.2.21より開催）
20. 11. 11	携帯電話を利用した「特急券チケットレスサービス」と「東武携帯ネット会員」の会員募集を開始
2009 21. 2. 26	志木駅ショッピングエリア「EQUiA志木」がオープン
21. 3. 22	お子さま向けホームページ「TOBU BomBo Kids（と～ぶボンボキッズ）」を開設（2019.3.28TOBU Kids【と～ぶキッズ】に名称変更）
21. 4. 24	柏駅構内ショッピングエリアがオープン
21. 7. 22	東武博物館がリニューアルオープン
21. 9. 15	TJライナーチケットレスサービス開始 二次元コードを利用した着席整理券確認システムを導入
21. 9. 18	新本社ビル竣工（2009.11.2全組織の業務開始）
21. 9. 29	ふじみ野駅複合商業ビル「ふじみ野ナール」がオープン
21. 11. 20	野田線で運行管理システムを使用開始
21. 12. 15	大規模分譲マンション「リライズガーデン西新井」を竣工
2010 22. 3. 15	越生線 全線においてホーム検知装置の使用を開始
22. 3. 24	東武鉄道全線の全踏切に手動「押ボタン」を設置完了
22. 4. 28	朝霞駅ショッピングエリア「EQUiA朝霞」がオープン
2011 23. 3. 12	東上線で「二区間定期券」の発売を開始
2012 24. 2. 29	東京スカイツリータウン [®] が竣工
24. 3. 17	業平橋駅をとうきょうスカイツリー駅に改称（同.4.20リニューアルオープン） とうきょうスカイツリー駅に特急スペーシアほか特急列車が停車 伊勢崎線 浅草～押上～東武動物公園間に路線愛称名「東武スカイツリーライン」を導入
24. 3. 17	東武線全線を5つのエリアにわけ、駅ナンバリングを導入
24. 4. 20	とうきょうスカイツリー駅、浅草駅、池袋駅にステーションコンシェルジュを配置
24. 5. 18	浅草駅ビルリニューアル完成（竣工当時の外観を再現）
24. 5. 22	東京スカイツリータウン [®] 開業
24. 7. 24	回生電力を有効活用した「電力貯蔵装置」を導入（上福岡き電区分所）

■ 東武鉄道 (8)

年月日	事項
2012 平24. 10. 27	展望車両634型スカイツリートレインが就役
24. 11. 21	浅草駅ビルの商業施設「EKIMISE（エキミセ）」がグランドオープン
2013 25. 3. 16	とうきょうスカイツリー駅に停車する特急列車を大幅に拡大 東京メトロ日比谷線との直通区間を南栗橋まで延伸 伊勢崎線 館林～太田間の一部列車でワンマン運転開始（2020.6.6伊勢崎線 館林以北特急以外ワンマン運転開始） 東上線、東急東横線、横浜高速みなとみらい線（森林公園～和光市～渋谷～横浜～元町・中華街間）と相互直通運転を開始
25. 4. 24	松原団地（現獨協大学前〈草加松原〉）駅ショッピングエリア「EQUiA松原」がオープン
25. 6. 15	野田線に60000系通勤車が就役
2014 26. 3. 22	船橋駅で当初のホームドアを使用開始
26. 4. 1	野田線に路線愛称名「東武アーバンパークライン」を導入
26. 5. 1	東上線開業100周年、2種類のリバイバルカラー車両が連結した特別編成列車を運転
26. 6. 14	「ソライエ清水公園アーバンパークタウン」で街びらきフェスタを開催
26. 9. 17	東京スカイツリータウンの来場者が1億人を突破
26. 12. 11	「新越谷ヴァリエ」食品フロアを中心とした1階が全面リニューアルオープン
26. 12. 22	運河駅構内に回生電力貯蔵装置を導入（2017年2月に大宮公園駅構内に移設）
2015 27. 1. 31	東上線川越市～小川町間で、運転保安システムATCの使用を開始
27. 4. 18	日光東照宮四百年式年大祭記念、特急スペーシアの特別塗装列車「日光詣スペーシア」を運行開始（2015.7.18 2編成目運行開始、JR相互直通運転対応車両）
27. 5. 1	浅草駅等で「TOBU FREE Wi-Fi」の提供を開始
27. 11. 28	東武東上線全線開通90周年を記念し、行楽列車「フライング東上号」リバイバルカラー車両2編成を運行（2017.1「ブルーバード号」に変更、2019.6.30終了）
27. 12. 18	台湾鉄路管理局と友好鉄道協定を締結
2016 28. 3. 25	成増駅ショッピングエリア「EQUiA成増」がオープン
28. 3. 26	大宮～春日部間急行運転開始（2020.3.14全線で急行運転開始） 副都心線直通列車の東上線内急行列車Fライナー運行開始
28. 3. 28	上りTJライナーの運転開始
28. 4. 1	総合教育訓練センターを南栗橋に開設
28. 5. 24	池袋駅西口地下に「イケチカ ダイニング」がグランドオープン
28. 6. 17	台鉄自強号「普悠瑪」デザインのりょうもうが運行開始（2018.11.19終了）
28. 10. 3	台湾において金色の「日光詣スペーシア」デザインの台鉄自強号が運転開始
28. 10. 7	台湾台北市にインバウンド戦略部 台北支社を開設
2017 29. 3. 29	インバウンド向けウェブサイト「TOBU JAPAN TRIP」を開設
29. 4. 1	松原団地駅を「獨協大学前〈草加松原〉」に改称
29. 4. 1	曳舟駅直結ビルに「東京曳舟病院」が開院
29. 4. 7	曳舟駅ショッピングエリア「EQUiA曳舟」（第1期エリア）がオープン（2019.5グランドオープン）
29. 4. 21	500系「リバティ」が就役（特急リバティ会津として野岩鉄道・会津鉄道へ乗り入れ） 近距離区間の特急列車「スカイツリーライナー」、「アーバンパークライナー」を新設 特急りょうもうが全列車久喜駅に停車 浅草発着の快速・区間快速列車の運行を廃止し、南栗橋～東武日光（一部新藤原）間に急行・区間急行を新設

■ 東武鉄道 (9)

年月日	事項
2017 平29. 4. 21	全特急列車のとうきょうスカイツリー駅停車
29. 6. 30	志木駅東口駅ビル「st.トスカ」を「EQUiA志木」に統合しグランドオープン
29. 7. 7	日比谷線直通用70000系通勤車が就役
29. 7. 22	東武ワールドスクウェア駅を開業
29. 8. 10	鬼怒川線下今市～鬼怒川温泉間においてSL大樹運転開始
29. 10. 8	東京スカイツリータウン入場2億人を突破
29. 12. 14	北千住駅ショッピングエリア「EQUiA北千住」がグランドオープン
2018 30. 3. 29	スマートフォンアプリ「東武線アプリ」の提供を開始
30. 6. 13	特急券インターネット購入・予約サービスの提供を開始
30. 9. 3	20400系通勤車が就役
30. 11. 14	大手私鉄初、蒸気機関車の復元作業開始（2022.7.18復元が完了し営業運転を開始。SL3両体制となる）
2019 31. 3. 16	東上線に川越特急を新設
令1. 9. 1	TJライナー座席指定化
1. 11. 29	子育てサポート付き社宅「kanowa（カノワ）東武動物公園」を開業
2020 2. 3. 17	ときわ台駅北口に「EQUiAときわ台」がグランドオープン
2. 3. 26	二社一寺の西参道において「西参道茶屋」がオープン
2. 6. 6	和光市駅直結の複合商業施設「EQUiA PREMIE 和光」をグランドオープン
2. 6. 18	東武線・日比谷線相互直通の座席指定制列車「THライナー」を運行開始
2. 7. 15	浅草～東京スカイツリータウン間に「東京ミズマチ [®] 」が開業
2. 10. 3	東京スカイツリー・浅草連絡歩道橋「すみだリバーウォーク [®] 」が開通
2. 10. 31	「ザ・リッツ・カールトン日光」が開業
2. 11. 1	SL大樹「ふたら」運転開始（2021.10.16定期運行開始）
2021 3. 6. 5	みなみ寄居（ホンダ寄居前）駅を開業
3. 7. 1	東武グループ共通ポイント「TOBU POINT」サービス開始
3. 8. 2	特急スペーシア デビュー当時のリバイバルカラー車両運行開始
3. 8. 7	賃貸マンション・サービス付き高齢者向け住宅・クリニック等一体の複合施設「岩槻駅前ビル」開業
3. 8. 7	社会貢献・地域活性化を目的とした特定の企業・団体向け有料手回り品料金制度を導入（同制度を活用したフードロス削減の取り組みTABETEレスキュー運用を開始）
3. 9. 1	1800系カラーリング200型「りょうもう」運転開始
3. 9. 16	東武鉄道公式ファンクラブを開業
3. 10. 1	東武動物公園駅西口の商業施設がオープン
3. 10. 26	TOBU POINTの新サービス「トブポマイル」のサービスを開始
3. 10. 28	東京スカイツリータウン入場3億人を突破
3. 11. 4	国内初の環境配慮型・観光MaaS「NIKKO MaaS」のサービスを開始
3. 11. 11	SL大樹の客車として12系「展望車」を2両（ぶどう色・青色）導入
3. 12. 4	スタートアップ企業との協業・共創プログラム「TOBU Open Innovation Program」の募集を開始
2022 4. 3. 9	1720系デラックスロマンスカーをイメージした100系「デラックスロマンスカーカラー」スペーシアの運行を開始
4. 3. 12	「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」に認定
	日光線・鬼怒川線で特急・SL以外ワンマン運転開始

■ 東武鉄道 (10)

年月日	事項
2022 令4. 3. 20	東武スカイツリーライン竹ノ塚駅付近（西新井～谷塚間）上下緩行線高架区間の使用を開始
4. 4. 1	日光・鬼怒川エリアで実質再生可能エネルギー100%の電車運行をスタート
4. 4. 4	東京証券取引所の市場区分の見直しにより市場第一部からプライム市場へ移行
4. 4. 28	小児通学定期券のポイントバックによる実質無料化を開始
4. 5. 26	「BRIDGE LIFE Platform 南栗橋」街びらき
4. 6. 2	グリーンプロジェクトの資金調達のため当社初の「グリーンボンド」を発行
4. 11. 18	新柏駅高架下に「EQUiA新柏」がグランドオープン
4. 11. 27	東武スカイツリーラインとうきょうスカイツリー付近（とうきょうスカイツリー～曳舟駅間）上り線の高架区間の使用を開始
2023 5. 3. 18	東上線、東急新横浜線、相鉄線（小川町～和光市～渋谷～日吉～新横浜～海老名、湘南台間）と直通運転を開始
5. 3. 30	南栗橋駅への特急停車開始（朝の上り3本、夕夜間の下り6本）
5. 7. 15	獨協大学前エリアに商業施設「TOBU icourt/トープイコート」がオープン
5. 8. 29	N100系「スペーシア X」が就役
5. 9. 21	日立製作所と生体認証を活用したデジタルアイデンティティの共通プラットフォーム立ち上げに合意
5. 10. 26	谷塚駅高架下に「EQUiA谷塚」がオープン
5. 12. 7	草加駅直結の商業施設「草加ヴァリエ」VARIE1の第I期エリアがリニューアルオープン（2025年にリニューアルグランドオープン予定）
2024 6. 1. 31	越谷駅高架下に「EQUiA越谷」がグランドオープン
6. 3. 1	SLにバイオ燃料（バイオコークス）を使用する実証実験を開始
6. 3. 16	SL大樹の乗車人員が50万人を突破
6. 4. 26	スペーシア Xを新たに2編成導入、全4編成とし、毎日6往復の運転開始
6. 5. 23	新越谷駅直結の商業施設「新越谷ヴァリエ」2階・3階の第I期エリアがリニューアルオープン
	N100系スペーシア Xが鉄道友の会「2024年ブルーリボン賞」を受賞
	竹ノ塚駅高架下に「EQUiA竹ノ塚」がグランドオープン

■ グループ会社 (1)

年月日	事項
1958 昭33. 6. 2	東武宇都宮百貨店設立 (登記) (1959.11.28オープン)
33. 7. 15	榛名山ロープウェイ営業開始 (1979.10群馬県観光より東武興業が営業譲受)
1959 34. 6. 1	東武スーパーマーケット霞ヶ丘店オープン (東武興業経営/東武ストア第1号店)
34. 9. 1	伊香保カントリークラブオープン (会社設立は1958.7.1)
34. 10. 15	東武興業が鬼怒川丸山ロープウェイ営業開始 (2000.12.25鬼怒川観光開発へ譲渡)
34. 12. 25	全日本観光をグループ指定 (1971.4.1東武トラベルに社名変更) (1971.8.1東武トラベルと東武鉄道観光が合併 [社名: 東武トラベル]) (2002.12.31東武美術館に営業譲渡し解散)
1960 35. 1. 20	東武興業が中禅寺温泉ロープウェイ営業開始 (2003.8.25廃止)
35. 1. 26	東武ビー・エス・コンクリート工業設立 (1961.2.1操業開始) (1964.10.1東武砂利が東武ビー・エス・コンクリート工業と合併) (1964.12.1東武開発に社名変更)
35. 9. 1	東武百貨店設立登記
35. 12. 10	東武会館設立登記 (1968.4.19東武ストアに社名変更)
35. 12. 12	谷川岳ロープウェイ営業開始 (2022.2.28グループ指定解除)
1961 36. 6. 26	中禅寺湖畔ユースバレス落成
36. 8. 23	蔵王ロープウェイ設立 (1962.10.1営業開始)
36. 10. 3	東武ガス設立 (1962.4.21営業開始)
36. 10. 4	金谷貨物自動車グループ指定 (1964.4.1合併に伴いグループ指定解除)
36. 12. 1	朝霞パブリックゴルフ場オープン
1962 37. 1. 23	東武石油販売設立 (1963.2.6東武百貨店に合併)
37. 5. 29	池袋東武百貨店オープン
37. 6. 1	栃木生コン設立 (1963.7.9生産開始) (2002.3.1東武建設に合併)
37. 6. 12	東北急行バス設立 (1962.8.1営業開始)
37. 10. 16	東武興業が大和町自動車学校事業を継承
1963 38. 1. 19	松島観光開発の経営に参加 (2001.8.31解散)
38. 1. 25	東野鉄道に資本参加 (1969.5.30東野交通に社名変更) (2016.12.1みちのりホールディングスへ譲渡)
38. 4. 1	分福ヘルスセンター、新館完成 (収容人員7,000人となる) (1985.4.19「野鳥の森とへぶ」と改称し、オープン) (2006.4.1館林野鳥の森フラワーガーデンと改称し、オープン) (2012.3.31「ザ・トレジャーガーデン館林」と改称し、オープン) (2021.6.14営業終了)
38. 4. 20	会津合同貨物自動車をグループ指定
38. 10. 16	東武興業が東武かすみ自動車教習所開業 (1963.11.3公安委員会指定)
38. 12. 8	蔵王ロープウェイ全線開通
1964 39. 2. 1	群馬観光開発設立 (赤城山総合開発が群馬観光開発を合併)
39. 4. 1	東武急行運輸設立 (金谷貨物自動車・北毛自動車運送・岡崎陸運の3社が合併)
39. 6. 1	東横百貨店池袋店の営業権を東武百貨店が譲受 (正式調印)
39. 9. 1	東武興業が越谷に自動車教習所 (現東武こしがや自動車教習所) 開業
39. 10. 6	東京駅八重洲口に東武観光センター開業
1966 41. 8. 1	川越観光自動車設立 (1966.11.1営業開始)
41. 8. 26	万和産業設立 (2000.8.31飲食事業を東武食品サービス、その他の事業を東武ランドシステムへ営業譲渡し解散)
41. 9. 1	中禅寺湖レックサイドホテル発足 (1968.7日光レックサイドホテルに改称) (2016.1.3営業終了)
1967 42. 9. 1	東武テレガイドサービス誕生 (2006.4.24営業終了)

■ グループ会社 (2)

年月日	事項
1967 昭42. 11. 6	赤城登山鉄道利平茶屋〜赤城山頂間 (赤城山ケーブルカー) 営業停止 (1968.5.31廃止)
1968 43. 3. 1	松島湾汽船と松島観光汽船の2社を合併し、松島湾観光汽船を設立 (2004.12.31松島ベイクルーズに営業譲渡、解散) (2010.10.22松島ベイクルーズグループ指定解除)
43. 6. 1	赤城登山鉄道が赤城山ロープウェイに社名変更 (1979.10.1東武興業に営業譲渡) (2000.11.30谷川岳ロープウェイへ営業譲渡) (2003.4.1廃止)
43. 8. 1	赤城旅館改装工事終了「ホテル赤城」と改称し、オープン (1977.12.1東武興業に営業譲渡) (1993.3.31廃業)
43. 10. 20	東武カントリークラブおもちゃのまちパブリックコースオープン
43. 11. 1	中央商工が東武不動産に社名変更 (1993.2.1東武不動産と東武百貨店が合併 [社名: 東武百貨店])
1969 44. 4. 2	東武ホープセンター、東武地下駐車場オープン (池袋西口駐車場経営)
44. 5. 13	東武ビル管理 (現東武ビルマネジメント) 発足
44. 10. 1	東武興業が湯元ロッヂをオープン
1970 45. 12. 25	林友観光が蔵王アストリアホテルオープン
1971 46. 4. 30	ニッポンレンタカー東武設立 (1971.7.5営業開始) (2014.10.31全株式をニッポンレンタカーサービスへ売却)
46. 8. 25	東武配送サービス設立 (2008.5.14解散)
46. 11. 11	東武百貨店新館オープン、シンボルフリーズ「ぶらんで〜と」及びレターマークを新たに制定、下板橋総合商品センター完成 当社、東武ガス、東武プロパン3社共同出資で「吉川ガス」設立 (1973.3.13営業開始)
1973 48. 2. 1	東武林業建設が東武建設に社名変更
48. 3. 1	東武宇都宮百貨店全館完成、レジャーランド、ホテルオープン (1972.11.2百貨店増築オープン) (ホテルは1990.6.1東武イン宇都宮に名称変更 [1993.5.30閉鎖])
48. 3. 31	東武整備社設立 (1973.4.1営業開始) (1988.6.1東武整備に社名変更) (1988.9.1グループ指定) (2003.10.1東武ビル管理と東武整備が合併 [社名: 東武ビル管理]) (2006.4.1東武ビルマネジメントに社名変更)
48. 10. 4	東武ダイヤルバス設立 (1974.4.10営業開始) (2008.4.1日光交通と合併 [社名: 日光交通])
1974 49. 11. 27	船橋東武設立 (1977.10.7船橋東武百貨店オープン) (1988.9.1船橋東武と東武百貨店が合併 [社名: 東武百貨店])
1975 50. 1. 18	福山東武ホテルオープン (1997.3廃止)
50. 4. 3	桐生カントリークラブオープン
50. 6. 1	東武トラック事業団5社の社名変更 (東武急行運輸→東武運輸、東武常磐運輸→東武運輸常磐、東武運輸→東武運輸栃木、十日町運送→東武運輸新潟、会津合同貨物自動車→東武運輸会津) (東武運輸会津は1999.3.31解散) (2004.9.29東武運輸栃木と東武運輸新潟の保有株式85%をPZ運輸に売却)
50. 7. 11	関東ガスをグループ指定
50. 8. 1	東武運輸東京設立 (1984グループ指定解除)
50. 11. 13	渋谷東武ホテルオープン
1976 51. 4. 2	亀戸ステーションビルの創立総会開催 (1984グループ指定) (1993グループ指定解除)
1977 52. 2. 1	高崎市に東武運輸総合ターミナル完成
52. 3. 10	共助商事設立 (1977.4.1営業開始) (1979.6.15東武商事に社名変更)
52. 4. 1	東武運輸と東武運通が合併 (社名: 東武運輸)
52. 10. 6	城山カントリー倶楽部オープン (2009.5.29シアー・エスに経営を移管)

■ グループ会社 (3)

年月日	事項
1978 昭53. 8. 28	東武食品サービス設立
1979 54. 1. 24	日光観光ハイヤー設立 (1997日光観光ハイヤーと日光交通が合併 [社名: 日光交通])
54. 9. 26	東武ストアが東武グループ初の東京証券取引所市場第2部上場 (1988.8.1東京証券取引所市場第1部に上場) (2018.10.22東武鉄道の完全子会社化に伴い上場廃止)
1981 56. 9. 1	富士空輸が東武航空貨物に社名変更
1982 57. 7. 1	東武フォトサービス設立 (1982.8.1営業開始) (2004.7.31解散)
57. 7. 2	神奈川東武デリバリー設立
57. 7. 29	東武デリバリー設立 (1999.2.1神奈川東武デリバリーと合併 [社名:東武デリバリー]) (2017.7.1警備輸送事業をデリバリーサービスに承継) (2017.7.3全株式を総合警備保障に譲渡)
57. 8. 25	銀座むらき第1号店オープン (1998銀座むらきと会津高原ホテルが合併 [社名: 銀座むらき]) (2006.3.31解散)
57. 12. 18	会津アストリアホテルオープン (経営は会津高原観光開発 [1986グループ指定]) (2002.3.31会津高原夢開発へ営業譲渡し2002.6.30に会津高原観光開発を解散)
1983 58. 4. 11	松島にホテル壯観オープン (2007.1解散)
58. 9. 23	上尾東武ホテル、上尾東武サロンオープン (東武食品サービス運営)
58. 12. 22	東武ケーブルメディア設立 (2002.7東武コミュニケーションズに社名変更) (2008.3解散)
1984 59. 3. 19	三国観光開発が東武保険サービスに社名変更
59. 8. 1	東武スポーツ設立 (東武スポーツと東武ゴルフが合併)
59. 8. 3	西池袋熱供給設立
59. 11. 3	土浦東武ホテルオープン (2000.6.30営業終了)
1986 61. 6. 1	ダイヤモンド造園技研が東武緑地建設に改称
1987 62. 2. 4	川越東武ホテルオープン (2020.3.31営業終了) (2020.6.29川越駅西口に移転)
62. 7. 21	会津田島リゾート開発設立 (2002.3解散)
62. 8. 20	ホリデイ・イン東武成田オープン (2011.1.1「成田東武ホテルエアポート」に名称変更)
62. 12. 27	東武興業が光徳温泉に「日光アストリアホテル」をオープン
1988 63. 3. 18	東武不動産が江東区に「東武有明インドア・テニス・スパジオ」をオープン (1996.3閉鎖)
63. 4. 18	志木ケーブルメディア設立 (1989.6.2都市型CATVを開局) (1995.10.1「東上ケーブルテレビ」に社名変更) (2004.12.16グループ指定解除)
63. 5. 10	蔵王リゾート設立 (第3セクター方式)
63. 7. 15	東武不動産の複合レジャー施設「MZA有明」完成 (2000.12廃止)
63. 10. 31	「ユーアイネット埼玉」に参加 (1989.4.1第3セクター方式にて開業)
1989 平1. 1. 11	東武ランドシステム設立
1. 2. 7	東武トレーディング設立 (2001.1.1東武ランドシステムと合併 [社名: 東武ランドシステム]) (2003.12.31カジュアルショップに営業譲渡し解散) (2004.1.1カジュアルショップが「東武ランドシステム」に社名変更) (2010.1.1東武エナジーサポートに社名変更)
1. 6. 13	日光リゾート開発設立 (霧降高原地区の開発を目的とした第三セクター方式) (1998.9解散)
1990 2. 3. 1	東武百貨店・東武宇都宮百貨店がCIを導入
2. 9. 20	東武食品サービスがJR王子駅前の「北とびあ」内に王子東武サロンをオープン (2021.3.16営業終了)
2. 10. 13	下仁田カントリークラブオープン

■ グループ会社 (4)

年月日	事項
1991 平3. 4. 1	東日本航空がCI導入で東武計画に社名変更
3. 7. 17	日光自然博物館オープン
3. 7. 23	宇都宮東武ホテルグランドオープン
3. 8. 26	当社と東武百貨店が東武美術館を設立 (1992.6.10オープン 2001.3.4閉鎖)
3. 9. 1	東武ゴルフが受託運営する渡良瀬カントリークラブをオープン
3. 10. 2	浦和東武ホテルオープン (2003.4.1浦和東武ホテルから東武鉄道に事業譲渡、2008.6.30営業終了)
3. 10. 31	東武百貨店が宝飾・時計、高級雑貨専門会社「ガンブス・インターナショナル」設立 (2017.2.28解散)
1992 4. 6. 10	東武百貨店が日本一の売場面積 (8万2963㎡) でグランドオープン
4. 6. 15	高輪東武ホテルリニューアルオープン (現「品川東武ホテル」)
4. 6. 18	会津高原ホテルが、会員制リゾートホテルとしてリニューアルオープン
4. 6. 25	星の宮カントリー倶楽部オープン
1993 5. 1. 1	関東ガスが東武ガス、吉川ガス、東武液化ガスを合併 (社名: 東武ガス)
5. 7. 24	会津高原たかつねカントリークラブオープン (2002.6解散)
5. 7. 25	東武ランドシステムが北海道でユニ東武ゴルフクラブをオープン
5. 12. 1	館林観光開発が東武プライダルに社名変更 (2008.9解散)
1994 6. 4. 26	札幌東武ホテルオープン (2020.4.26「フェアフィールド・バイ・マリオット札幌」としてリブランドオープン)
6. 10. 1	東武配送サービスが下板橋駅構内に配送センターをオープン
1995 7. 10. 1	東武宇都宮百貨店が北関東以北最大の百貨店としてグランドオープン
1996 8. 9. 7	東武食品サービスが野田東武ホテルをオープン (現「ビジネスホテル野田」2022.3.1売却)
1997 9. 3. 1	伊勢崎線小菅～五反野間高架下に東武デリバリー五反野事業所完成
9. 4. 1	東武商事が東武エージェンシーと合併 (社名: 東武商事)
9. 10. 1	東武住宅販売が東武不動産に社名変更 (2010.1.1東武ランドシステムに社名変更)
1998 10. 1. 16	東武ファイナンスマネジメント設立 (2006.3.1東武シェアードサービスに社名変更)
10. 7. 28	東武食品サービスが東武スパリゾート「野田潮の湯」オープン (現「のだ温泉ほのか」2022.3.1売却)
10. 8. 1	東武デリバリーが東武新座物流センターをオープン
1999 11. 10. 13	東武セレモニーが埼玉県宮代町に「東武レクイエム聖殿春日部」をオープン (2019.6.28東武セレモニーをグループ指定解除)
2000 12. 2. 18	東武食品サービスがスーパー銭湯「湯屋処まつばら」をオープン
12. 4. 13	東武運輸が東武南栃木物流センターを完成、営業開始
2001 13. 6. 2	東武ランドシステムが出資するゆにガーデンが「ゆにガーデン」をオープン (東武緑地が運営)
13. 6. 5	東武カードビジネス設立
13. 7. 20	東武興業並びに奥日光開発が「船の駅 中禅寺」をオープン
2002 14. 1. 1	東武運輸が本社を宮代町に移転
14. 2. 1	東武運輸・東運・東武物流サービス・富士通運の4社が合併 (社名: 東武運輸)
14. 3. 1	東武建設・東武電設工業・栃木生コンの3社が合併 (社名: 東武建設)
14. 9. 6	東武宇都宮百貨店大田原店オープン
14. 9. 18	東武コミュニケーションズが第一種通信事業者免許を取得
14. 10. 1	東武バスが東武鉄道バス事業本部の廃止に伴い新会社として営業開始

■ グループ会社 (5)

年月日	事項
2003 平15. 1. 29	東武ストアが丸紅、マルエツと資本・業務提携
15. 2. 20	東武インターテック設立 東武エンジニアリング設立
15. 6. 16	東武運輸が東武埼玉東物流センターを完成、営業開始
15. 8. 1	東武ステーションサービス設立
15. 10. 16	東武百貨店船橋店が全館リニューアルオープン
15. 12. 6	蔵王ロープウェイが山頂線を架け替えリニューアル
15. 12. 18	東北急行バスが東武グループ初の関西圏への高速バスとして、東京駅～大阪あべの橋間での運行を開始
15. 12. 25	トウドラッグがマツモトキヨシと資本・業務提携(2011.7.29グループ指定解除)
2004 16. 1. 1	国際ハイヤーと十王自動車が合併(社名:国際十王交通)
16. 2. 26	東武百貨店・東武宇都宮百貨店がICクレジットカード対応POSシステムを導入
16. 9. 2	東武カードビジネスが「東武グループポイントサービス」を開始
16. 11. 16	東武スポーツが新ブランド「東武スポーツクラブ プレオン北越谷」をオープン
2006 18. 5. 1	新東京タワーを設立(2008.6.10東武タワースカイツリーに社名変更)
18. 6. 22	東武ステーションサービスが第2種旅行業免許を取得
18. 9. 20	東武エネルギーマネジメントを設立
18. 12. 16	東武スポーツが新ブランド「東武スポーツクラブ リ・プレオン新越谷」をオープン(2021.5.31営業終了)
2007 19. 1. 30	シンフォニア東武を設立(2007.11.26特例子会社の認定を取得)
19. 8. 3	東武フードシステムを設立
19. 10. 25	東武ビジネスソリューションを設立
2008 20. 3. 15	東武カードビジネスが「東武カードPASMO」を発行開始
20. 6. 10	新タワーの名称を全国投票により「東京スカイツリー®」に決定
2009 21. 2. 17	東武エネルギーマネジメントが「東京スカイツリー地区」における熱供給事業化にあたり、経済産業大臣より、熱供給事業法に基づく事業許可を取得
21. 3. 1	東武ホテルマネジメントが「宇都宮東武ホテル」を全館リニューアルオープン
21. 4. 1	東武スポーツが「プレオン」ブランドで東上沿線初となる「東武スポーツクラブ プレオンふじみ野」をオープン
21. 10. 16	東武プロパティーズを設立(2018.2.1東武不動産に社名変更)
21. 10. 16	東武タワースカイツリーが「東京スカイツリー®」の完成時高さを634mに変更しライティングデザインを発表
2010 22. 2. 1	蔵王リゾートと林友観光が蔵王ロープウェイと合併(社名:蔵王ロープウェイ)
22. 3. 15	東北急行バスが東京～岡山・倉敷「ままかりライナー」の運行を開始
22. 3. 29	建設中の「東京スカイツリー」が高さ338mとなり東京タワーの高さを超えて日本で一番高い建造物になる
22. 4. 24	東武ワールドスクウェアが1/25スケールの「東京スカイツリー」と周辺複合施設を建造し展示
22. 9. 29	東武タウンソラマチを設立(2011.1.1グループ指定)
22. 10. 28	東武スカイツリー公式キャラクター「ソラカラちゃん®」を発表
2011 23. 3. 1	「東京スカイツリー」が高さ604mとなり自立式電波塔として世界一の高さになる
23. 3. 18	「東京スカイツリー」が最高高さ634mに到達
23. 6. 1	サンライフ・キャリアサービスが東武キャリアサービスに社名変更
23. 9. 15	東武カードビジネスが「東京スカイツリー®東武カードPASMO」を発行開始

■ グループ会社 (6)

年月日	事項
2011 平23. 11. 17	東京スカイツリーが「世界一の高さのタワー」としてギネス世界記録TMに認定
2012 24. 3. 8	東武エネルギーマネジメント及び東武鉄道が大規模災害時の大容量水蓄熱槽・保有水提供に関する協定を墨田区と締結
24. 5. 1	富士通運が群馬ロジテムを合併(社名:群馬ロジテム) 嶋久運輸が千葉ロジテムに社名変更 2015.7.1群馬ロジテムが千葉ロジテムを合併(社名:群馬ロジテム)
24. 5. 22	東京スカイツリー開業 東武バスセントラルがスカイツリーシャトル®4路線運行開始(東京駅・羽田空港・東京ディズニーリゾート®を結ぶ3路線の新設、上野・浅草線は本運行開始) 東武百貨店東京ソラマチ®店がオープン(2016.1.31営業終了) 東武ホテルマネジメントが東京スカイツリー内に「スカイレ스토랑634」をオープン 東武百貨店池袋店が低層階等をリニューアル
24. 9. 6	東武百貨店池袋店が「TOBUビューティーテラス」をオープン
24. 12. 1	東武バスウエストがスカイツリーシャトル和光・志木線運行開始
24. 12. 20	東武ワールドスクウェアが開園20周年を記念して「故宮(中国)」をリニューアルオープン
2013 25. 4. 24	東武宇都宮百貨店宇都宮店がレストラン街「スパイス」をリニューアルオープン 東武運輸が三郷物流支店を完成、営業開始
25. 6. 1	東武エネルギーマネジメントが葛生駅南側土地において初の大規模太陽光発電所(メガソーラー)で発電を開始
25. 7. 26	東武エネルギーマネジメントが葛生駅南側土地において初の大規模太陽光発電所(メガソーラー)で発電を開始
25. 8. 30	トップツアー、ティラミスホールディングス、トップ・スタッフ、トップツアーヨーロッパLTD、ティーティーエー、INC.をグループ指定
25. 12. 3	東武百貨店船橋店がレストラン街「スパイス」をリニューアルオープン
2014 26. 3. 16	東武宇都宮百貨店栃木店が、栃木市役所新庁舎1階にオープン(2015.3.19「栃木市役所店」に店名変更)
26. 10. 17	東北急行バス「きまっし号」東京～金沢線運行開始
2015 27. 3. 1	東武運輸が厚木物流支店を完成、営業開始
27. 4. 1	トップツアーが東武トラベルを合併(社名:東武トップツアーズ) 蔵王ロープウェイが、山形県内初となる「恋人の聖地サテライト」に選定される
27. 4. 24	東武ワールドスクウェアが開園22周年を記念して「高雄龍虎塔」をリニューアルオープン
27. 7. 21	東武バスセントラル、東武バスウエストが「スカイツリーシャトル®」お台場線運行開始
27. 12. 1	ニッテイ事業社がフルール・ド・パリを合併(社名:ニッテイ事業社)(2017.3.1東武百貨店がニッテイ事業社を合併【社名:東武百貨店】)
2016 28. 2. 26	東武百貨店池袋店がレストラン街「スパイス」をリニューアルオープン
28. 4. 1	東武ホテルマネジメントが「高輪東武ホテル」の名称を「品川東武ホテル」に変更(2016.8.1リニューアルオープン) 東武建設栃木生コン事業本部の営業を東武栃木生コンへ新設分割 東武ビルマネジメントが池袋東武ホープセンターを東武百貨店へ事業譲渡
28. 6. 1	東武スポーツが「TOBUフィットネスパーク ネオス鎌ヶ谷」をオープン(2022.1.31営業終了)
28. 9. 1	東武宇都宮百貨店宇都宮店がリニューアルオープン
28. 9. 30	金谷ホテルをグループ指定
2017 29. 3. 1	東武ストアが東武フーズを合併(社名:東武ストア)

■ グループ会社（7）

年	月	日	事項
2017	平	29.	4. 1 東武建設が東武イマリンを合併（社名：東武建設）
		29.	7. 1 東武スポーツが「TOBUフィットネスクラブ ネオス春日部いちのわり」をオープン
		29.	9. 23 東武レジャー企画が東武動物公園に雨天対応型大型イベントステージ「東武動物公園 HOLA!（オーラ）」をオープン
		29.	10. 1 東武デリバリーが新倉庫「浦和アーカイブセンター」での本社営業を開始
2018		30.	1. 25 東武ボックスの全株式を日本出版販売に譲渡
		30.	4. 21 東武ワールドスクウェアが「富貴角燈台」をオープン
		30.	7. 2 東武スポーツが「TOBUフィットネスクラブ ネオス東鷲宮」をオープン（2024.7.31営業終了）
			東武運輸が「東武太田物流センター」を開設
		30.	10. 16 関越交通が「客貨混載」を開始 ※ヤマト運輸と連携
		30.	10. 31 東武カルチュア解散
		30.	11. 1 東武百貨店池袋店の新食品館「eatobu」が完成
2019		31.	1. 1 東武シェアードサービスが東武土地建物を合併（社名：東武シェアードサービス）
		31.	3. 31 ティー・アンド・シー解散
		31.	4. 1 レーキサイドホテルシステムズ設立
	令	1.	5. 31 東武ストアが「TOBU store Fresh & Quick 曳舟店」をオープン
		1.	7. 20 東武ワールドスクウェアが「ワット・アルン」をオープン
2020		2.	6. 11 和光市東武ホテルをオープン
		2.	7. 9 ACホテル・バイ・マリオット東京銀座をオープン
2021		3.	3. 31 東武ランドシステムが「ユニの湯」を東武緑地へ事業譲渡
		3.	4. 24 東武ワールドスクウェアが「首里城」をオープン
		3.	10. 1 東武バスセントラルが東武バスイーストを合併（社名：東武バスセントラル）
2022		4.	3. 31 東武保険サービスが東栄産業の事業を譲受
			コム・イースト解散
		4.	4. 1 東武食品サービスが東武フードシステムに一部事業を分割
			東武エナジーサポートが東武商事・東武ランドシステム・東武食品サービスを合併（社名：東武商事）
			東武フードシステムが東武食品サービスに社名変更
			東武ビルマネジメントが東武セキュリティを合併（社名：東武ビルマネジメント）
			日本パーキングビルサービスが総合パーキングサービス・宇都宮パーキングサービスを合併（社名：日本パーキングビルサービス）
		4.	4. 28 東武デリバリーが宅配型保管サービス「My storage」を開始
		4.	4. 30 東栄産業解散
		4.	12. 31 東武ホテル北海道解散
2023		5.	3. 18 東武レジャー企画が東武動物公園の水上木製コースター「レジーナ」を「レジーナII（ドゥーエ）」としてリニューアルオープン
		5.	3. 27 東武鉄道が東武グループのショッピングサイト「TOBU MALL」をオープン
		5.	3. 31 ティラミスホールディングス解散
		5.	7. 15 金谷ホテルが日光金谷ホテル別館を「別館 ROYAL HOUSE」としてリニューアルオープン
		5.	11. 1 コートヤード・マリオット銀座東武ホテルがリニューアルオープン



東武グループ グループロゴ

東武グループでは、「東武ブランド」のさらなる価値向上に向けて、グループロゴを制定しています。グループ各社がさまざまなコミュニケーション活動を行うときに、「東武グループ」の認知をより高め、お客様をはじめ、グループを取り巻く多くの方々に統一したイメージをおもいいただくために、このグループロゴを使用しています。

※東武鉄道は「Group」表記のないものを使用しています。

デザインコンセプト

「TOBU」の頭文字「T」を起点に、上下左右・東西南北に、まっすぐ伸びてゆくラインを表現しています。これは、東武グループとして沿線・地域の方々・お客様の全方位に向けて安全・安心、快適さ、そして楽しみや期待感を提供する姿や、東京スカイツリー®の空に向かって高く伸びる姿を表しています。また、未来へ向けた輝きをも表しています。まっすぐなラインは東西南北全方位に張り巡らされたアンテナであり、沿線・地域のニーズを集め、先取りし、積極的に情報を発信する姿勢を示しています。

2024 東武 会社要覧

2024年8月発行

東武鉄道株式会社 広報部

〒131-8522 東京都墨田区押上2-18-12

TEL.03-5962-2263

東武鉄道公式ホームページ

<https://www.tobu.co.jp/>

■表紙 スペースXと東京スカイツリータウン®

© TOKYO-SKYTREETOWN

お子さま向けホームページ®“TOBU Kids”

<https://www.tobu-kids.com/>